教8-18末吉小放課後児童クラブ施設改築本体工事

MARU architecture　DAI ARCHITECTURAL INC.　ARUP

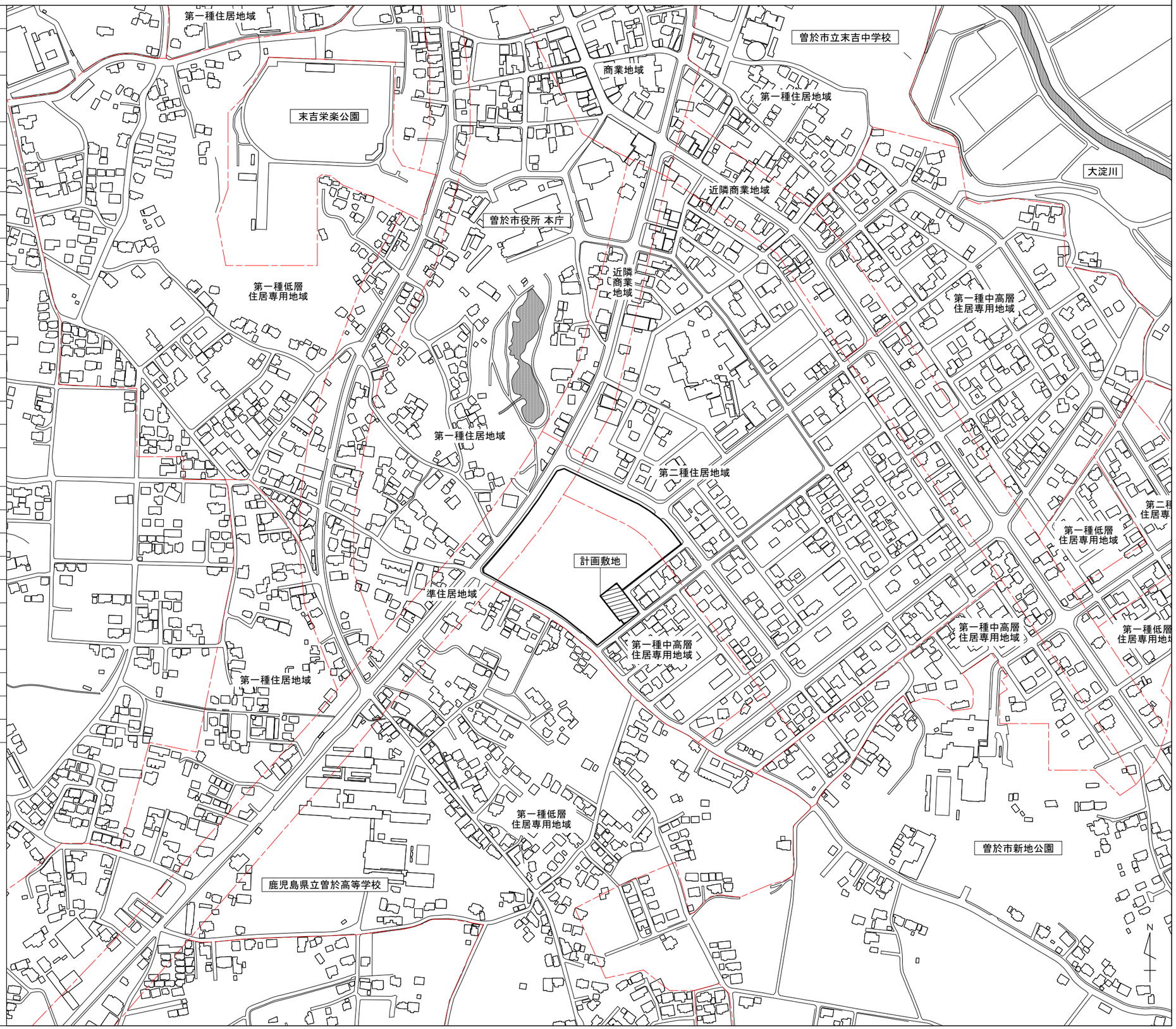
教8-18末吉小放課後児童クラブ施設改築本体工事　設計業務　図面リスト

	no	図面名称		no	図面名称		no	図面名称
	A-001	計画概要・案内図		A-301	配置図			
	A-002	特記仕様書1		A-302	平面図			
	A-003	特記仕様書2		A-303	立面図			
	A-004	特記仕様書3		A-304	断面図1			
	A-005	特記仕様書4		A-305	断面図2			
	A-006	特記仕様書5						
	A-007	特記仕様書6		A-401	天井伏図			
	A-008	特記仕様書7		A-402	展開図1			
意匠	A-009	特記仕様書8	意匠	A-403	展開図2			
	A-010	特記仕様書9		A-404	展開図3			
	A-011	特記仕様書10						
				A-501	建具共通事項			
	A-101	求積図・平均地盤算定図・現況図		A-502	建具表			
	A-102	仮設計画図		A-503	開口面積計算表			
	A-201	一般共通事項		A-601	家具詳細図			
	A-202	仕上げ表		A-602	内部詳細図			
	A-203	エレメント図1		A-603	外部詳細図			
	A-204	エレメント図2						
				A-701	サイン図1			

計画概要・案内図

S:1/5000(A3)

工事名	教8-18末吉小放課後児童クラブ施設改築本体工事
建主	曽於市
建築場所	鹿児島県曽於市末吉町上町7丁目1-1
地名番地	鹿児島県曽於市末吉町上町7丁目 1-3、1-4、1-5の一部、1-8の一部、1-9の一部
主用途	児童福祉施設:法別表(い)欄(2)項
工事種別	新築工事
工期	建設工事:2026年12月～2027年6月
敷地概要	
都市計画区域	都市計画区域内
用途地域	第一種中高層住居専用地域
指定建蔽率・容積率	60%・150%
道路斜線	1.25　適用距離20m
隣地斜線	1.25　20mより
北側斜線	1.25　10mより
日影規制	高さが10m超える場合
緑化規制	-
防火地域	-
敷地面積	1,252.68㎡
道路幅員	北東側:6.33m　(法第 42 条第 1 項第 1 号 道路) 南東側:6.79m　(法第 42 条第 1 項第 1 号 道路)
建築概要	
構造種別	木造
階数	地上1階
耐火種別	その他建築物
建物の最高高さ	4,300mm　GLより
最高軒高さ	3,120mm　GLより
建築面積	322.35㎡
延べ面積	292.32㎡
容積対象面積	-
建蔽率/容積率	建蔽率:25.74%　/　容積率:23.34%
平均地盤面	KBM+0.093



MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
髙野　洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉薗忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡　良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅　健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4098号
向井　一得 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect	Date	
教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事	曽於市	計画概要・案内図	A1:1/2500 A3:1/5000	Drawn by NAMIKO NISHI Checked by YOHEI TAKANO	_ _ 2026.9.30	A-001

建 築 工 事 特 記 仕 様 書

1. 共通仕様
　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下、「標仕」という。）による。
2. 標仕のうち必要として特記する事項と、その他必要として特記する事項を特記事項とする。
3. 特記仕様
　(1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。
　(2) 特記事項は、(・) 印の付いたものを適用する。
　　(・) 印のない場合は、※ 印の付いたものを適用する。
　　(・) 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。
　(3) 特記事項に記載の［　　］内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
　(4) 特記事項に記載の（　　）は「各部記防参考図」の当該項目を示す。
　(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。
　(6) Ⓖ 印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」の特定調達品目を示す。グリーン購入法による調達推進品目は、「鹿児島県環境物品等調達方針」の環境物品等調達推進品目等一覧表及び別表１（鹿児島県のホームページからダウンロード可能）による。
4. 前金払
　契約金額500万円以上の工事にあっては、契約金額（~~全体又は~~年度毎の出来高予定額）の10分の4を超えない範囲内に限り前払金の支払を請求することができる。
5. 中間前金払又は部分払の選択
　~~・契約金額100万円以上の工事にあっては、契約に当たり中間前金払又は部分払を選択することができる。~~
6. 中間前金払
　契約金額（~~全体又は~~年度毎の出来高予定額）の10分の2を超えない範囲内に限り7の全ての要件を満たす場合に中間前払金の支払を請求することができる。
7. 中間前金払の要件
　(1) 工期の２分の１を経過していること。
　(2) 工程表により工期の２分の１を経過するまでに実施すべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。
　(3) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の２分の１以上の額に相当するものであること。
~~8. 部分払~~
　~~・前払金を支払ったものについては王期中２回まで、前払金の支払がされていないものは王期中３回までとする。~~
9. 火災保険
　契約締結後速やかに火災保険に加入し、保険期間は工期後14日とする。
10. 県産資材の優先使用
　(1) 工事に使用する資材については、県内で産出、生産又は製造されたもの（以下、「県産資材」という。）の優先使用に努めることとし、さらに、県産資材以外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から調達するよう努めることとする。
　(2) 以下に記載する「指定主要資材」の中で県産資材を使用しない場合、「県産資材等不使用状況報告書」を監督職員に提出し、承諾を得なければならない。
　　《指定主要資材（７品目）【生コン(レディミクストコンクリート) コンクリート二次製品 石材類 アスファルト合材 木材 樹木 芝】》
　(3) 前項の「県産資材等不使用状況報告書」において、第１項の資材業者等から調達しない場合は、その理由を記載すること。
　(4) 工事完成時及び監督職員から指示された場合、「建設資材使用実績報告書」を監督職員に提出すること。
11. 下請工事における管内（県内）建設業者の優先活用
　(1) 工事の一部を下請に付する場合は（~~鹿児島~~ 大隅 地域振興局）管内に主たる営業所を有する者を活用するよう努めることとする。
　(2) 前項で定めた建設業者を活用しない場合、施工計画書等の提出と併せて「下請工事における管内建設業者等不活用状況報告書」を監督職員に提出すること。
　(3) 工事完成時及び監督職員から指示された場合、「下請業者使用実績報告書」を監督職員に提出すること。
12. 配置技術者等の途中交代
　(1) 配置技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、傷病、退職等、真にやむを得ない場合のほか、下記に該当する場合である。
　　① 受注者の責務によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合
　　② 工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点
　　③ 大規模な工事で一つの契約工期が多数年に及ぶ場合
　(2) 上記(1)のいずれの場合であっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。
13. 電子納品
　(1) 本工事は、電子納品対象工事であり、電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子納品とは、「~~鹿児島県~~ 曽於市 電子納品運用ガイライン（~~案)(令和6年3月)~~（令和7年4月）」（以下、「ガイドライン」という。）に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。
　(2) ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体（CD-R）で正本1部、副本1部の計2部提出する。~~電子化しない成果品については従来どおりの取扱いとする。~~ 電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。
　(3) 電子成果品を提出する際は、~~鹿児島県の公開する~~ 電子納品チェックソフトによるチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウィルス対策を実施した上で提出すること。
14. ＣＡＤ図面データの貸与について
　~~本工事に関するＣＡＤ図面データの貸与を希望する場合は「ＣＡＤ図面データ借用に係わる誓約書」を県に提出すること。~~ 市が 貸与 するＣＡＤ図面データは、本工事の履行に必要な施工図及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。また、当該ＣＡＤ図面データは、完成図提出時までに、受注者において履行期限期間中に複製又は再配布しているもの全て消去すること。~~その他、誓約書の記載事項を遵守すること。~~
15. 暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置
　曽於市 が発注する建設工事等（以下、「市工事等」という。）において、暴力団関係者による不当要求又は工事妨害（以下、「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく 鹿児島県警察署 及び警察に通報すること。
　県市工事等において、暴力団関係者による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、鹿児島県警察署 と協議を行うこと。
16. ダンプトラック等による過積載等の防止について
　(1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。
　(2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
　(3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。
　(4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。
　(5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下、「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
　(6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
　(7) (1)から(6)のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。
17. 施工体制台帳の作成等について
　本工事の受注者は建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事の着手前までに）提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。
18. 施工体系図の作成等について
　本工事の受注者は、工事を施工するために、建設工事の一部又は以下のアからエの業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事又は業務の着手前までに）提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。
　　ア　伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務
　　イ　土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務
　　ウ　工事現場の警備（交通誘導を含む）を行う業務
　　エ　その他監督職員が記載を指示した業務等

章	項　目	特　記　事　項
1 各部共通事項	① 適用基準等	※　適用を受ける関係法令等を遵守すること （参考） (・)建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修）（令和4年版） (・)積内舗装・排水設計基準及び参考資料　（平成31年版） (・)建築工事安全施工技術指針（官庁営繕部） (・)建設工事公衆災害防止対策要綱（建設工事編）（官庁営繕部） (・)建設副産物適正処理推進要綱（平成14年5月30日国交省通知122号等） (・)廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (・)資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法） (・)建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）
	② 工事実績情報の登録	※適用する　対象工事　[1.1.4] ※工事請負金額500万円以上　・（　　）
	③ 品質計画	(・)施工計画書で工法を定める場合の風圧力の計算　[1.2.2] ※基準風速（Vo）　（　36　）m/s ※地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　・(Ⅲ)　・Ⅳ ・上記風圧力の1.3倍の風圧力に対する安全性を確保する (・)上記風圧力の1.15倍の風圧力に対する安全性を確保する 適用工種　・ＡＬＣパネル(外壁、屋根)・押出成形セメント板(外壁)・外壁石張(乾式)・外壁材（外断熱工法）(・)長尺金属板葺・折板葺・アルミ笠木・ガラスブロック・シート防水(機械式) ・屋上緑化システム・（　　）
	④ 電気保安技術者	工事現場において電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。　[1.3.3] (・)要　・不要
	⑤ 施工条件	標仕 1.3.5以外の施工条件　・図示　(・)現場説明書　[1.3.5]
	⑥ 発生材の処理	・発注者に引渡しを要するもの　（　・金属類　・ＰＣＢ含有物　・　）　[1.3.11] 引渡し場所　※構内　・（　　） (・)特別管理産業廃棄物の処理方法（　　） 再生資源化を図るもの又は廃棄するもの　・有　・無

分　類	受入れ施設名	所 在 地	搬出距離（km）
(・)コンクリート塊			
(・)アスファルト			
(・)砕石			
(・)ガラス陶器木毛板			
(・)廃プラスチック			
(・)建設発生木材			

上記に示す受入れ施設は参考であり、実施に当たっては関係法令を遵守し、適切な処理を行うものとする。なお、処分場の決定に当たっては、監督職員と協議する。
※建設廃棄物処理計画書の作成
※再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書の作成

	⑦ 環境への配慮	本工事の建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有する　[1.4.1] とともに、次の１）から４）を満たすものとする。 １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する ２）接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する ３）接着剤は可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する ４）１）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は次のとおりとする 規制対象外 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 第三種品 ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ②建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 建材 本工事に使用する材料については、アスベストを含有しないものとする
	⑧ 材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、　[1.4.2] ＪＩＳ及びＪＡＳマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 （1）品質及び性能に関する試験データを整備していること （2）生産施設及び品質の管理を適切に行っていること （3）安定的な供給が可能であること （4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （6）販売、保守等の営業体制を整えていること なお、商品名等が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。 ※工事に使用する材料は、アスベストを含有しないもの（含有率0.1%以下）とする。
	⑨ 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による
	⑩ 化学物質の濃度測定	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、　[1.5.9] スチレン（学校施設については、パラジクロロベンゼンを加えた６物質）の濃度を測定し、監督職員に報告すること。測定はパッシブ型採取機器により行う。なお、結果が良好でなかった場合には、監督職員と協議し対策を行うこと。 着工前の測定　・行う 測定対象室と箇所数　・図示　（ 学習室1 ）

1 各部共通事項（続き）	⑪ 一級技能士	下記により適用する技能士については、適用する工事作業中、１名以上の者が自ら作業をする　[1.5.2] とともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う

適用工事種別	技能士の職種
鉄筋工事	(・)鉄筋施工（鉄筋組立て作業）
コンクリート工事	(・)型枠施工　(・)コンクリート圧送作業
鉄骨工事	
ブロック・ＡＬＣパネル工事	・ブロック建築　・ＡＬＣパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業　(・)シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り施工）
タイル工事	・タイル張り
木工事	(・)建築大工
屋根及びとい工事	(・)建築板金（内外装板金作業）
金属工事	(・)内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	(・)左官
建具工事	(・)サッシ施工　(・)ガラス施工　・自動ドア施工　(・)木製建具手加工作業
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	(・)塗装（建築塗装作業）
内装工事	(・)プラスチック系床仕上げ工事作業 (・)ボード仕上げ工事作業　(・)表装（壁装作業）
植栽工事	・造園
畳工事	・畳製作

	⑫ 完成図等	完成図　作成する（完成図の種類　※全ての設計図　・（　　））　[1.7.2] ・完成図の様式等　Ａ３縮小二つ折り製本　(・)（２）部　[表1.7.1] Ａ１二つ折り製本　(・)（１）部 完成図のＣＡＤ図面データ　ＣＤ－Ｒ　(・)（２）枚 ・作成しない 保全に関する資料　(・)作成する（提出部数・（　　）部） ・作成しない
	⑬ 完成写真等	撮影箇所及び方法については、「工事写真撮影ガイドブック（ 令和5年 版）」による 下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする

区　分	分　類	規　格	部　数	備　考
着工前	※ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ	全景：ｷｬﾋﾞﾈｯｻｲｽﾞ 部分：サービスサイズ	※１部	・ ・
工事中（検査状況）	※ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ	カラーサービスサイズ	※１部	・ ・
完成時（出来形時）	※ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ	全景：キャビネサイズ 部分：サービスサイズ	※１部	外観4面/棟　内部全状況 ・
実態調査用	※ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ	カラーサービスサイズ	※２部	外観4面/棟　・
電子データ		(・)完成時写真　(・)工事中写真　(・)着工前写真		・

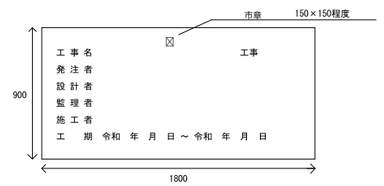
100×125以上の原板を使う場合には、監督職員にあらかじめべた焼きを提出し確認を受ける
電子データは、RBG(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-ROMにて提出する
撮影業者　※監督職員の承諾する撮影者　・監督職員の承諾する撮影業者
↑完成時写真に限る(撮影者:開拓弥　外観10枚/内観20枚)

	⑭ 設備工事との取り合い	設備機器の設置、取合い等が検討のできる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける　[1.1.7]
	⑮ 設計ＧＬ	※図示による　・現地地盤の平均高さとし、監督職員と協議する
	⑯ 既存部分等への措置	工事施工に際し、既存部分を汚染又は損傷した場合は監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する
	⑰ 騒音振動の防止	低騒音型、低振動型建設機械指定要領に基づき指定された建設機械を使用する 適用工事（土、地業、コンクリート、舗装、植栽、とりこわし等）
	⑱ 部分使用	この工事については、部分使用は　・有（図示　）　(・)無
	⑲ 一部完成	この工事については、一部完成は　・有（図示　）　(・)無
	⑳ 中間検査	この工事については、中間検査を　(・)行う　・行わない 行う場合は、工事の進捗率が概ね50%に達した時期又は、躯体工事中（基礎地中梁、中間階及び最上階配筋完了時、鉄骨建方完了時）及び内装工事等施工中を検査の目安とし、工事受注者は検査の希望日を監督職員と協議の上、発注者に申し出ること。
	㉑ 白蟻防除工事	この工事については、（公社）日本しろあり対策協会(以下、「協会」という。）発行「防除施工標準仕様書」（以下、「防除」という。）による この項目に記載の［防　　］内表示番号は、防除の当該項目を示す ※使用薬剤は、協会認定薬剤のうち、非有機リン系薬剤とする ※工事施工者は、原則として協会登録施工業者とする ※土壌処理 処理の適用区分　※行う　・行わない　［防Ⅰ.2］ 処理の方法　※帯状散布法、面状散布法の一つ又はその組み合わせによって行う　［防Ⅰ.3.(1)］ (・)木材処理 処理の適用区分　※行う　・行わない　［防Ⅰ.2］ 処理の方法　※吹付け処理法、塗布処理法の一つ又はその組み合わせによって行う　［防Ⅰ.3.(2)］ ※処理の箇所 ・木造の場合 ※Ⅰ.4.(2)①～⑥及び⑧に規定する箇所 ・陸梁、合掌、小屋梁、間仕切、桁、火打梁などと敷桁又は軒桁との仕口面 ・２階梁、火打梁と胴差との仕口面 ・木造以外の場合 ※Ⅰ.4.(2)⑦に規定する箇所 ・２以上の階の床面より１ｍ以内にある木部でコンクリート、石、レンガに接する面 ※保証書及び期間 白蟻防除工事について、下記事項を記載した５年保証書を提出すること。なお、保証書については元請業者と白蟻防除工事施工業者と連帯とする。 (ｱ)工事名称　(ｲ)建物の所在地　(ｳ)建物の構造・用途・面積　(ｴ)白蟻防除工事の施工面積 (ｵ)防除処理別並びに使用薬剤名、製造者名、施工年月日　(ｶ)登録施工業者会員名簿 (ｷ)施工した防除士の氏名及び登録番号・取得年月日・登録年月日　(ｸ)保証期間 ※工事施工にあたり、協会発行「しろあり防除施工における安全管理基準」を遵守すること
	22 鹿児島県トライアル発注制度の製品等	製品名　（　　） 施工箇所　※図示による　・（　　）

2 仮設工事	① 監督職員事務所	・設ける　・設ける（既存建築物の一部を使用する）　(・)設けない　[2.3.1] 面積規模　（・10㎡　・20㎡　・35㎡　・35㎡　・100㎡　・（　　）㎡）程度 仕上げの程度、設置する設備、備品等の種類及び数量は現場説明書による 監督職員スペースと工事監理業務の職員スペースは間仕切り等で仕切る 監督職員事務所の仕上げ

部　位　等	仕　上　げ
床	合板張り又はビニル床シート張り
内壁、天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り
屋根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は、鉄板張り、調合ペイント塗り

	② 工事用水	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）　[2.3.1] ↑既存校舎の引き込み工事を別途行うため
	③ 工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）　[2.3.1]
	④ 現場表示板	規格　※下図による　・監督職員の承諾による 材質　※県産杉板　・監督職員の承諾による



※設置位置は、監督職員との協議による。また取付けは、強風に対し安全な工法とする

3 土工事	① 埋戻し及び盛土	材料及び工法　種別　[3.2.3]［表3.2.1］ ・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 Ｃ種の場合（発生場所　） （連絡先　） （運　搬　・発生原因者側　・本工事　km）
	② 建設発生土の処理	※構外指示の場所　受入施設名　所在地　[3.2.5] 受入れ場所　（　）　（　） 受入れ場所での処置　（・敷均し　※たい積　） 搬出距離（12.1）km 処分費　(・)有償　※無償 上記に示す受入れ場所・距離は参考であり、実施にあたっては監督職員と協議のうえ決定する ・構内指示の場所　（　） ・処理の方法　（・敷均し　・たい積　） 資源利用法に基づく届け出
4 地業工事	① 地盤調査の結果	調査位置、柱状図、地層構成、地下水位 ※資料提供 ・図示による（　）・
	② 支持地盤	(・)杭基礎　[3.4.1]［4.2.4］［4.3.4、5］［4.4.4］［4.5.5、6］ 支持地盤の種類及び位置（基礎ぐいの先端の位置含む） (・)図示による（構造図）　・ ・直接基礎 支持地盤の種類及び位置（基礎底部の位置含む） (・)図示による（構造図）　・ 長期設計支持力度 ・（　）kN/㎡　・ 試験掘（根切り底）による支持地盤の確認　[3.2.1] ・行う　位置等は図示による（　） ・行わない 地盤の載荷試験　[4.2.4] ・行う　試験の位置、方法等は図示による（　） ・行わない
	3 既製コンクリート杭地業	種類 ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭） ・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭） SC杭の鋼管材料　・SKK400　・SKK490 ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） 試験掘 ・行う　孔径はオーガー径とする　位置及び長さは図示による（　） 試験掘の施工は試験杭の施工に先立ち行う ・行わない 寸法、継手、性能等（種別：種類、性能及び曲げ強度区分）　[4.2.2]［4.3.3］

	種類	コンクリート強度（N/mm2）	杭径（mm）	杭長（m）	継手数	長期設計支持力(kN/本)
試験杭	上杭					
	中杭					
	下杭					
本杭	上杭					
	中杭					
	下杭					

試験杭の施工　※本杭の施工に先立ち行う　・
試験杭の位置、本数　※最初の一本　・図示による（　）

構造特記参照

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
髙野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI ARCHITECTURAL INC.
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松重兼忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一得 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第44518号

Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect	Date	
教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事	曽於市	特記仕様書		Drawn by NAMIKO NISHI Checked by YOHEI TAKANO	2026.9.30	A-002

④ 地業工事（続き）

3 既製コンクリート杭地業（続き）

施工方法 [4.3.2]
・セメントミルク工法 [4.3.4]
アースオーガーの支持地盤への掘削深さ
・図示
杭の支持地盤への根入れ深さ
・図示
杭の精度
水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・
杭の傾斜 ・1/100以内 ・

・特定埋込杭工法 [4.3.5]
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα＝250を採用できる工法
図示による（ ）
・上記以外の特定埋込杭工法 図示による（ ）
工法
・プレボーリング拡大根固め工法
・中掘り拡大根固め工法
・
杭周固定液
・使用する
・使用しない
杭の支持層への根入れ深さ
・図示による（ ） ・
杭の精度
水平方向の位置ずれ ※評定等の評価内容による ・
杭の傾斜 ※評定等の評価内容による ・

杭継手工法 [4.3.2、6] [7.2.5]
・アーク溶接継手
・標仕 4.3.6による
溶接材料
・標仕 7.2.5(1)(2)による ・図示による（ ）
・機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工法 ※評定等を受けた工法 （・図 による）
検査 ※評定等により定められた項目 （・図 による）
施工 ※評定等をされた施工管理基準による （・図 による）

杭頭の処理 [4.3.8]
・行う
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・図示による（ ） ・
・行わない

杭頭の中詰め材料 [4.3.8]
※基礎のコンクリートと同調合のもの ・

4 鋼杭地業

種類の記号 [4.4.2] [4.4.3～6]
・SKK400 ・SKK490
杭の種類、寸法、継手等

		種類	杭径(mm)	板厚(mm)	杭長(m)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭							
	中杭							
	下杭							
本杭	上杭							
	中杭							
	下杭							

試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う ・
試験杭の位置、本数 ※最初の一本 ・図示による（ ）

施工方法 [4.4.1]
・特定埋込杭工法 [4.3.5]
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα＝250を採用できる工法
図示による（ ）
・上記以外の特定埋込杭工法 図示による（ ）
工法
・中掘り拡大根固め工法 ・
杭の支持層への根入深さ
※評定等の評価内容による ・
杭の精度
水平方向の位置ずれ ※評定等の評価内容による ・
杭の傾斜 ※評定等の評価内容による ・

杭の現場継手 [4.4.5]
・アーク溶接継手
形状
・JIS A 5525による ・
溶接材料 [4.4.3]
・標仕 7.2.5(1)(2)による ・図示による（ ） ・
・機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工法 ※評定等を受けた工法 （・図 による）
検査 ※評定等により定められた項目 （・図 による）
施工 ※評定等をされた施工管理基準による （・図 による）

杭頭の処理 [4.4.6]
・行う
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・図示による（ ） ・
・行わない

杭頭の中詰め材料 [4.4.6]
※基礎のコンクリートと同調合のもの ・

構造特記参照

④ 地業工事（続き）

5 場所打ちコンクリート杭地業

杭径、長さ、仕様等 ・図示による（ ） ・ [4.2.2] [4.5.1] [4.5.4～6]
材料その他
帯筋の加工及び組み立て ・図示による ・
鉄筋の最小かぶり厚さ ・図示による ・
鉄筋かごの補強 ・
組み立てた鉄筋の節ごとの継ぎ手
・重ね継手
重ね継手の長さ ・図示による ・
主筋の基礎底盤への定着長さ ・図示による ・
セメントの種類 ※高炉セメントB種 Ⓖ ・ [4.5.4] [6.3.1]
コンクリートの種別 [4.5.4] [表4.5.1]
・A種 ・B種 ・評定等の内容による
コンクリートの設計基準強度 （ ）N/mm2 [4.5.4～6]
スランプ ・ ※18cm
構造体強度補正値（S） [4.5.4]
・（ ） ・3N/mm2 ・評定等の内容による ・

掘削工法 [4.5.1] [4.5.5、6]
・アースドリル工法 安定液 ※使用する ・使用しない
・リバース工法
・オールケーシング工法 孔内の水張り ・行う ・行わない

併用する工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 図示による（ ）
鋼管巻き材料 ・SKK400 ・SKK490 ・
・拡底杭工法 図示による（ ）
安定液 ・使用する ・使用しない
・

試験杭 [4.2.2] [4.5.5、6]
試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う ・
試験杭の位置、本数 ※最初の一本 ・図示による（ ）

孔壁測定 [4.5.5、6]
・行う 測定方法、測定箇所は図示による（ ） ・行わない

杭の支持層への根入深さ
・図示による（ ） ・

杭の精度
水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4以下かつ100mm以下 ・評定等の内容による
杭の傾斜 ・1/100以内 ・

⑥ 地盤改良（セメント系固化材を用いた工法による改良）

工法
・浅層混合処理工法
適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による
長期設計支持力 ・（ ）kN/m ・
・深層混合処理工法
適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による（ ）
長期設計支持力 ・（ ）kN/本 ・

⑦ 置換コンクリート地業（ラップルコンクリート地業）

形状、支持地盤、仕様 ・図示による（ ）
長期設計支持力 ・（ ）kN/m ・
セメントの種類 [6.3.1]
※高炉セメントB種 Ⓖ ・
コンクリートの設計基準強度 （ ）N/mm2
構造体強度補正値（S）＝（ ）N/mm2

⑧ 液状化対策

工法 ・（ ） 仕様、範囲、計測、試験等 ・図示による（ ）

⑨ 砂利地業

材料 ※再生クラッシャラン Ⓖ ・切込砂利及び切込砕石 [4.6.2]
厚さ及び使用範囲 [4.6.3]

厚さ	使用範囲
※60	基礎梁下、ピット土間コンクリート下
・20	土間コンクリート下、土に接するスラブ下

⑩ 捨コンクリート地業

コンクリートの仕様 ※無筋コンクリートによる ・ [4.6.4] [6.14.1～3]
セメントの種類 ※高炉セメントB種 Ⓖ ・ [6.3.1]
厚さ及び使用範囲 [4.6.4]

厚さ	使用範囲
※50	基礎スラブ下、基礎梁下、土に接するスラブ下
・	

⑪ 床下防湿層

施工範囲 [4.6.2、5]
・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）
・
材料
・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・
防湿層の位置
・図示による（ ） ・ 上記、施工範囲のとおり

構造特記参照

⑤ 鉄筋工事

1 鉄筋の種類

鉄筋の種類等 [5.2.1] [表5.2.1]

種類の記号	呼び名	備考
・SD295	D10～D16	
・SD345	D19～D25	
・SD390	D29	
・		

2 溶接金網

鉄線の形状等 [5.2.2]

種類	種類の記号	網目の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			

⑤ 鉄筋工事（続き）

③ 鉄筋の継手

継手方法等 [5.3.4] [5.5.2、3]

部位	継手方法	呼び名
柱、梁の主筋	※ガス圧接・機械式継手・溶接継手・重ね継手	D19以上のもの
耐力壁の鉄筋	※重ね継手 ・	
その他の鉄筋（ ）	※重ね継手 ・	

耐力壁の重ね継手の長さ [5.3.4]
・図示による（ ） ・
継手位置図
・図示による（ ） ・
柱及び梁主筋の重ね継手の長さ
・図示による（ ）

④ 鉄筋の定着長さ

鉄筋の定着長さ [5.3.4]
・図示による(標仕のとおり) ・図示による（ ） ・
・機械式定着工法

⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）

最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う） [5.3.5]
・図示による(標仕のとおり) ・図示による（ ） ・
柱及び梁の主筋に29以上の使用の有無
・無し
・有り 適用箇所（構造図による）
主筋のかぶり厚さ
※鉄筋径の1.5倍以上 ・
軽量コンクリートを使用する場合
・有り 適用箇所（ ）
・最小かぶり厚さに加える厚さ（ ）mm
耐久性上不利な部分（塩害等を受けるおそれのある部分等）
・無し
・有り 適用箇所（ ）
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）表4.1に加える厚さ（ ）mm）
・
鉄筋相互のあき（特殊な鉄筋を除く） [5.3.5] [図 5.3.6]
・図示による(標仕のとおり) ・図示による（ ） ・

⑥ 各部配筋

各部配筋 [5.3.7]
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図））
・

⑦ 圧接完了後の試験

抜取試験 [5.4.10]
※超音波探傷試験
・引張試験
試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。
なお、200箇所を超えるときは200箇所ごとする。

8 機械式継手

使用箇所 [5.5.3]
・図示による（ ）
性能(H12建告第1463号に適合するもの) [5.5.3]
・A級 ・
機械式継手の種類及び工法（ ） [5.5.3]
鉄筋相互のあき [5.5.3]
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）表4.1）
・図示による（ ） ・
品質の確認方法 [5.5.3]
・図示による（ ） ・
・
不良となった継手の修正方法等 [5.5.2]
・図示による（ ） ・
・

9 溶接継手

使用箇所 [5.6.3]
・図示による（ ） ・
性能(H12建告第1463号に適合するもの) [5.6.3]
・A級
溶接継手の工法（ ） [5.6.3]
鉄筋相互のあき [5.6.3]
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）表4.1）
・図示による（ ） ・
品質の確認方法 [5.6.3]
・図示による（ ） ・
・
不良となった継手の修正方法等 [5.6.3]
・図示による（ ） ・

⑩ 帯筋

組立の形の種別
・図示による ・H形 ・（ ）形
・図示による（ ）

⑪ 最上階柱頭補強

補強方法
・図示による（構造図による）

⑫ 片持ちスラブの出隅部の補強配筋（出隅受け部分の補強筋含む）

配筋方法
・図示による（構造図による）
出隅部分及び出隅受け部の補強筋 ・図示による（ ）
・

⑬ 壁開口部の補強

一般壁 ・図示による（構造図による）
耐震壁 ・図示による（構造図による）

⑭ 梁貫通孔の補強

補強形式 ・図示による（構造図による）
配筋種別 ・図示による（構造図による）
梁貫通孔径（部材記号含む）及び配筋種別リスト
・図示による（構造図による）

⑮ 基礎梁主筋の継手

・図示による（構造図による）

16 機械吊上げ用フック

種別 ・図示による（ ）

構造特記参照

⑥ コンクリート工事

① コンクリートの種類及び強度

普通コンクリートの設計基準強度（N/mm2） [6.2.2]

設計基準強度	適用箇所
・24	基礎、基礎梁、柱、梁、床、壁
・21	基礎、基礎梁（渡り廊下）、土間
・15	捨てコンクリート
・	
・	

構造体強度補正値(S) ・ ※標仕 表6.3.2による

スランプの位置（単位：cm） [6.2.4] [表 6.2.2]

打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁	
所要スランプ	15、18	18	

② レディーミクストコンクリートの類別

類別 [6.2.1] [表 6.2.1]
※Ⅰ類 ・Ⅱ類

③ セメント

種類 [6.3.1] [表 6.3.1]
・普通ポルトランドセメント又は高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
（普通ポルトランドセメントの品質はJIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。）
施工箇所（ ）
・高炉セメントB種 Ⓖ
施工箇所（基礎、基礎梁）
・フライアッシュセメントB種 Ⓖ
施工箇所（ ）

④ 骨材

アルカリシリカ反応性による区分 [6.3.1]
※A ・B

⑤ 混和材料

・混和剤 [6.3.1]
混和剤の種類
※標仕 6.3.1(4)(a)による ・
・混和材 [6.3.1]
混和材の種類
※標仕 6.3.1(4)(b)による ・

⑥ 気乾単位容積質量

普通コンクリート
・2.3t/m3 程度 ・ [6.2.3] [6.10.1]

7 マスコンクリート

セメントの種類 [6.13.2]
・高炉セメントB種 Ⓖ
・普通ポルトランドセメント
・中庸熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・フライアッシュセメントB種 Ⓖ
・シリカセメント
適用箇所
・図示による（ ） ・
混和材料 [6.13.2]
・混和剤
混和剤の種類
・標仕6-13-2(2)(ア)による
・混和材
混和材の種類
・標仕6-13-2(2)(イ)による
スランプ ・15cm ・ [6.13.2]
構造体強度補正値(S) [6.13.2]
・ ※標仕 表6.13.1による

8 無筋コンクリート

コンクリートの種類 [6.14.1]
・ ※普通コンクリート
適用箇所 [6.14.1]
・標仕 6.14.1(4)(a)による箇所
・標仕 6.14.1(4)(a)以外の箇所
・図示による（ ） ・
設計基準強度
※18N/mm2 ・
スランプ
※15cm又は18cm ・

⑨ ひび割れ誘発目地打継目地

打継の位置 [6.6.4] [6.8.1] [9.7.3]
・標仕 6.6.4(1)による ・図示による（意匠、構造図を参照のこと）
目地寸法
・標仕 9.7.3による ・図示による（意匠、構造図参照のこと）
間隔、位置、形状
・図示による（いしょう、構造図参照のこと） ・

⑩ コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [6.2.5] [6.8.2] [表6.2.4]
※コンクリートの打放し仕上げ種別と適用箇所は図示による
コンクリートの仕上がりの平たんさ

種別	適用箇所
・a種	外壁○○
・b種	・内部柱部分
・c種	・器具庫、倉庫などの打放仕上表し部分

⑪ 打増し厚さ（打放し仕上げ部）

・打放し仕上げ（仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む）の打増し厚さ（外部に面する部分に限る） [6.8.2]
・20mm ・
・打放し仕上げ（仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む）の打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
・10mm

⑫ 型枠

・外壁タイル張りで、MCR工法又は目荒らし(高圧水洗)工法を行う場合は、外部側に20mmの打増しを行う

せき板の材料及び厚さ [6.8.2]
・合板（※12mm ・ ） Ⓖ ・
断熱材を兼用した型枠材の使用 [6.8.3]
・行う 適用箇所（ ）
・行わない
スリーブの材料・規格等 [6.8.2]
※標仕 6.8.2(9)(ア)、(イ)による ・

構造特記参照

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
髙野 洋平 一級建築士 交通大臣登録第329238号
DAI ARCHITECTURAL INC.
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士 交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title: 教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事
Client: 曽於市
Name of Drawing: 特記仕様書
Scale:
Architect
Drawn by: NAMIKO NISHI
Checked by: YOHEI TAKANO
Date: 2026.9.30
A-003

7 鉄骨工事

① 鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力 [7.1.3]
※建築基準法第68条の2⑸に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める（ Ｈ ）グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・監督職員の承認する工場（標仕 7.1.1以外の適用範囲に限る。）
※渡り廊下部分の鉄骨工事については、(J)グレードでも可とする。

② 鉄骨製作工場における施工管理技術者 [7.1.4]
○配置する ・配置しない

③ 鋼材

材料等 [7.2.1] [表7.2.1]

種類の記号	適用場所	規　格
ＢＣＲ295	※図示による（　）	※JISによる ・大臣認定による ・
ＳＮ490	※図示による（　）	※JISによる ・大臣認定による ・
ＳＳ400	※図示による（　）	※JISによる ・大臣認定による ・
	※図示による（　）	※JISによる ・大臣認定による ・

有効細長比(圧縮材に限る)
※図示による ・

④ 高力ボルト

高力ボルトの区分 [7.2.2] [7.3.2] [7.4.1～9]
○トルシア形高力ボルト
○JIS形高力ボルト
セットの種類 ※2種(F10T) ・
高圧ボルトの径 ○図示による(構造図による) ・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [7.3.2]
○図示による ・
摩擦面の処理方法
○標仕 7.4.2(1)による ・

すべり係数試験 [7.4.2]
※行わない
・行う
試験方法等
・図示による(　) ・

⑤ 普通ボルト

ボルト及びナットの材料 [7.2.3] [7.3.2] [7.3.8]
※標仕 表7.2.3（JIS附属書品）による
・標仕 表7.2.3（JIS附属書品）又は、JIS本体規格品（ISO規格）による。（JIS本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルト、強度区分8.8及び10.9の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット-Cの鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。）
座金
※標仕 7.2.3(4)による ・
ボルトの径
○図示による（　） ・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [7.3.2]
○図示による ・

⑥ 溶融亜鉛めっき高力ボルト

セットの種類 [7.2.2] [7.12.4、5]
※1種(F8T相当) ・
溶融亜鉛めっき高力ボルトの径
○図示による(　)
溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 [7.3.8]
○大臣認定を受けた内容による ・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
○図示による **[7.3.2]**
・
摩擦面の処理 [7.12.5]
○ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)又は、リン酸塩処理
リン酸処理とした場合は、すべり係数の確認を行う。
※すべり係数試験
試験方法等
・「高力ボルト接合設計施工ガイドブック（日本建築学会）」による

⑦ アンカーボルト

適用 [7.2.4] [表7.2.3]
○構造用アンカーボルト
○ABR400 セットの種類(JIS B 1220)
・ABR490 セットの種類(JIS B 1220)
・SNR400B アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
・標仕 表7.2.3による ・
形状、寸法
○図示による(構造図による) ・
○建方用アンカーボルト
材質
○SS400 ・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
○標仕 表7.2.3による ・
形状、寸法
○図示による(構造図により) ・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [7.3.2]
○図示による(構造図による) ・

⑧ 溶接材料

溶接材料 [7.2.5]
※標仕 7.2.5(1)(2)による
・標仕 7.2.5(1)(2)以外の溶接材料
材料及び使用箇所
・図示による(　) ・

⑨ ターンバックル

種類 [7.2.6]
建築用ターンバックル胴
※割枠式 ・
建築用ターンバックルボルト
※羽子板ボルト ・
ねじの呼び
○図示による(　) ・

構造特記参照

7 鉄骨工事（続き）

⑩ 床構造用デッキプレート

材質、形状及び寸法 [6.8.2] [7.2.7]

	適用箇所	材質・形状・寸法	備　考
・デッキプレート単独の構法			
○デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法	渡り廊下 ２Ｆスラブ	図示による	

床型枠用を使用する場合において、受注者は施工に先立ち施工の安全性を確認すること。
開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む)
・図示による(　) ・
鉄骨部材への溶接方法
○図示による(　) ・
耐火認定
○有り
耐火時間
○図示による（構造図による） ・
・無し

⑪ スタッド

材質、形状及び寸法 ※頭付きスタッド JIS B 1198 ・ [7.7.8]
呼び名等

呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所
○16	110	渡り廊下２Ｆスラブ
・19		
・22		

⑫ 柱底均しモルタル

モルタルの種別 [7.2.9]
○無収縮モルタル
無収縮モルタルの材料、調合等
※標仕 表7.2.9(2)(ア)から(エ)による ・
・標仕 表7.2.9(1)によるモルタル

⑬ 工作図

監督職員による現寸検査 [7.3.2]
○行わない ・行う
増築工費等を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測のうえ、作成を行う。

⑭ 製作精度

鉄骨の製作精度は、JISS 6 付則6［鉄骨精度検査基準］に加えて次による [7.3.3]
通しダイヤフラムの突合わせ継手の食い違い寸法
※H12建告第1464号第二号イ(2)による ・
アンダーカットの寸法
※H12建告第1464号第二号イ(3)による ・
食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法
・「突合わせ継手の食い違い・仕口のずれの検査・補強マニュアルによる」 ・

⑮ 鉄骨の仮組

○行わない [7.3.10]
・行う
仮組を行う範囲
・図示による(　)

16 溶接技能者の技量付加試験

試験の要領及び試験を要する溶接箇所 [7.6.3]
・図示による(　) ・

⑰ 溶接接合

開先の形状 [7.6.4]
○図示による（　） ・
スカラップの形状 [7.6.7]
○図示による（　） ・
エンドタブの切断する部分 [7.6.7]
○全て
・見え掛り部となる部分
・切断する部分なし
・
切断する範囲
○エンドタブ、裏あて金等は、梁フランジの端から直線上に切断する。その際の残し寸法は、5mm以下とする。なお、切断面が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。
・
切断面の仕上げ
○標仕7.6.7(1)(ｶ)(ｸ)②による
溶接部の余盛り高さ [7.6.7]
※JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」付表3［溶接］による ・
低応力高サイクル疲労を受ける部位 **[7.6.7]**
○図示による(　) ・

⑱ 現場溶接の有無

・無し
○有り
適用箇所
○図示による(構造図による)

⑲ 入熱、パス間温度の溶接条件

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 [7.6.7] [7.6.10]
○図示による（　） ・
適用箇所
・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
○図示による(構造図による)

⑳ 溶接部の試験

完全溶込み部の超音波深傷試験 [7.6.12] [表7.6.2] [表7.6.3]
・行わない
※行う
○工事溶接の場合
・全数検査
○抜取検査
AOQL(%) ○4.0 ・2.5

節	○全て	・	・
検査水準	○第6水準	・	・

・工事現場溶接の場合
○全数検査
・計数連続生産型抜取検査
AOQL(%) ・4.0 ・2.5
突き合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査
「突き合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・マニュアル(建築研究所監修)」による
・抜き取り検査 ①
※抜き取り検査 ②

JASS 6 付則6［鉄骨精度検査基準］の付表3「溶接」に関する試験方法等
・JASS 6 10.4[受入検査] e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波深傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。

構造特記参照

7 鉄骨工事（続き）

㉑ 錆止め塗装

塗料の種別 [7.8.4] [18.3.2]
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面の錆止め塗料（鉄骨に溶接されたものに限る）
※標仕 表18.3.1 Ａ種 ・
・塗装を行う耐火被覆材の接着する面
適用箇所
・図示による(　) ・
塗料の種別
・標仕 表18.3.1(　)種
・標仕 表18.3.2(　)種

22 耐火被覆

種別 [7.9.2～8]

種　別	材料・工法	性　能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	・半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
	・		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張り モルタル塗り	－		
・耐火塗料		－時間耐火構造	渡り廊下

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

㉓ 建方精度

※(一社)日本建築学会「JASS6鉄骨工事」付則6[鉄骨精度基準] 付表5[工事現場]による [7.10.2]

㉔ アンカーボルト等の設置

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 [7.10.3] [表7.10.1]
種別 ○A種 ・B種
構造用アンカーフレームの形状及び寸法
種別 ○図示による（　） ・
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 [7.10.3] [表7.10.2]
※標仕 表7.10.2
※Ａ種 モルタル厚さ（50mm）
・Ｂ種 モルタル厚さ（　）

25 軽量形鋼構造

接合部（ボルト接合の場合） [7.11.2]
・普通ボルト接合 ・
もや、胴縁類の取付け用ボルトを普通ボルト接合とする場合は、二重ナットとする。

26 溶融亜鉛めっき（構造耐力上主要な部分）

種別等 [7.12.4] [表14.2.2]

亜鉛めっきの種別	材　料	適用部位
Ａ種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板	
Ｂ種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	
Ｃ種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の軽量形鋼類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の軽量、鋼板	

素地ごしらえはJIS H 8641による
適用箇所
※図示による(　) ・

27 梁貫通孔の補強

補強方法
・補強プレート法
・補強トラス法
適用箇所
※図示による(　) ・

構造特記参照

8 コンクリートブロック・ＡＣＬパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造

ブロックの種類等 [8.2.2、3、5、8]

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	モデュール呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	適用箇所	備　考
※空洞ブロックC(16)	・120	※400	※200	※無 ・有		
	※150	・	・			
				※無 ・有		

モルタルの調合（容積比）
・セメント（　） : 砂（　）
各部の配筋 ※図示 ・
モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲
※図示 ・

2 コンクリートブロック帳壁及び塀

ブロックの種類等 [8.2.2、3、4]

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	モデュール呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備　考
・空洞ブロックC(16)	・120	※400	※200	※無 ・有		
	※150	・	・			
・型枠ブロック 20	・120	※400	※200	※無 ・有		
	※150	・	・			
・				※無 ・有		
・				※無 ・有		

塀の厚さ ・
塀の高さが2m以下 ・120 ・
塀の高さが2m超え ・150 ・
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状
※図示 ・
各部の配筋 ※図示 ・
化粧目地の有無 ・無 ・有
工法
コンクリートブロック積帳壁の積高さは、壁厚の25倍かつ3500以内とし、その他の部分は同厚の鉄筋コンクリート造垂壁とする

8 コンクリートブロック・ＡＣＬパネル・押出成形セメント板工事（続き）

3 ALCパネル

[8.4.2～5]

パネルの区分	単位荷重（N／㎡）	厚さ(mm)	幅(mm)	耐火性能	表面加工	構法の種別
・外壁用		・100 ・		・なし ・1時間	・平 ・意匠	・Ａ種 ・Ｂ種
・間仕切壁用		・100 ・		・なし ・1時間	・平 ・意匠	・Ｃ種 ・Ｄ種 ・Ｅ種
・屋根用		・100 ・		・30分 ・1時間		・Ｆ種
・床用		・100 ・		・1時間 ・2時間		

パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材 ・
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ・
パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅（mm） ※10～20 ・
外壁、間仕切壁パネルの伸縮調整目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない

4 押出成形セメント板（ＥＣＰ）

外壁、屋根パネルの構法
外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における配慮性能 [8.5.2～5]

パネルの種類	形　状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法の種別	耐火性能
○外壁パネル	○Ｆ ・Ｆ－Ｒ	・50	・450	○A種	・30分
	・Ｄ ・Ｄ－Ｒ	○60	○600	・B種	○1時間
	・Ｔ ・Ｔ－Ｒ	・100	・		・2時間
○間仕切壁パネル	○Ｆ ・Ｆ－Ｒ	・50	・450	・B種	・30分
	○Ｄ ・Ｄ－Ｒ	○60	○600	○A種	○1時間
	・Ｔ ・Ｔ－Ｒ	・100	・		・2時間

注）Ｆ：フラットパネル、Ｄ：デザインパネル、Ｔ：タイルベースパネル

パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ・
パネル相互の目地幅（mm） ※長辺（　）、短辺（　）
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅（mm） ※15 ・
耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ・ ※パネルの製造所の仕様
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した施工詳細書を提出する。

		孔あけ及び欠き込みの大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに孔あけを設ける場合	短辺	○パネル幅の1/2以下かつ300mm以下	○150mm以下
	長辺	○500mm以下	○300mm以下
パネルに欠き込みを設ける場合	短辺	○パネル幅の1/2以下かつ300mm以下	○300mm以下
	長辺	○500mm以下	○300mm以下

構造特記参照

9 防水工事

1 アスファルト防水

屋根保護防水 [9.2.2～5] [表9.2.3～9]
防水層の種別

種　別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護方法
・Ａ－１			※ポリスチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・又はフラットヤーンクロス70g/㎡程度	※乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押さえ（JIS R 1250）
・Ａ－２				
・Ａ－３				
・Ｂ－１				
・Ｂ－２				
・Ｂ－３				
・Ａ１－１		（種類）※JIS A 9521に基づく押出法		
・Ａ１－２		ポリスチレンフォーム断熱材３種bA		
・Ａ１－３		（スキン層付き）		
・Ｂ１－１		・		
・Ｂ１－２		（厚さ）※25mm ・50mm ・		
・Ｂ１－３				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料による区分 ※Ｒ種
厚さ ・ mm以上
※標仕 表9.2.3及び標仕 表9.2.4による
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料による区分 ※Ｒ種
厚さ ・ mm以上
※標仕 表9.2.5及び標仕 表9.2.6による
立上り部への断熱材及び絶縁シート
・設置しない
・設置する
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※水下 80mm以上 ・
床タイル張り ※水下 60mm以上 ・
立上り部の保護方法
・乾式保護材
窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの（品質・性能・試験方法）
建築材料等品質性能表による

構造特記参照

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
髙野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI ARCHITECTURAL INC.
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
冨岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect	Date	
教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事	曽於市	特記仕様書		Drawn by NAMIKO NISHI Checked by YOHEI TAKANO	_ _ 2026.9.30	A-004

1 アスファルト防水（続き）

屋根露出防水
防水層の種別

種　別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	備　考
・Ｄ－１			・	・	
・Ｄ－２					
・Ｄ－３			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	
・Ｄ－４					
・ＤＩ－１		標仕　9.2.2(9)（種類）・（厚さ）※25mm　・50mm　・			
・ＤＩ－２					

高日射反射率防水の適用 G　・有　※無

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示　・
屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の、脱気装置の種類及び設置数量
種類　・　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量　・　個　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
防水層の種別

種　別	施工箇所	種　別	施工箇所
・Ｅ－１		・Ｅ－２	

保護層　・設ける（※図示　・　）　・設けない
防水層下地の立上り
※コンクリート打放し仕上げ　標仕　表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種　・
押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　Ｌ－30×15×2.0mm程度　・
防水層の下地のモルタル塗り　・適用する（施工範囲　※図示　・　）
・適用しない
屋根排水溝　※図示　・
施工標識　※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

2 改質アスファルトシート防水

防水層の種別　[9.3.2、3]　[表9.3.1～3]

種　別	施工箇所	断熱材 G	防湿用シート	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	備考
・ＡＳ－Ｔ１	屋根			・	・	
・ＡＳ－Ｔ２						
・ＡＳ－Ｔ３				・改質アスファルトシートの製造所の仕様	・改質アスファルトシートの製造所の仕様	
・ＡＳ－Ｔ４						
・ＡＳ－Ｊ１						
・ＡＳＩ－Ｔ１		標仕　9.3.2(3)(ｲ)（種類）・（厚さ）※25mm　・50mm　・	・設ける（改質アスファルトシートの製造所の仕様による）			
・ＡＳＩ－Ｊ１			・設けない			

高日射反射率防水の適用 G　・有　※無

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標仕　表9.3.1から表9.3.3による
用途による区分　・
材料構成による区分　※Ｒ種
厚さ　・　mm以上
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分　・
材料構成による区分　※Ｒ種
厚さ　・　mm以上
※標仕　表9.3.2から表9.3.3による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分　・
材料構成による区分　※Ｒ種
厚さ　・　mm以上
※標仕　表9.3.2から表9.3.3による
押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　Ｌ－30×15×2.0mm程度
・
屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の、脱気装置の種類及び設置数量
種類　・　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量　・　個　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
施工標識　※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

[9.4.2～4]　[表9.4.1～3]

種　別	施工箇所	可塑剤移行防水シートの材質	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	備　考
・Ｓ－Ｆ１		・※発泡ポリエチレンシート		・ルーフィングシートの製造所の仕様	・※ルーフィングシートの製造所の仕様	
・Ｓ－Ｆ２						
・Ｓ－Ｍ１				・ルーフィングシートの製造所の仕様	・ルーフィングシートの製造所の仕様	
・Ｓ－Ｍ２						
・ＳＩ－Ｆ１		・※発泡ポリエチレンシート	標仕　9.4.2(3)(ｴ)(b)（厚さ）※25mm　・	・ルーフィングシートの製造所の仕様	・ルーフィングシートの製造所の仕様	
・ＳＩ－Ｆ２						
・ＳＩ－Ｍ１			標仕　9.4.2(3)(ｴ)(a)による（種類）（厚さ）※25mm　・	・ルーフィングシートの製造所の仕様	・ルーフィングシートの製造所の仕様	
・ＳＩ－Ｍ２		・※発泡ポリエチレンシート				

高日射反射率防水の適用 G　・有　※無

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

Ｓ－Ｆ１、Ｓ－Ｆ２、Ｓ－Ｍ１及びＳ－Ｍ２の仕様
・非歩行仕様　・軽歩行仕様
ＳＩ－Ｍ１及びＳＩ－Ｍ２における防湿フィルム
・設置する　・設置しない
Ｓ－Ｍ２又はＳＩ－Ｍ２の立上り部の工法
・接着工法　立上り面のシート厚さ　・　※1.5mm
・機械的固定方法
屋内防水

種　別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗り 塗厚	保護層 平場のモルタル塗り	保護層 立上り部の保護モルタル塗厚
・Ｓ－Ｃ１	・	・	・	※7mm以下・

屋内保護密着工法
平場のモルタル塗りの目地　・種類　・目地割　・図示
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
「JIS A 6008」に基づく種類及び厚さ
種類　・
厚さ　・
※標仕　表9.4.1から表9.4.3による
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類　・　※ルーフィングシートの製造所の仕様
設置数量　・　個　※ルーフィングシートの製造所の仕様
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれら鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法においてプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（・図示　・　）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）
・行う（・図示　・　）
機械式固定方法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
１章　適用区分による風圧力の（・1.0　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
施工標識　※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

4 塗膜防水

防水層の種別　[9.5.3]　[表9.5.1、2]

種　別	施工箇所	仕上塗料 種　類	仕上塗料 使用量	保護層	備　考
・Ｘ－１		・主材料の製造所の仕様・	・主材料の製造所の仕様・		
・Ｘ－２		・主材料の製造所の仕様・	・主材料の製造所の仕様・		
・Ｙ－１	・地下外壁防水　・				
・Ｙ－２	・屋内防水・			・適用する・適用しない	

高日射反射率防水の適用 G　・有　※無

ウレタンゴム系塗膜防水Ｘ－１（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量
種類　・　※主材料の製造所の仕様
設置数量　・　個　※主材料の製造所の仕様
ゴムアスファルト系塗膜防水Ｙ－１、Ｙ－２の工程数及び各工程の使用量
・
※主材料の製造所の仕様
施工標識　※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

5 ケイ酸質系塗布防水

防水層の種別　[9.6.1、3、4]　[表9.6.1、2]

種　別	施工箇所	種　別	施工箇所
・Ｃ－ＳＵＩ	地下ピット	・Ｃ－ＳＵＰ	

防水層の下地
壁　（・　※コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4 B種））
天井部（・　※コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4 B種））
下地処理
コンクリートの打継ぎ箇所の処理
・図示
・
・打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる、水洗い清掃後、防水剤製造所の指定する材料を充填する
型枠締付け材にコーンが使用されている部位及び防水剤の塗布面以外の下地処理
・図示
・

⑥ シーリング

下表以外は、標仕 表9.7.1による　[9.7.2、3、5]　[表9.7.1]
ただし、外装壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
建具廻り	ＭＳ-2

シーリング材の目地寸法
※標仕 9.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による
・図示
・
接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験

⑦ 保証書及び期間

防水工事の施工について、10年保証を提出すること。なお、保証書は元請業者と施工業者の連帯とする。（シーリングを除く）

1 施工

石材の割付け　・図示　[10.1.3、5]
粗面仕上げの場合ののみ込みとなる部分の仕上げ
・図示　・
屋内の床を本磨きとする場合のワックスがけ
・行う（適用場所　・すべて　・　）　・行わない

2 石材等

[10.2.1、3]　[表10.2.1、2]

天然石

施工箇所	岩石の種類	等　級	形状及び寸法（mm）	厚さ（mm）	表面仕上げの種類	備　考
・床石	御影石	※2等品	※正方形に近い矩形（石材1枚の面積が0.8㎡以下）・	・図示	・粗磨き・本磨き	
		※2等品	※正方形に近い矩形（石材1枚の面積が0.8㎡以下）・	・図示	・粗磨き・本磨き	

ジェットバーナー仕上げのパフ仕上げの有無
・有　・無

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ（mm）	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法（mm）	表面仕上げの種類	備　考
	※大理石・花こう岩	※1.5～12・	・平もの・役もの	・片面・両面	・図示		

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ（mm）	寸法による区分	表面仕上げの種類	備　考
	※大理石・花こう岩	※1.5～12・	・300型・400型		

取付け用モルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料等
※専門工事業者の指定する製品　・

3 外壁湿式工法

[10.2.2、3]　[10.3.2、3]

受金物　材質　※SUS304　・
形状及び寸法　・L-75×75×6(mm)の加工　長さ=100mm
・L-75×75×6(mm)の加工　長さ=150mm
・
アンカーの材質及び寸法　※SS400　・　寸法　・
あと施工アンカーの材質及び寸法等　種類　・　材質　・　寸法　・
ドレンパイプの材質　・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ　・
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※流し筋工法　・あと施工アンカー工法　・あと施工アンカー、横筋流し工法
目地　一般目地　目地幅(mm)　※6以上　・
シーリング材　目地幅　・標仕（表9.7.1）による
伸縮調整目地　位置　※標仕 表11.1.1による　・図示
シーリング材　・標仕（表9.7.1）による
目地寸法　※幅・深さとも10mm以上　・図示

4 内壁空積工法

[10.2.2]　[10.4.2、3]

受金物　材質　※SUS304　・
形状及び寸法　・L-75×75×6(mm)の加工　長さ=100mm
・L-75×75×6(mm)の加工　長さ=150mm
・
アンカーの材質及び寸法　※SS400　寸法　・
あと施工アンカーの材質及び寸法等　種類　・　材質　・　寸法　・
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※あと施工アンカー、横筋横流し工法　・あと施工アンカー工法
目地　一般目地　目地幅(mm)　※6以上　・
シーリング材　目地幅　・標仕（表9.7.1）による
伸縮調整目地　位置　※6mごと　・図示
シーリング材　・図示
目地寸法　※幅・深さとも10mm以上　・図示

5 外壁乾式工法

[10.2.2]　[10.5.2、3]　[表10.2.4]

乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等
※標準表10.2.1による
（右式　・スライド方式　・ロッキング方式）
（・図示による　）
アンカーの材質及び寸法　※ステンレス（SUS304）　M10　・
あと施工アンカーの材質及び寸法等（　）種類：　材質：　寸法：
だぼ用の穴の位置　※標仕 10.5.2(2)(ｱ)による　・図示
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
建築基準法に基づく耐風圧に対応した工法
１章　適用区分による風圧力の（・1.0　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
目地　目地幅及び深さ(mm)　※8以上　・
シーリング材
※標仕（表9.7）による　・図示

6 床及び階段の石張り

[10.6.2、3]

床石張りの浸透性給水防止剤　・適用する　・適用しない
床石張りの石裏面処理　・適用する　・適用しない
階段張りの石裏面処理　・適用する　・適用しない
目地　一般目地　目地幅(mm)　・図示　・
・屋外　4以上　・屋内　3～6
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地　位置　※床面積30m2程度ごと、細長い通路の場合6m程度ごと及び他の部材と取り合う箇所
・図示
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示

7 笠木、甲板等の石張り

[10.2.2]　[10.7.1、2]

取付け工法　・外壁湿式工法　・乾式工法
石材の厚さ　・　mm
特殊部位用金物　※標仕 10.2.2(3)　・
材質　※ステンレス（SUS304）
寸法　引金物　・
だぼ　・
かすがい　・
受金物　・
乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等
ファスナー　・図示　・標仕（表10.2.4）に準ずる
（方式：　・スライド方式　・ロッキング方式）
あと施工アンカーの材質及び寸法等　種類　・　材質　・　寸法　・
石裏面処理　・適用する　・適用しない
乾式工法の場合の取付け代　※70mm程度
石材の裏面の補強用モルタル　・適用する　・適用しない

1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置　※標仕　表11.1.1による　・図示　[11.1.3]　[表11.1.1]
目地寸法　※標仕　表9.7.3による　・図示

2 セメントモルタルによるタイル張り

タイルの形状、寸法等　[11.2.2、3、6]

施工箇所	種類	形状/寸法（mm）	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	再生材料の適用 G	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　※行わない
見本焼き　・行う　※行わない
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（高圧水洗処理）　・MCR工法　・
壁タイル張りの工法
内装タイル　・密着張り　・改良圧着張り
外装タイル　※密着張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り
既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする
（品質・性能・試験方法）　建築材料等品質性能表による

3 有機系接着剤によるタイル張り

[11.3.2～4、7]

タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法（mm）	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	再生材料の適用 G	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　※行わない
見本焼き　・行う　※行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・
目地のシーリング材
打継ぎ目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
伸縮調整目地　※変成シリコーン系シーリング材　・
その他の目地　※変成シリコーン系シーリング材　・
下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理
・MCR工法　・目荒し工法（高圧水洗処理）　・

4 階段滑り止め

※磁器製（　）
・（　）

12 木工事

① 木材の品質

構造材については、「認証かごしま材」を優先して使用することとし、次に示す部位の木材は、「認証かごしま材」を使用すること。（造作材、木製間仕切り、腰壁）

② 表面仕上げ　[12.1.4]　[表12.1.1.2]

表面仕上げの種別		適用箇所
	・A種	
機械加工	※B種	構造材
	・C種	
	・H－A種	
手加工	⊙H－B種	木製建具、可動間仕切り建具
	・H－C種	

③ 製材 G　[12.2.1]　[12.4.1]　[12.5.1]　[12.6.1]　[12.7.1]

・「JAS 1083-5」製材・第5部に基づく

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材等の適用
床組	杉	45X60	※2級⊙特1	平	※A種⊙B種・	－		
床ｽﾉｺﾊﾞｼ	杉	45X60	※2級⊙特1	平	※A種⊙B種・	－		
小屋組	杉	90X90	※2級⊙特1	正	※A種⊙B種・	－		

・「JAS 1083-2」製材・第2部に基づく

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材等の適用
見え掛り面	杉	図示	⊙上小節・		※A種・B種・	－		
見え掛り面以外			※小節以上・		※A種・B種・			・

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	間伐材等の適用
木製建具	檜	図示	※１級・	平	※10%以下	－		
			※１級・		・A種・B種・			・
			※１級・					・

・「JAS 1083(製材)」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
			（　　）	・適用する	※A種・B種	・
			造作材の場合	・適用しない	・	
			(※A種　・B種)			

④ 造作用集成材 G　[12.2.1]

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

⊙「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
腰板	檜	図示	図示	※１等　・２等	
				※１等　・２等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
						※１等　・２等	・
						※１等　・２等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	間伐材等の適用
						・
						・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下・	・
				※15%以下・	・
				※15%以下・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造成用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下・	

5 造作用単板積層材 G　[12.2.1]

ホルムアルデヒド放射量

・「JAS 0701」に基づく造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り（加工　・天然木加工・塗装加工）	・適用する	・
		・無し（等級：　　）	・適用しない	

・「JAS 0701」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧施工	防虫処理	含水量	間伐材等の適用
		・有り （加工　・天然木加工・塗装加工） ・無し（　　）	・適用する ・適用しない	※14%以下	・

・「JAS 3079」に基づくＣＬＴ（直交集成板）

施工箇所	品名	曲げ性能（強度等級）	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・

12 木工事（続き）

⑥ 床張り用合板等

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・　[12.2.1]

・「合板の日本農林規格」による普通合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5・	⊙ラワン・しな・	※1類・2類	広葉樹 ※2等以上　・1等 針葉樹 ※C－D以上・	・適用する ・適用しない	・

⊙「合板の日本農林規格」による構造用合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※24・	※2級以上・1級		※1類・特類	※C-D以上・	・適用する ・適用しない	・適用する（　） ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・１類 ・特類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			・１類 ・２類	・適用する（　　） ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
		・１類 ・２類			・適用する（　　） ・適用しない

・パーティクルボード G

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分
	※15・		※13タイプ・	※PXはM・	

・「JAS 0306」に基づく構造用パネル

施工箇所	厚さ(mm)	等　級
		・１級　・２級　・３級　・４級

・ＭＤＦ G

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分

⑦ 接着剤　[12.2.2、3]

接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。
ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・

⑧ 防腐・防蟻　[12.3.1、2]

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材
　適用部位：（　　柱･外壁　　）
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４

⊙薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部位	処理の方法	薬剤の種類
木柱下部1m	※標仕 12.3.1(f)(b)①～④による・	
外壁(仕上げ､下地下部1m)	※標仕 12.3.1(f)(b)①～④による・	
	※標仕 12.3.1(f)(b)①～④による・	

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
　適用部位（　　）
・合板等の加圧注入処理の適用
　適用部位（　　）

13 屋根及びとい工事

①長尺金属板葺　[13.2.2、3]

施工箇所	板及びｺｲﾙの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
本体屋根	※JIS G 3322の屋根用ｺｲﾙ(CGL CCR-20-AZ150)・	約30～40μ	0.4-0.5	・心木なし瓦棒葺 ⊙立平葺・鎌掛葺 ・横葺　・	嵌合瓦棒葺

下葺材料　※アスファルトルーフィング　940
　・改質アスファルトルーフィング下葺材
　（・一般ﾀｲﾌﾟ・複層材ﾀｲﾌﾟ・粘着層付ﾀｲﾌﾟ）
工法　１章　適用区分による風圧力の（　・1.0　⊙1.15　・1.3　）倍の風圧力に対応した工法

2 折板葺　[13.2.2]　[13.3.2、3]　[表13.2.1]

施工箇所	形　式	山高、山ﾋﾟｯﾁによる区分 山高	山ﾋﾟｯﾁ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形			（　）種	※鋼板製 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し
	・							

材料　※JIS G 3322の屋根用コイル（CGL CCR-20-AZ150）
　・（　　）
タイトフレームにJIS G 3322以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋外で使用する場合の表面処理
（標仕　表14.2.2による　　・Ｅ種　　・Ｆ種　）
断熱材　・有り（種別：　　厚さ(mm)：　　防火性能：　　時間）
　・無し
工法　折板のけらば納め
　※けらば包みによる方法
　・
工法　１章　適用区分による風圧力の（　・1.0　・1.15　・1.3　）倍の風圧力に対応した工法

3 粘土瓦葺　[13.4.2、3]

施工箇所	種　類 製法による区分	形状による区分	寸法による区分	産　地	役物瓦の種類

桟瓦の防災瓦の使用　・適用する　・適用しない
「JIS A 5208」に基づく凍害試験等　・行う　・行わない
瓦桟木　材質　・杉　・
　寸法　・幅21mm×高さ15mm以上　・
棟補強用心材　材質　・杉　・
　寸法　・幅40mm×高さ30mm　・
瓦緊結用釘及びねじ　種類（　）径（　）長さ（　）
棟補強等に使用する金物等
　材質　・ＳＵＳ製　・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製
　形状、寸法及び留付け方法　・図示　・
工法　１章　適用区分による風圧力の（　・1.0　・1.15　・1.3　）倍の風圧力に対応した工法
風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等　・図示　・
瓦桟木の留付け工法　・図示　・
棟の工法　・７寸丸伏せ棟又はＦ形用冠瓦伏せ棟　・のし積み棟　・
面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
　・モルタル　・瓦葺き用しっくい

④ とい

といの材種　[13.5.2、3]　[表13.5.4]

種　別	材　種	径	施工箇所	備　考
たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管			
	・配管用鋼管			
	・ステンレス鋼管			SUS304
	⊙硬質ポリ塩化ビニル管（カラー）	89	本体	
軒どい	・			

防露材のホルムアルデヒド放散量
　※規制対象外　・
鋼管製といの防露巻き　・適用する（工法：※標仕 表13.5.4による　・　　）
　⊙適用しない

とい受金物　[13.5.2]　[表13.5.3]
　材種　・鋼製（溶融亜鉛めっき）　※ステンレス製
　形状　※市販品（　　）・25×4.5mm以上（とい径100を超えるもの）
　取付け間隔　⊙標仕（表13.5.2）による　・
足金物
　材種　・鋼製（溶融亜鉛めっき）　※ステンレス製
　形状　※市販品　・
　取付け間隔　・標仕（表13.5.2）による　・

ルーフドレン

種　別	呼　び	施工箇所	材　種
・ろく屋根用（・縦形Ⅰ型　・横形Ⅰ形）・ねじ込式	・80　・100　・125　・150	軒樋	錆鉄
・バルコニー用（・ねじ込式　・差込式）	・50　・75　・80　・100		
・バルコニー中継用（・ねじ込式　・差込式）	・50　・75　・80　・100	テラス	錆鉄

⑤ 保証書及び期間

金属屋根工事の施工については、10年保証書を提出すること。なお、保証書は元請業者と施工者の連帯とする。

14 金属工事

1 ステンレスの表面仕上げ

種　類	施工箇所（手すり、タラップ、建具以外）
※ＨＬ程度	
・鏡面仕上げ程度	
・No. 2B 程度	

2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理　[14.2.1]　[表14.2.2]

種　別	色合い等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）	備　考
	・標準色（　） ・特注色（　）		

陽極酸化皮膜の着色方法　※二次電解着色
　・三次電解着色

3 鉄鋼の亜鉛めっき　[14.2.2]　[表14.2.2]

表面処理方法	種　別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	・Ａ種	
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

④ 軽量鉄骨天井下地　[14.4.2～4]　[表14.4.1]

野縁等の種類
　屋外（・25形　⊙9形）　屋内　⊙9形　・25形）
・屋外の軒天井、ピロティ天井等
　野縁受、吊りボルトの間隔　⊙900程度　・（　　）
　周辺部の端からの間隔　⊙図示　・
　野縁の間隔　⊙300程度　・（　　）
⊙吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
　補強方法　※図示　・
・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合
　補強方法　※標仕 14.4.4(8)　・図示　・
・天井のふところが3.0mを超える場合
　補強方法　※図示　・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
　補強箇所　・図示　・
　補強方法　・図示　・
・天井下地材における耐風圧性を考慮した補強
　補強箇所　・図示　・
　補強方法　・図示　・
・耐震性能
　建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
⊙屋外の軒天井・ピロティ天井等の工法
　１章　適用区分による風圧力の（　⊙.0　・1.15　・1.3　）倍の風圧力に対応した工法

⑤ 軽量鉄骨壁下地　[14.5.3、4]　[表14.5.1]

スタッド、ランナーの種類
　※標仕 表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類　・図示
　スタッドの高さが5.0mを超える場合　※図示　・

出入口及びこれに準ずる開口部の補強
　※標仕 14.5.4(5)による　・

6 金属成形板張り　[14.6.2、3]　[表14.2.1]

種　別	製　法	形　状	板　幅 (mm)	板　厚 (mm)	表面処理 種　別	表面処理 色合い等
※アルミニウム	※押出し ・ロール ・プレス・	・フラット ・目地有 ・目地無 ・凹凸	※100・	※1.0・		
・						

取付け用下地　※標仕 14.4による　・図示
伸縮調整継手　・設ける（施工箇所　・図示　・　　）　・設けない
屋外の軒天井・ピロティ天井等の工法
　１章　適用区分による風圧力の（　・1.0　・1.15　・1.3　）倍の風圧力に対応した工法

7 アルミニウム製笠木　[14.7.2、3]　[表14.2.1]　[表14.7.1]

施工箇所	種　類	製品幅	呼称肉厚	表面処理 種別	表面処理 色合い等
	・押出し250形	※260～240	※1.6以上	・（　）種	・標準色
	・押出し300形	※300	※1.8以上		（　）
	・押出し350形	※350	※2.0以上		・特注色
	・（　）	・（　）	※2.0以上		（　）
	・板材折曲げ形	・（　）	※2.0以上		

棟上避雷導体システム　・無　・有（実厚2.0以上）
笠木の固定金具の工法等
取付け用下地　※標仕 14.4による　・図示
笠木の固定金具の工法等
　１章　適用区分による風圧力の（　・1.0　・1.15　・1.3　）倍の風圧力に対応した工法

8 手すり及びタラップ

手すり　・SUS304（表面処理　※HL程度　・　）
　・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき
　種別　※標仕 表14.2.2による
タラップ　※SUS304（表面処理　・研磨なし　仕上げは＃400程度
　・HL程度
　・鋼製　（表面処理　※溶融亜鉛めっきC種　・　）
　滑り止め　※ローレット加工　・（　　）

15 左官工事

① モルタル塗り

モルタル　(・)現場調合材料　・既調合材料　[15.3.2、5]
（材料：　）
既製目地材　・設ける　施工箇所（　）　形状（※図示　・　）
(・)設けない
床の目地　(・)設ける
（目地割り　※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）・　）
（種類　　※押し目地　・　）
・設けない
外装壁タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
※適用する　・適用しない
・防水剤
（品質・性能・試験方法）
建築材料等品質性能表による

② ラス系下地

ラス系下地　[15.2.4]
・通気構法単層下地
換気口部の措置　・公共木造建築標仕（11.4.3）(2)(ｳ)
(・)通気構法二層下地
・直張りラスモルタル下地
・直張りラスシートモルタル下地
耐力壁、耐火構造、準防火構造等の指定（　）
ラスの材料
種類　（　波型ラス網　）
材料の記号及び単位面積あたりの質量（　M,700g/㎡　）
ラスシートの材料
ラス目による区分　(・)M　・　）
山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分
（(・)ＬＳ４（建築基準法に基づく耐力壁）　・　）
ステープルの形状及びﾋﾟｯﾁ（　線厚:0.56/幅:1.15/長:19　）
直張りラスシートモルタル下地で建基法に基づく耐力壁のラスシートの施工
（　）

せっこうボード

[15.2.5]
・

③ セルフレベリング材塗り

・せっこう系　(・)セメント系　[15.5.2]　[表15.5.1]

④ 仕上塗材仕上げ

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　[15.6.2]
※規制対象外　・
仕上塗材の種類
(・)薄付け仕上塗材

種　類	仕上げの形状	工　法	吸放湿性	防火材料	
・	・	・	・適用する	・	
・	・	・	・適用する	・	

・厚付け仕上塗材

種　類	仕上げの形状	工　法	吸放湿性	上塗り	防火材料
・	・	・	・適用する	・適用する	・
・	・	・	・適用する	・適用する	・

(・)複層仕上塗材

種　類	仕上げの形状	工　法	上塗りの種類	耐候性	防火材料
防水型複層塗材E	凸凹 ゆずはだ	吹付	溶媒　※水系 ・ **樹脂　※ｱｸﾘﾙ系** ・ 外観　※つやあり ・	※耐候性 ３種 ・	・
・	・	・	・	・	・

・軽量骨材仕上塗材

呼び名	防火材料
・	・
・	・

5 ＡＬＣパネルの場合の下地処理

内壁目地部の形状　※Ｖ形目地付き　・　[15.6.4]

6 マスチック塗料塗り

種別　・Ａ種　・Ｂ種（仕上材塗り：EP-G　※Ｂ種　・Ａ種）　[15.7.2]

7 せっこうプラスター塗り

下塗り　(・)既調合プラスター（下塗り用）　・現場調合プラスター（下塗り用）
上塗り　(・)既調合プラスター（上塗り用）　・しっくい塗り

8 ロックウール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・　[15.12.2、3]
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・
仕上げ吹付け厚さ(mm)　・図示　・25　・
色彩　・着色　※原色

9 しっくい塗り

しっくい　・現場調合材料　※標仕 15.10.2(1)(ｲ)による　[15.10.2～4]
・既調合材料　製造所（　）
種類　（　）
下地　※木ずり、こまい土壁塗り、せっこうラスボード、せっこうボード　・
・モルタル塗り
・下塗りをせっこうプラスターとし上塗りに塗り付ける場合
調合及び塗厚　・木ずり下地の場合　※標仕 表15.10.3
・こまい下地の場合　※標仕 表15.10.4

10 こまい壁塗り

[15.11.2～5、7、8]
のり　・土壁用ののり　・ふのり　※つのまた　・ぎんなんそう　・粉末海藻　・
・砂壁用ののり　※ふのり　・つのまた　・こんにゃくのり　・にかわ
・合成高分子系混和剤　・
色土　・土物仕上げに用いる土色の種類　（　）
・大津仕上げに用いる土壁の種類　（　）
色砂の種類　・天然砂と岩石の砕砂
・人工的に着色・製造したもの
調合　下塗りの場合　※標仕 表15.11.2　・
塗厚　※標仕 表15.11.8による
・建築基準法に基づく耐力壁のある場合（　）
工程　※Ａ種　・Ｂ種
・土物仕上げ
種類　・土物仕上げ工法
・水ごね土物１工法　・水ごね土物２工法　・のりさし土物工法　・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
・大津仕上げ　種類　・普通大津仕上げ工法　・大津みがき仕上げ工法

16 建具工事

1 防火戸

※建具表による　・　[16.1.3]

2 防犯建具部品

・適用する（※建具表による　・　）　[16.1.6]
※適用しない

③ アルミニウム製建具

性能等級　[16.2.1、2、4、5]　[表14.2.1]
外部に面する建具　・Ａ種（建具符号　・建具表による　・　）
※Ｂ種（建具符号(・)建具表による　・　）
・Ｃ種（建具符号　・建具表による　・　）
・Ｄ種（建具符号　・建具表による　・　）
・Ｅ種（建具符号　・建具表による　・　）
防音ドアセット、防音サッシ　・遮音性の等級（・建具表による　・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドアセット、断熱サッシ Ｇ ・断熱性の等級（・建具表による　・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
枠の見込み寸法　・建具表による　・
表面処理の種別
外部に面する建具　・A-1種　・A-2種　※B-1種　(・)B-2種　・
皮膜等の種類（※標仕 表14.2.1による　・　）
屋内の建具　※C-1種　(・)C-2種　・
皮膜等の種類（※標仕 表14.2.1による　・　）
結露水の処理方法　※図示　・
水切り板、ぜん板　※建具表による　(・)図示

④ 網戸等

[16.2.3]

種　類	材　種	線　径	網　目
(・)防虫網	(・)合成樹脂製 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	・ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

5 樹脂製建具

性能等級　[16.2.2、5]　[16.3.2～5]
外部に面する建具　・Ａ種（建具符号：・建具表による　・　）　[表16.3.1～4]
・Ｂ種（建具符号：・建具表による　・　）
・Ｃ種（建具符号：・建具表による　・　）
・Ｄ種（建具符号　・建具表による　・　）
・Ｅ種（建具符号　・建具表による　・　）
防音ドアセット、防音サッシ　・遮音性の等級（・T-1　・T-2）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドアセット、断熱サッシ Ｇ ・断熱性の等級（・H-4　・H-5　・H-6　・H-7　・H-8　・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級（・　）
枠の見込み寸法　・建具表による　・
表面色　※標準色　・特注色
水切り板、ぜん板　※図示　・

6 鋼製建具

性能等級　[16.2.2]　[16.4.2～4]　[表16.4.2]
簡易気密型ドアセット　(・)適用する（建具符号：(・)建具表による　・　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　(・)耐風圧性の等級（　S-5　）
防音ドアセット、防音サッシ　・遮音性の等級（・建具表による　・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドアセット、断熱サッシ Ｇ ・断熱性の等級（・建具表による　・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
耐震性能　・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料　ステンレス鋼板　（・SUS304、SUS340J1L又はSUS443J1　・　）
ステンレス製くつずりの仕上げ　(・)HL　・
形状および仕上げ
鋼板類の厚さ　・標準仕様書（表16.4.2）による　・
使用箇所（　）

7 鋼製軽量建具

性能等級　[16.2.2]　[16.5.2～4]
簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号：　・建具表による　・　）
・適用しない
防音ドアセット、防音サッシ　・遮音性の等級（・建具表による　・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドアセット、断熱サッシ Ｇ ・断熱性の等級（・建具表による　・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
耐震性能　・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
鋼板　※亜鉛めっき鋼板　・ビニル被膜鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
鋼板の厚さ　・標仕 表16.5.1による　・　使用箇所（　）
召合せ、縦小口包み板の材質　※ステンレス鋼板　・鋼板
形状および仕上げ
鋼板類の厚さ　・標準仕様書（表16.5.1）による　・
使用箇所（　）

8 ステンレス製建具

性能等級　[16.2.2]　[16.4.2]　[16.6.2～5]
簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号：　・建具表による　・　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　・耐風圧性の等級（・　）
防音ドアセット、防音サッシ　・遮音性の等級（・建具表による　・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドアセット、断熱サッシ Ｇ ・断熱性の等級（・建具表による　・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
耐震性能　・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
ステンレス鋼板　※SUS304　・SUS430J1L　・SUS443J1　・
表面仕上げ　※ＨＬ　・鏡面仕上げ　・
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

16 建具工事（続き）

⑨ 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率　・Ａ種　※Ｂ種　・　[16.7.2～4]
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・Ｆ☆☆☆☆　・
(・)フラッシュ戸
表面材の合板の種類

合板の種類	規　格　等	備　考
※普通合板 Ｇ	表面の樹種 生地、透明塗料塗り（※ｳﾗﾝ程度 (・) シナ ） 不透明塗料塗り（※しな程度　・　） 板面の品質（※広葉樹1等　・　） 接着の程度 (・)1類　・2類 ）	
・天然木　化粧合板 Ｇ	樹種名（　） 接着の程度（・1類　・2類 ）	
・特殊加工　化粧合板 Ｇ	化粧加工の方法 （・ｵｰﾘｽﾃﾝ化粧合板　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・ﾒﾗﾐﾝ化粧合板） 表面性能（　）タイプ 接着の程度（・1類　・2類）	

表面板の厚さ　※標仕 表16.7.6による　・
・かまち戸
かまち樹種（　）　鏡板樹種（　）
見込み寸法　※36mm　・建具表による　・　30mm
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）　・鳥の子　※新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ　・塗り縁　※生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・
・戸ぶすま
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
・紙張り障子
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
枠、くつずりの材料　・建具表による　(・) 檜

⑩ 建具用金具

(・)マスターキー　※製作する（※新規　・既存にあわせる）　[16.8.2～4]　[表16.8.1]
※シリンダー箱錠
※レバーハンドル　材質　※アルミニウム合金　・ステンレス　・黄銅
座金　※丸座　・長座
・握り玉　材質　※ステンレス
・本締まり錠
（性能）
建築材料等品質性能表による
(・)空錠
※レバーハンドル　材質　※アルミニウム合金　(・)ステンレス　・黄銅
座金　※丸座　・長座
・握り玉　材質　※ステンレス
・グレモン錠
レバーハンドルの材質　※亜鉛合金　・ステンレス
製造所　※図示
・ピボットヒンジ
カバー部の材質　※ステンレス　・亜鉛合金
・フロアヒンジ
・Grade1　※Grade2
カバー部の材質　※ステンレス
・ヒンジクローザー（丁番型）
材質　・鋼（焼付け塗装）
・ヒンジクローザー（ピボット型）
材質　・鋼（焼付け塗装）
(・)ドアクローザー
・Grade1　※Grade2
材質　※アルミニウム合金
・押棒、押板
材質　・ステンレス　・黄銅　・合成樹脂
・アームストッパー
材質　・鋼（クロームめっき）　※ステンレス
(・)ウレセント
材質　※建具製造所の仕様による
・排煙オペレーター（※埋込　・露出）

⑪ 鍵

(・)マスターキー　製作する(・)新規　・既存にあわせる）　[16.8.4]
鍵の製作本数　(・)各室3本一組（室名札付き）　・
鍵箱　・無し
(・)有り　鋼板の市販品として監督員の承諾による
形式　(・)80本入り（１）個　・60本入り（　）個
・120本入り（　）個　・（　）本入り（　）個

12 自動ドア開閉装置

[16.9.2、3]

自動ドア	種類	性　能	防錆	センサーの種類	凍結防止
・引き戸	・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	※標仕 表16.9.1による	・適用する ・適用しない	・マットスイッチ ※光線（反射）スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・車椅子使用者用便房スイッチ	・適用する ・適用しない
・多目的トイレ出入口引き戸		※標仕 表16.9.2による			
・	・図示	・			

駆動力　※電気式又は電動油圧式　・（　）
電源　※単相100V（過電流保護装置付）・（　）
補助センサー　※安全光線スイッチ１組　・（　）
各開閉装置毎に補助センサを設ける
引き戸用検出装置の種類　・標仕 表16.9.4 による　・建具表による　・
タッチスイッチの種類　・無線式タッチスイッチ　・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類　・大型押しボタンスイッチ　・非接触スイッチ

⑬ 自閉式上吊り引戸装置

性能　※標仕 表16.10.1による　・　[16.10.3]

14 重量シャッター

[16.11.2、3]

シャッターの種類	耐風圧強度	備　考
・管理用シャッター	耐風圧強度（　）pa	※障害物感知装置（自動閉鎖型）
・外壁用防火シャッター	耐風圧強度（　）pa	
・屋内用防火シャッター		※危害防止装置
・防煙シャッター		

閉鎖機能による種類　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式
リモコンの有無　※無　・有（リモコン個数　個）
電動式の場合の電源　※三相200V　0.75kw以下（過電流保護装置付）
管理用シャッターのシャッターケース　・設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量　※Z12又はF12　・
ガイドレール、まぐさ、雨掛かりに用いる座板及び座板のカバー、雨掛かりに用いる
スイッチボックス類のふたの材質　・ステンレス鋼板(SUS304)　・

15 軽量シャッター

開閉方式による種類　※手動式　・上部電動式（手動併用）　[16.12.2～4]
シャッターケース　※設ける　・設けない
耐風圧強度（　）Pa
スラットの材質
※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっき付着量　（※Z06又はF06　・　）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板）
めっき付着量　（※A290　・　）
スラットの形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形
ガイドレール・座板の材質　※ステンレス（SUS304）　・溶融亜鉛めっき鋼板
電動式の場合の危害防止機構　※有（障害物感知装置自動閉鎖型）
電動式の場合の電源　※単相100V（過電流保護装置付）　・（　）

16 オーバーヘッドドア

[16.13.2、3]

セクション材料による区分	耐風圧区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置場所　・図示　・

⑰ ガラス

[9.7]　[16.14.2～4]　[表16.14.1]
フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類
(・)建具表による　・スクールテンパ
型板ガラスの厚さによる種類
・建具表による　・
網入りガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
(・)建具表による　・
合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
・建具表による　・
形状による種類
・平面合わせガラス　・曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅱ－１類　・Ⅱ－２類　・Ⅲ類
強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
・建具表による　・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅱ類
熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・建具表による　・
性能による種類
・１種　・２種
複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・建具表による　(・)スクールテンパ
断熱性による区分
・T1　・T2　・T3　・T4　(・)T5　・T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
(・)G　・S
乾燥気体の種類
(・)空気　・アルゴン　・
熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による　・
日射熱遮蔽性による区分
・１種　・２種　・３種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が２種の場合）
・Ａ種　・Ｂ種
映像調整
・行わない　・行う
倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による　・

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	(・)シーリング材(SR-1) ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形　・	(・)建具の製造所の仕様による ・図示 ・
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材(SR-1) ・	・建具の製造所の仕様による ・図示　・
ステンレス製	・シーリング材(SR-1) ・	・建具の製造所の仕様による ・図示　・

耐震性能　建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

18 ガラス用フィルム

右に示す製造所の商品程度とする　（　）
品質は　JIS A 5759による

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野　洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI ARCHITECTURAL INC.
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡　良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅　健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井　一得 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title: 教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事
Client: 曽於市
Name of Drawing: 特記仕様書
Scale: -
Architect
Drawn by: NAMIKO NISHI
Checked by: YOHEI TAKANO
Date: 2026.9.30
A-007

17 カーテンウォール工事

1 取付方法、性能等

[17.1.3] [17.2.2] [17.3.2]

取付方法　・層間方式　・柱・梁方式　・方立方式　・スパンドレル方式　・

性能

耐震性能	耐風圧性	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能
F(Eh)＝1.0ｘ自重 F(Ev)＝0.5ｘ自重	2,400pa	500pa	A-4		H-3	・30分 ・1時間

耐温度差性　・80℃　・70℃　・60℃

耐風圧性

適用区分による風圧力の（・1.0　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

支点間距離(h)	耐風圧性能	状　態
4m以下	・たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20㎜以下であること ・	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。
4mを超える	・	

耐震性能　・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

性能の確認及び判定方法　・性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し監督員の承諾を受ける。

2 メタルカーテンウォール

[17.2.2、3、5、6]

金属材料の種類　・アルミウム材　・鋼材　・ステンレス鋼材

シーリング材の種類（目地等）　種類及び寸法　・図示　・

ガラスの取付け材料　・シーリング　種類　・SR-2　・SR-1

支持方法　・４辺指示　・

断熱材 G　種類（　）　厚さ（mm）（　）　施工箇所　・図示　・

製品及び取付位置の寸法許容差　※標仕 17.2.1～3による

ガラス溝の寸法、形状　※製造所の仕様による　・

耐火処理

適用部位　・図示　・

材料、種別　・図示　・

3 ＰＣカーテンウォール

[17.3.2～5] [表17.3.1、2]

カーテンウォールの材料

コンクリート　種類　・普通コンクリート　軽量コンクリート1種　・

品質　※標仕17.3.2(1)(ｲ)による　・

鉄筋　※SD295A（・D13　・D10）

補強鉄線の径（mm）　※3.2　・4.0　・5.0　・6.0

配筋　※図示

シーリング材の種類（目地等）　種類及び寸法　・

先付けの材料　・建具枠　・ゴンドラ用ガイドレール

表面仕上材　・石材（・花こう岩　・大理石　・　）　・セラミックタイル

ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)　・h=-1～+2、W1及びW2=±1

製品及び取付位置の寸法許容差　※標仕 表17.3.1、2による　・

ガラスの取付け方法

ガラスの取付け材が構造用ガスケットで複層　ガラス等を使用する場合は、排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う。

18 塗装工事

① 材料

[18.1.3]

内部に使用する塗料は、原則水性系のものとする

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆　・

・防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。

・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　）

② 素地ごしらえ

[18.2.2～7]

下地面等		種　別
木　部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種　・A種
鉄鋼面（ＤＰ以外）		※C種　・A種　・B種
鉄鋼面（ＤＰのみ）		※C種　・A種　・B種
亜鉛めっき鋼面		・A種　(-)B種
モルタル面及びプラスター面		※B種　・A種
コンクリート面（ＤＰ以外）、ＡＬＣパネル面及び押出成形セメント板面		・A種　(-)B種
コンクリート面（ＤＰのみ）、ＡＬＣパネル面及び押出成形セメント板面		・A種　(-)B種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法	※A種　・B種
	目地：継目処理工法以外	※B種　・A種

3 錆止め塗料塗り

[18.3.2、3]

下地面等	塗料の種別	錆止め塗料の種別	錆止め塗料塗りの工程
鉄鋼面	SOP	・A種	見え掛り：A種、見え隠れ：B種
	DP	・C種及びD種	標仕（表18.3.4）
	EP-G	・A種　・B種	見え掛り：A種、見え隠れ：B種
亜鉛めっき鋼面	SOP	・鋼製建具等 ・A種　・B種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種
		・その他 ・A種　・B種	
	DP	・B種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種
	EP-G	・C種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種

④ 塗装

[18.4.1～18.12.2]

塗　装		種　別	塗料の種類	高日射反射率塗料の適用 G
(-)合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）	木部屋外	※A種　・B種		
	木部屋内	※B種　・A種		
	鋼製面	※B種　・A種		・適用する
	亜鉛めっき鋼面	—		・適用する
・クリヤラッカー塗り（CL）		※B種　・A種	—	—
・アクリル樹脂系非水分散型塗装塗り（NAD）		※B種　・A種	—	—
・耐候性塗料塗り（DP）	鋼製面	—	上塗り等級(　)級	・適用する
	亜鉛めっき鋼面	—	上塗り等級(　)級	—
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A種　・B種 ・C種	—	—
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G）	ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面等	※B種　・A種	—	—
	屋内の鋼製面	※B種　・A種	—	—
(-)合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）		※B種　・A種	—	—
・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）		※B種　・A種	—	—
(-)オイルステイン塗り（OS）		※水性　・油性	—	—
(-)木材保護塗料塗り（WP）		※B種　・A種	—	—

高日射反射率塗料 G を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする。

クリアラッカー塗（ＣＬ）A種の工種２の適用

・適用する（着色剤：　・溶剤系接薬剤　・油性染料接着剤）

・適用しない

・高日射反射率塗料塗り

工　程	塗料その他				塗付け量 (kg/㎡)
	規格番号	規格名称	種類	等　級	
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級　・2級　・3級	塗料製造所の仕様による

5 フッ素樹脂塗装

打放しコンクリート面保護工法

（下塗材）水性　浸透性吸水防止材

（上塗材）・水性フッ素樹脂クリアー

・水性フッ素樹脂カラークリアー

6 焼付塗装

素　材	焼付種別	仕上げ	コート	ベーク	部　位
・アルミニウム	・フッ素樹脂	・ソリッド			
	・ウレタン樹脂	・メタリック			
	・アクリル樹脂				
・ステンレス	・フッ素樹脂	・ソリッド			
	・ウレタン樹脂	・メタリック			
	・アクリル樹脂				
・亜鉛めっき鋼板	・フッ素樹脂	・ソリッド			
	・ウレタン樹脂	・メタリック			
	・アクリル樹脂				

19 内装工事

① 接着剤

接着剤のホルムアルデヒド放散量　[19.2.2]

※規制対象外　・

接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別

・図示　・

② ビニル床シート G

[19.2.2、3]

種　類	JIS記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ(mm)	備考
※発砲層のないもの	・		(-)無地 ・ﾏｰﾌﾞﾙ柄	・帯電防止 ・耐動荷重性	※ 2.0 ・	
・発砲層のあるもの	・		・無地 ・柄物	・防滑性 ・耐薬品性		

工法　※熱溶接工法　・

③ ビニル床タイル G

[19.2.2]

JIS記号	施工箇所	色柄	寸法	特殊機能	厚さ(mm)	備考
・ＦＴ （複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）		※無地 ・柄物		・帯電防止 ・防滑性		
※ＫＴ （ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） ・ＴＴ（単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）		※無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・500×500	・帯電防止 ・防滑性	・2.0 ・2.5 ・3.0 ・	
※ＦＯＡ （置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） ・ＦＯＢ（置き敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）		・無地 ・柄物		※帯電防止 ・防滑性		

置敷形ビニル床タイル(FOA・FOB)の接着剤は粘着はく離形とし、製造所の指定する製品とする

・帯電防止ビニル床タイル（パネル一体タイプ）

右に示す製造所の商品程度とする　（　）

・耐熱性ビニル床タイル

右に示す製造所の商品程度とする　（　）

4 ビニル幅木

材質　※軟質　・硬質　[19.2.2]

高さ(mm)　※60　・75　・100

厚さ(mm)　※1.5以上　・

5 ゴム床タイル

色柄　（　）　[19.2.2]

厚さ(mm)　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0

寸法(mm)　（　）

6 カーペット敷き G

・タイルカーペット　[19.3.2、3] [表19.3.1、2]

パイル形状	種別	施工箇所	寸　法	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	帯電防止及び防汚加工品
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

色柄　※無地　・柄物

タイルカーペットの敷き方　平　場　※市松敷き　・模様流し　・

階段部分　※模様流し　・市松敷き　・

見切り、押え金物　・適用する（材質、形状等　※図示　・　）

※適用しない

7 合成樹脂塗床

[19.4.2、3] [表 19.4.1～8]

種　別	施工箇所	工　法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ
※厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		※薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			

塗料のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

8 フローリング張り

単層フローリング G　[19.5.2～5] [表 19.5.1～5]

種　類	工　法	樹種	厚さ(mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等	・釘留め工法（根太張り）	・ ・	15	振幅75 板長さ400以上	・塗装品 ・無塗装品	・有り　・なし
	・釘留め工法（直張り）	・ ・	・12以上	振幅75 板長さ400以上		・有り　・なし
	・接着工法	・ ・	・8以上	振幅75 板長さ400以上		・有り　・なし
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ1等	・接着工法	・ ・	15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	・有り　・なし

複合フローリング G

種　類	工　法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の適用
・天然木化粧複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	・釘留め工法（根太張り） ・釘留め工法（直張り）	※なら ・さくら		・A種 ・B種 ・C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・有り ・なし
	・接着工法	※なら ・	板厚　・12以上　・ 振幅　・75以上 板長さ 400以上				・有り ・なし

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外

接着工法の場合の不陸緩和材　※合成樹脂発泡シート　・

現場塗装仕上げ　・行う（施工箇所　）　・行わない

※ウレタン樹脂ワニス塗り

・オイルステインの上、ワックス塗り

・生地のままワックス塗り

19 内装工事（続き）

9 畳敷き

[19.6.2] [表 19.6.1]

種別　・A種　・B種　※C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N）

下地の種類　・標仕 表12.6.1による床組

・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G ）

・

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

衝撃緩和畳　畳表（JIS A 5902）　・C1　・C2

防虫処理は加熱による方法及び防虫加工紙(布)による方法とし、人体に無害なものとする。

畳表は、熊本県畳表検査規定による「綿糸引通　五八　2等級」規定品同等以上とする。

⑩ せっこうボードその他のボード張り

[19.7.2、3] [表 19.7.1]

種　類	JIS記号	厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板 G	HW	・15　・20　※25　・
・普通木毛セメント板 G	NW	・15　・20　※25　・
(-)けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	・突付け　・目透し タイプ2（無石綿）　※6　・8
・ロックウール化粧吸音板	DR	※突付け　・ ・フラットタイプ（・9(不燃)　※12（不燃）　・　） ・凹凸タイプ（・12(不燃)・15(不燃)・19(不燃)・　） ※300×600　・455×910
・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※25　（厚手ガラスクロス包）　・ ※留め付け材　樹脂製プラグ@300程度
(-)せっこうボード	GB-R	※突付け（ベベルエッジ）　・継目処理 ※12.5（不燃）　・15（不燃） ※910×2730　・910×1820
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	※突付け ※9.5（不燃）　・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様） ※450×910　・910×910
・シージングせっこうボード	GB-S	・12.5（不燃）
(-)強化せっこうボード	GB-F	(-)12.5（不燃）　・15（不燃）
・化粧せっこうボード（木目）	GB-D (W)	※目透し ・12.5（不燃）幅 440mm程度　※9.5 模様（※柾目　・板目）専用下地材有り
(-)メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による　（※1.2　・　）

せっこうボード等の下地は図示による

石膏ボードの目地工法等

目地工法の種類　・仕上表による

突付工法及び目透かし工法のエッジの種類

(-)ベベルエッジ　・スクエアエッジ

遮音シール材　※アクリル系またはウレタン系シーリング材　・ジョイコンパウンド(JIS A 6914)

合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

合板類の張付け　※B種　・A種

11 壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・　[19.8.2、3]

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	商品名（程度）
	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他		
	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃	

モルタル・プラスター面の素地ごしらえ　※B種　・A種

コンクリート・ＡＬＣ面の素地ごしらえ　※B種　・A種

せっこうボード面の素地ごしらえ　※B種　・A種

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
髙野　洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI ARCHITECTURAL INC.
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡　良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅　健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井　一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect	Date	
教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事	曽於市	特記仕様書	-	Drawn by NAMIKO NISHI Checked by YOHEI TAKANO	2026.9.30	A-008

20 ユニット及びその他工事

1 フリーアクセスフロア

[20.2.2]

施工箇所	寸法 (mm)	高さ (mm)	所定荷重 (N)	表面仕上材	備考
	※450角以上 600角以下 ・	※100 ・120	※3000 ・5000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ※ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	
	※450角以上 600角以下 ・	※100 ・120	※3000 ・5000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ※ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	
	※450角以上 600角以下 ・	※100 ・120	※3000 ・5000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ※ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

適用地震時水平力　1階及び地階　※0.6G以上
中間階（　～　階）　※0.6G以上　・1.0G以下
最上階（　　階）　※1.0G以上
帯電防止床タイル　・置敷タイプ　・パネル一体タイプ
（パネル一体タイプ以外の仕上げ材は別途内装工事とする）
寸法精度
※標仕 20.2.2(2)（オ）(a)～(c)による　・
パネルの長さ
※各辺の長さが500mmを超える場合　±0.1%以内
500以下の場合　±0.5mm以内
パネルの平面形状（角度）
※各辺の長さが500mmを超える場合　±0.1%以内
500以下の場合　±0.5mm以内
フリーアクセスフロアの高さ
※±0.5mm以内

（性能・試験方法）
ローリングロード性能　・適用する　適用室　（　　）
※適用しない
ローリングロード試験
所定荷重1.000N（5.000Nの積載荷重は1.000N以上（任意）による繰り返し試験後、
残留変形3.0mm以下であること
（パネル面に目視による著しいわだち及び損傷がないこと。かつ、使用上有害ながたつきがないこと）
・2重床用複合アウトレット用開口
適用室　（　　）
開口の数　フロア面積8㎡につき1ヶ所かつ手価開口を14㎡につき1ヶ所
開口の大きさ　コンセント（電源）：2P15A接地極付×2
情報用モデュラージャック（電話）：8極8芯×1の入った
アウトレットが納まる大きさ
取付方法　フリーアクセスフロア製造所の仕様とする

2 可動間仕切

[20.2.3]

構造形式による種類	構造基材の種類 スタッド	構造基材の種類 パネル	パネル表面材 仕上	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能
・スタッド式（内蔵） ・スタッド式（露出） ・パネル式 ・スタッドパネル式			※メラミン樹脂焼付又は アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上	・不燃

パネル内に取付ける建具　・あり（※図示　・　）　・なし
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標仕 19章による
パネル材料のホルムアルデヒド放散量　※JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上
ガラス留め材　※ガスケット　・シーリング

3 移動間仕切

[20.2.4]

構造形式	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材 材質	パネル表面材 仕上げ	遮音性 (db/500Hz)
・平行方向　移動式 ・二方向　移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・	※60程度 ・100程度	・鋼板 ・	※焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能　標仕 19章による
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
・図示　・
移動間仕切の壁面当たり枠　※適用する（製造所の仕様による）　・
ランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して耐力及び変形量が使用上支障のないもの

④ トイレブース

[20.2.5]

表面材の材料	色柄	脚部 形状	ドアエッジ 形状	ドアエッジ 材質
※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※無地 ・柄物	※幅木タイプ ・	※標準 ・R	※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材

吊り方式　※中心吊、戸当たり付　・（　　）
パネル材料のホルムアルデヒド放散量　※JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上

5 視覚障害者用床タイル

[11.2.2]［19.2.2］

施工箇所		種　類	寸法 (mm)	厚さ (mm)
屋内		・塩化ビニル製	※300×300　・	・7.0　・
		・セラミックタイル Ⓖ	※300×300　・	※17程度　・
		・レジンコンクリート製	※300×300　・	・30　・
屋外		・セラミックタイル Ⓖ	※300×300　・	※17程度　・
		・レジンコンクリート製	※300×300　・	・60　・
		・	・	・

視覚障害者用ブロック等の突起の形状及びその配列はJIS T 9251による
・樹脂系点字鋲（タイルカーペット用）　寸法　・30角　※500角　色　※黄色　・
樹脂系点字鋲の留付は、両面からの挟込みホック式又は接着式

6 階段滑り止め

[20.2.7]

材　種	滑り止め材 形状	滑り止め材 材質	取付け工法	幅 (mm)	端部フラットエンド
※ステンレス製(SUS304) ・黄銅製押出形材 ・アルミニウム製押出型材 ・	・ ・タイヤ型 ・タイヤレス型	ゴム又は合成樹脂	※接着工法 ※埋込み工法	・35mm ・40mm ・50mm	※あり ・なし

⑦ 床目地棒

[20.2.8]

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる
※ステンレス製┌┐型(幅40程度 (ア) 1.5)　標準詳細図 4-31-1
・ステンレス製 6×12　標準詳細図 4-31-2　・黄銅製 6×12　標準詳細図 4-31-2

8 手すり

・集成材手すり　[20.2.6]

形　式	径	材　種	仕　上
・1段	・35φ　※45φ　・	※タモ ・	※CL ・
※2段	※35φ　・		

・既製手すり（樹脂製）

形　式	径	ブラケット	備　考
・O型（1段）	※40φ　・	アルミ合金製 （心材共）	指づめ防止材共
※O型（2段）	※34φ　・		

9 黒板及びホワイトボード Ⓖ

[20.2.9]

	区　分	種　類	色
・黒板	※焼付け ・	・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 ・	・緑 ・黒
・ホワイトボード	・焼付け	・ほうろう曲面	・白

⑩ 鏡

取付箇所　（意匠図による）　[20.2.10]
寸法（mm）　(○)図示　・
厚さ（mm）　※5　・

11 煙突ライニング

・煙突用成形ライニング材　[20.2.13]
適用安全使用温度（上限温度）　・400℃　・650℃　・
適用安全使用温度（上限温度）　・　・　・
・キャスタブル耐火材
煙突用成形ライニング材の製造所の指定する製品とする

12 ブラインド

[20.2.14]

形　式	操作方法	種　類	スラットの材種	ｽﾗｯﾄ幅 (mm)	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	ﾎﾞｯｸｽ・高さ 取付箇所
・横型	・手動	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 Ⓖ ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・
	・電動	—				
・縦型	・手動	※2本操作ｺｰﾄﾞ式 ・1本操作ｺｰﾄﾞ式	・アルミスラット ・クロススラット ・	・80 ・100	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製	・図示 ・
	・電動	—				

スラットの材質
・アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
・クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は Ⓖ とする。

⑬ ロールスクリーン

[20.2.15]

操作方法	巾・高さ	材　種	品質等
・スプリング式 (○)コード式 ・電動式	(○)図示 ・	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	

その他の材料　※ロールスクリーンの製造所の仕様による　・

⑭ カーテン

[20.2.16]

形　式	開閉操作	ひだの種類	商品名（程度）	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ	・図示 ・	
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ	・図示 ・	

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は Ⓖ とする。
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

⑮ カーテンレール

材種による区分　※アルミニウム製及びアルミニウム合金の押出し成型材　[20.2.16]
・ステンレス製　・
強さによる区分　※10-0　・
仕上げ　※アルマイト　・
形状　※角形　・

16 ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝型×深さ（mm）　・90×150　・120×80　・120×150　・150×80　(○)図示
材質　・集成材（仕上げ：　）
※アルミニウム製　押出形材（市販品）
・鋼製（仕上げ：　）

17 コーナービード（壁ボード出隅保護金物）

材質　※アルミニウム押出形材差込型　・（　）
※シルバー　・焼付　・（　）
施工箇所　※図示

18 天井見切縁

材質　※アルミニウム押出形材　・塩化ビニル製
施工箇所　※仕上表による　・（　）

19 ピクチャーレール

材質　※アルミニウム押出形材
※フック　耐荷重30kg程度　2個／m

⑳ 天井点検口

材　種	寸　法	形　式	外　枠	内　枠
※アルミニウム製 ・	※450×450 ・600×600 ・	(○)一般形　・屋内外用 (○)屋内用 ・気密形	※額縁タイプ (○)目地タイプ	※額縁タイプ (○)目地タイプ

（品質・性能・試験方法）
建築材料等品質性能表による

21 床点検口

材　種		寸　法	形　式		備　考
（底板）	※鋼製 ・	・450×450	※一般型	・屋内外用	・鍵付き
（枠）	※アルミニウム製 ・	※600×600	・密閉型	※屋内用	※鍵なし
（目地）	※ステンレス製 ・				

密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする
（品質・性能・試験方法）
建築材料等品質性能表による

㉒ 造作家具

合板類、ＭＤＦ、パーティクルボード、接着剤及び塗料のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外品　・第三種品

23 消火器ボックス

※市販品（埋込みタイプ）　(○)（「UFB-3F-2401-SIL/ユニオン」同等品　）

材　質	仕　上	寸　法	扉	表　示
※鋼製 ・	※焼付塗装 ・	※W300×H900程度 ・	※有り ・	※絵・文字表示 ・

24 くつふきマット

材　種	受け枠	備　考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ※ステンレス鋼（SUS304）製 （ノンスリップ型）	※ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

㉕ ステンレス流し台

※優良住宅部品（セクショナルキッチン）　(○)（　図示　）
上板及びシンク底部はステンレス製、単槽シンク、トラップ付

寸　法	開　戸	引き出し	備　考
・W1200×D550～600×H800	※3枚　・（　）	※1段　・（　）	サイドパネル付
・W1500×D550～600×H800	※4枚　・（　）	※1段　・（　）	
・W1800×D550～600×H800	※4枚　・（　）	※1段　・（　）	

26 コンロ台

※優良住宅部品（セクショナルキッチン）　・（　）
テーブルトップはステンレス製、バックガード（※有り　・無し）

寸　法	開　戸
・W700×D550～600×H620	※2枚　・（　）
・W600×D550～600×H620	※1枚又は2枚　・（　）

27 旗竿

材　種	形　式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備考
※アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	

28 旗竿受金物

材種　※ステンレス製（SUS304）　・

29 車止め支柱

形　式	材　種	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)
・上下式鎖内蔵式 ・	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・ ・

30 フェンス

右に示す製造所の商品程度とする　（　）

㉛ 屋内掲示板

種　類	取付方法	寸　法	枠の材種	備　考
・ﾋﾞﾝｽ ・ﾋﾞﾝ、ﾏｸﾞﾈｯﾄ併用	・メーカー仕様 ・	・900×1200 ・900×1800	・アルミ製 ・	

32 敷地境界標

・コンクリートブロック製の市販品程度
・金属製（真ちゅう製50角　アンカー共）

33 耐震スリット

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能	備　考
・垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型）	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	

目地

目　地	内　壁	外　壁
目地材	・シーリング材（見え掛かりのみ） ・	・シーリング材（見え掛かりのみ） ・シーリング材（内外とも）
目地寸法（幅m×深さm）	・20×10　・	・20×10　・

目地材の材質は標仕 表9.7.2による

34 打継止水材

適用箇所　※ＥＶピット　・（　）
材質　※水膨張性コンクリート打継止水材　寸法w20×t10

35 エキスパンション・ジョイント金物

材　種	クリアランス (mm)	耐火性能	備　考
・アルミニウム製	・50　・100	・有り（　）	
・ステンレス製	・150	・無し	

外部は防水型とする

36 プレキャストコンクリート

コンクリートの設計基準強度　[20.3.3、4]
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最少値300kg/m³を満足する調合強度
・図示
配筋
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する　・図示
取付け方法
※図示

37 間知石及びコンクリート間知ブロック積み

[20.4.2、3]

材　種		種　類	質量区分	備　考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—	
・コンクリート間知ブロック	—		・A　・B	

積み方　※谷積み　・布積み
目塗り　・図示
伸縮調整目地　材種　・図示　・
厚さ　・図示　・

38 マンホールふた（屋内）

公益社団法人空気調和・衛生工学会　SHASE-S209による
名称　・簡易密閉型(ﾊﾟﾝｷﾝ式)　・密閉型(ﾃｰﾊﾟｰﾊﾟｯｷﾝ式)　・密閉型(ﾎﾞﾙﾄﾊﾟｯｷﾝ式)
耐荷重　・5KN（T-2）　・15KN（T-6）　・50KN(T-20)
寸法　※内径650　・

21 排水工事

① 屋外雨水排水地中埋設管

材料　[21.2.1、2]［表21.2.1、2］

材　種	種類・記号	形　状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管（１種）	・日形管 ・	※図示 ・	
(○)硬質ポリ塩化ビニル管	・RS-VP Ⓖ		※図示　・	
	・RS-VU Ⓖ		※図示　・	
	※ VP		※図示　・	
	・VU		※図示　・	

基床の厚さ　(○)図示　・
(○)呼び径300以下は100mm、呼び径300を超える場合は150mm
基床の種類　・図示　・砂地業　※砂利地業
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　※接着剤　・
側塊の形状及び寸法　・図示　(○)別途工事の造成工事側の側塊を使用
排水桝の種類　・図示　(○)別途工事の造成工事側の桝を使用
砂地業に用いる材料　・シルト　(○)山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料　(○)再生クラッシャラン Ⓖ　・切込砂利又は切込砕石

・現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度　※18N/mm2
・現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　※SD295A
・現場打ちの場合の足金物　※標仕 21.2.2(6)(オ)
材質　・ステンレス製　・鋼材　・合成樹脂被覆加工されたもの

② 鋳鉄製ふた

形状及び寸法等　※図示　(○) 化粧用鉄蓋　[21.2.1]

3 グレーチング

[21.2.1]

材　質	形　式	用　途	適用通重	ﾒｲﾝﾊﾟｰﾋﾟｯﾁ	垂鉛めっき（付着量）	上面形状
・鋼製	・受枠付き、ﾎﾞﾙﾄ固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・ ・普通目 ・細目	・	・凸凹形 ・ ・平形 ・
(○)ｽﾃﾝﾚｽ製	(○)受枠付き、ﾎﾞﾙﾄ固定 ・	(○)溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた ・U字溝用	(○)歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・		・凸凹形 (○)スリット型 ・平形 ・

4 街きょ、縁石、側溝

種類、形状及び寸法等　※図示　[21.3.1、2]［表21.3.1］
地業の材料　・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料　・再生クラッシャラン Ⓖ　・切込砂利又は切込砕石
砂利地業の厚さ　※100（mm）　・図示

・現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度　※18N/mm2

⑤ 埋戻し土

表3.2.1「埋戻し及び盛土の種別」による　※Ｂ種　・　[21.2.1]

22 舗装工事

① 路床

[22.2.2、3、5]［表22.2.1］

路床土　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土 Ⓖ
路床の構成及び仕上り　※図示

路床安定処理の方法
路床安定処理の方法　・置き換え工法　・安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類 (○)普通ポルトランドセメント　・高炉セメントＢ種 Ⓖ
・フライアッシュセメントＢ種
・生石灰（・特号　・１号）　・消石灰（・特号　・１号）
添加量　・　kg/m2　（目標ＣＢＲ　・３以上　・　）

試験
路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　(○)行う　・行わない
路床締固め度の試験　(○)行う　・行わない
現場ＣＢＲ試験　(○)行う　・行わない

22 舗装工事（続き）

② 路盤

路盤の構成及び厚さ　・図示　[22.2.2、3、5]［表22.3.1］

路盤材料の種類

・砕石	・クラッシャラン　C-40
	・粒度調整砕石
※再生材 G	※クラッシャラン　RC-40
	・粒度調整砕石
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G	CS-40
・粒度調整鉄鋼スラグ G	
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G	

3 アスファルト舗装 カーアスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示　・　[22.4.2～6]［表22.4.4］

材料及び種類

アスファルト　※再生アスファルト G　（・60～80　・80～100）　・ストレートアスファルト

骨材　・道路用砕石

※アスファルトコンクリート再生骨材 G

加熱アスファルト混合物等の種類

※密粒度アスファルト混合物（13）

・細粒度アスファルト混合物（13）

シールコートの施工　・行う　・行わない

試験

アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度

④ コンクリート舗装

コンクリート舗装の構成及び厚さ　[22.5.2～4、6]［表22.5.1、3］

舗装の種類	部位	構成	厚さ（mm）
コンクリート舗装	車路及び駐車場	○図示	・図示　・150　・
	歩行者用通路	○図示	・図示　・70　・

材料

コンクリート

コンクリートの種類　・

設計基準強度　・

所定のスランプ　※8　・

粗骨材の最大寸法　・

※普通コンクリート、標仕　表22.5.1による

早強ポルトランドセメント　・使用する　・使用しない

注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ

目地

種類　・

間隔　・　m程度ごと

構造　○図示　・

※標仕　表22.5.3及び図22.5.1による

溶接金網　※使用する

試験

アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度

5 透水性アスファルト舗装

[22.7.2、3、6]

透水性アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示　・

材料

骨材　※道路用砕石　・アスファルトコンクリート再生骨材 G　（表22.4.1）

試験

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　※行う　・行わない

砂の粒度試験　・行う　・行わない

舗装の平坦性　※著しい不陸がないもの　・

6 ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装 G　[22.8.2、3]

種類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材	備考
※普通平板（N）	※300角	※60	※砂	表面加工
・透水平板（P）	・	・	・モルタル	・研ぎ出し
・保水性平板（M）				・洗い出し
				・たたき出し

クッション材　※砂　・空練りモルタル

普通平板は G（再生材料を用いた舗装用ブロック）、透水平板は G（透水性コンクリート）とする。

ただし、調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。

仕上り面の平たん性　※歩行に支障となる段差がないものとし、ｺﾝｸﾘｰﾄ平板間の段差は3mm以内とする。

・インターロッキングブロック舗装 G　[22.8.2、3]

種類	厚さ（mm）	形状寸法	曲げ強度（N/mm²）	備考
※普通ブロック（N）	車路	・図示	※5.0	表面加工
・透水性ブロック（P）	※80　・	・	・	・
・保水性ブロック（M）				・
※普通ブロック（N）	歩行者用通路	・図示	※3.0	張り方
・透水性ブロック（P）	※60　・	・	・	※ヘリンボンボンド
・保水性ブロック（M）				・ストレッチャーボンド
				・図示

クッション材　※砂　・空練りモルタル

歩行者用通路に使用するブロックは G（再生材料を用いた舗装用ブロック）、透水性ブロックは G（透水性コンクリート）とする。

ただし、調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。

仕上り面の平たん性　※歩行の支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする

⑦ 砂利敷き

種別　[22.9.2]

・A種（施工範囲：　・図示　・通路　・　）

・B種（施工範囲：　・図示　・建物周囲その他　・　）

8 路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅（mm）	塗布厚さ（mm）
・1種 G	常温	液状	※白	・150	・1.5
・2種 G	加熱		・	・100	・
※3種1号	溶融	粉体状			

G 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

9 車止め

車止め用既製コンクリート　W200×L600×H120　小型反射板付き

全面接着アンカー併用固定（彫込み30mm埋込65mm以上）

23 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽地の確認等

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験　・行う　・行わない　[23.1.3]

電気伝導度（EC）の試験　・行う　・行わない

2 植栽基盤の整備

植木の植栽基盤の整備　・適用する　・適用しない　[23.2.2、4]

植栽	工法	有効土層の厚さ（cm）	整備範囲	土壌改良材
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・	樹高12m以上 （※100　・120　・150） 樹高7m以上～12m未満 （※80　・100） 樹高3m以上～7m未満 （※60　・80） 樹高3m未満 （※50　・60）	・葉張り部分 ・植栽部分 ※図示 ・	・適用する ・適用しない
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ※図示 ・	・適用する ・適用しない

但し、現状地盤より高さが上がる場合はD種とする。

植栽基盤の排水設備　・設ける（※図示　・　）　・設けない

3 植込み用土

※ 現場発生土の良質土　・ 客土　[23.2.3]

4 土壌改良材

土地改良材の適用　・適用する　・適用しない　[23.2.3]

種別及び指定量等

・バーグ堆肥 G

使用量　：植栽基盤面積1㎡あたり　（　・50L　・　）

有機物の含有率（乾物）　：70%以上

炭素窒素比（C／N比）　：35以下

陽イオン交換容量（乾物）　：70meq/100g以上

ｐH　：5.5～7.5

水分　：55～65%

幼植物試験の結果　：生育阻害その他の異常が認められない

窒素全量（現物）　：0.5%以上

りん酸全量（現物）　：0.2%以上

加里全量（現物）　：0.1%以上

施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。

・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）

「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、食害試験の調査の結果、害が認められないものとする。

使用量　：植栽基盤面積1㎡あたり　（　・10L　・　）

有機物の含有率（乾物）　：35%以上

炭素窒素比（C／N比）　：20以下

ｐH　：8.5以下

水分　：50%以下

窒素全量（現物）　：0.8%以上

りん酸全量（現物）　：1.0%以上

アルカリ分（現物）　：15%以下（ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りではない）

施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。

5 樹木

樹種、寸法、株立数等　※図示　・　[23.3.2]

6 支柱

支柱材　※丸太（間伐材）G　・真竹　[23.3.2、3]

防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　・

形式　・図示　・

7 幹巻き用材料

材料　※ 幹巻き用テープ　・ わら及びこも　[23.3.2]

8 芝

種類　※ コウライシバ　・ノシバ　・　[23.4.2、3]

芝張りの工法

平地　※目地張り　・べた張り

法面　・目地張り　※べた張り

9 吹付けは種

[23.4.2]

種子の種類	発芽率	種子の量（g/㎡）	備考
※洋芝類（採取後2年以内）	※発芽率80%以上		
・			

10 地被類

[23.4.2]

植物の種類	径	単位面積当たりの株数	芽立数
・			
・			

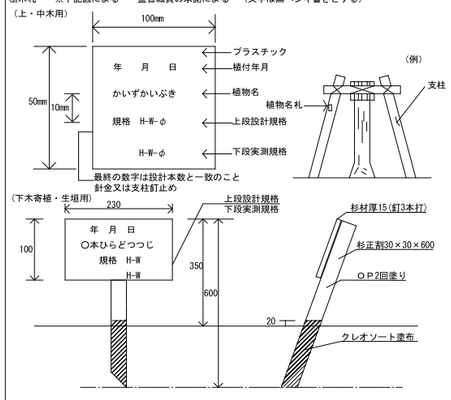
23 屋上緑化工事（続き）

11 樹木札

支柱材　※加圧式防腐処理丸太材　・真竹　[23.3.2]

幹巻き用材料　※幹巻き用テープ　・わら及びこも　[23.3.2]

樹木札　※下記図による　・監督職員の承諾による　（文字は黒ペンキ書きとする）



12 樹木の枯補償

※引渡しの日から1年　・（　）　[23.3.4]［23.3.6］

その他特記事項

・メーカーリスト

対象部位	対象製品	メーカー名

○見本施工リスト

○ サイン

○ 外壁材：600mm x 600mm

○ 各種仕上げ材カットサンプル：A4サイズを基本とする

MARU。architecture　有限会社マル・アーキテクチャ　一級建築士事務所　東京都知事登録第59575号

高野　洋平　一級建築士国土交通大臣登録第329238号

DAI　株式会社Dai建築DESIGN　一級建築士事務所　鹿児島県知事登録第1-6-1号

松葉薫忠夫　一級建築士国土交通大臣登録第141001号

ARUP　オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド　一級建築士事務所　東京都知事登録第35571号

富岡　良太　一級建築士登録第355621号　構造設計一級建築士登録第10495号

菅　健太郎　一級建築士登録第318575号　設備設計一級建築士登録第4096号

向井　一得　一級建築士登録第328591号　設備設計一級建築士登録第4451号

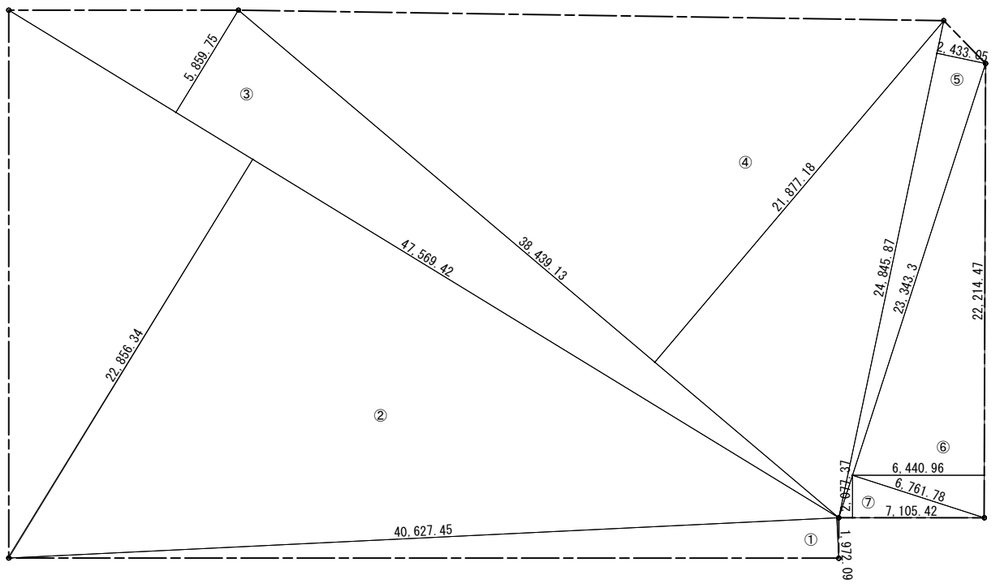
Project Title	教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事
Client	曽於市
Name of Drawing	特記仕様書
Scale	-
Architect	
Drawn by	NAMIKO NISHI
Checked by	YOHEI TAKANO
Date	2026.9.30

A-010

敷地求積図

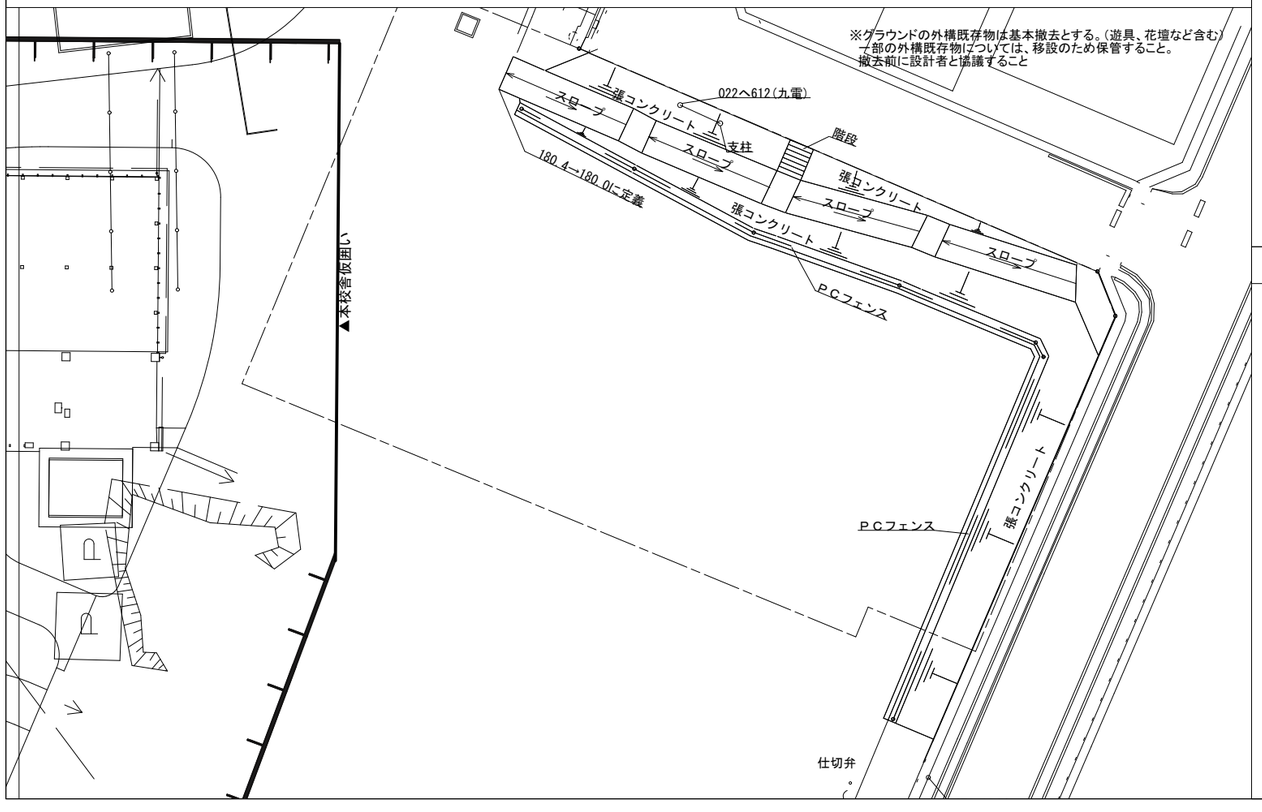
S:1/300(A3)

記号	計算式(mm)	面積(m²)	記号	計算式(mm)	面積(m²)
1	40,627.45×1,972.09÷2	40.06	5	24,845.87×2,433.05÷2	30.30
2	47,569.42×22,856.34÷2	543.63	6	22,214.47×6,440.96÷2	71.51
3	47,569.42×5,859.75÷2	139.11	7	7,105.42×2,077.37÷2	7.34
4	38,439.13×21,877.18÷2	420.23	合計面積		1252.18



敷地現況図

S:1/300(A3)

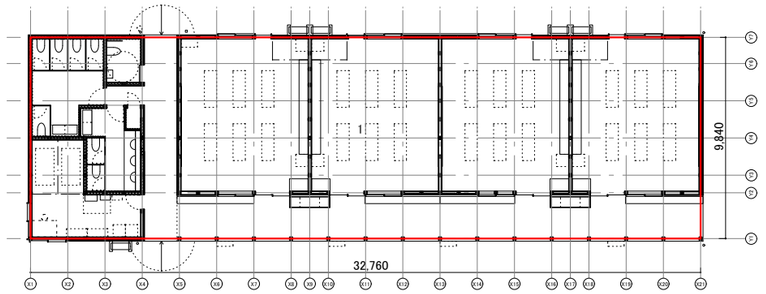


建築面積求積図

S:1/300(A3)

建築面積算定式　使用ソフトVectorworks 2023

記号	X(m)	Y(m)	係数	面積(m²)
1	32.76	9.84	1.0	322.35
合計面積				322.35

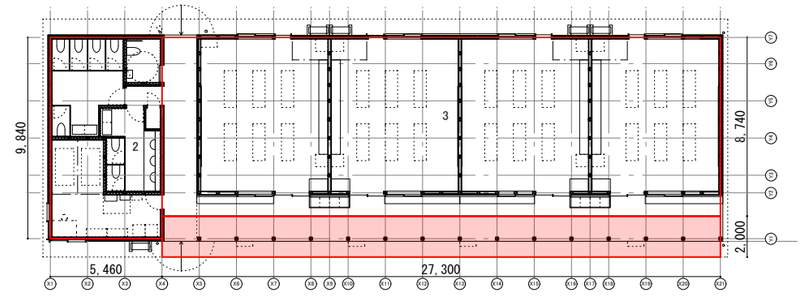


1階延床求積図

S:1/300(A3)

建築面積算定式　使用ソフトVectorworks 2023

記号	X(m)	Y(m)	係数	面積(m²)
2	5.46	9.84	1.0	53.72
3	27.30	8.74	1.0	238.60
合計面積				292.32



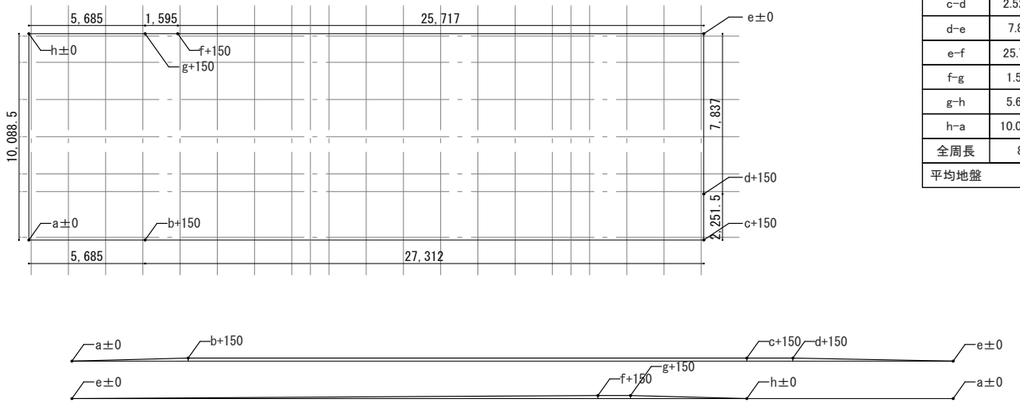
2m後退範囲

平均地盤算定図

S:1/300(A3)

本体建物平均地盤=設計GL+0.09
=180.00+0.09
=180.09
※設計GL=KBM=180.00

	距離(m)×高さ(m)×	係数	=	面積(m²)
a-b	5.685×0.15×	0.5	=	0.426
b-c	27.312×0.15×	1.0	=	4.096
c-d	2.5215×0.15×	1.0	=	0.378
d-e	7.837×0.15×	0.5	=	0.587
e-f	25.717×0.15×	0.5	=	1.928
f-g	1.595×0.15×	1.0	=	0.239
g-h	5.685×0.15×	0.5	=	0.426
h-a	10.0885×0.00×	1.0	=	0.000
全周長	86.171	合計面積		8.080
平均地盤		8.080/86.171		0.093

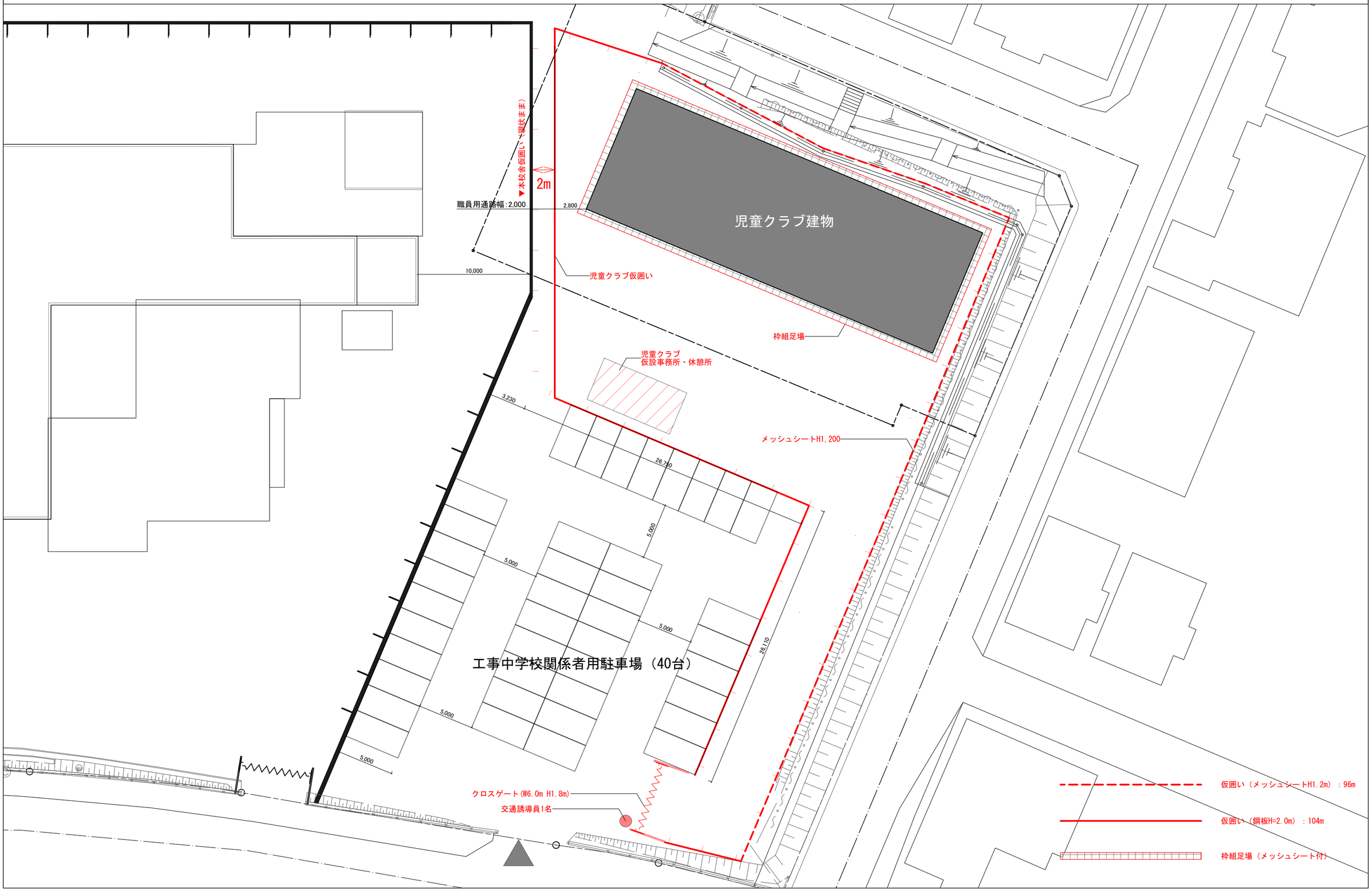


MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
嶌野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松薗瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title: 教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事
Client: 曽於市
Name of Drawing: 現況図・求積図 地盤算定図
Scale: A1:1/150 A3:1/300
Architect
Drawn by: KOSEI SATO
Checked by: YOHEI TAKANO
Date: 2026.9.30
A-101

仮設計画図

S:1/300(A3)



MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
嶌野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松薗基忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4098号
向井 一得 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事
Client	曽於市
Name of Drawing	仮設計画図
Scale	A1:1/150 A3:1/300
Architect	
Drawn by	SHIN IRIE
Checked by	YOHEI TAKANO
Date	2026.9.30
	A-102

一般共通事項　項目○印のついたものを適用とする

地　下

・(1)配管ピット,トレンチ等は床：RC直均し,壁・天井：RC(打放しB種)とする。
・(2)地階スラブと壁のコンクリート打継ぎ箇所には止水版(水膨張ゴム)を打ち込む。
・(3)地下の防水二重壁のコンクリート面は浸透性塗布防水(下部排水溝・柱型・梁型共)とし,
　排水管は湧水槽まで φ50硬質塩ビ管を打ち込む。(1区画2ヶ所ずつ)
　又,二重壁面には,排水管設置箇所ごとに点検口を設ける。
・(4)湧水ピットは,壁・天井ともコンクリート打ち放しC種とし,消火水槽,EVピット,
　雨水貯留槽,雑排水槽はB種とする。
・(5)地中梁の点検口(人孔)はφ600,通気管φ50,連通管φ100半割とし,点検口は
　特殊防水紙チューブ, その他硬質塩ビ管とする。
・(6)床は特記なき限りコンクリート金ゴテ押エとする。

躯　体（仕上）

・(1)RC打放し仕上げ面は,特記なき限り(外部t=20)の
　打ち増しとする。
・(2)RC打放し仕上げ面(内外部とも)の出隅部は,図面の表記に関わらず,
　(・ピン角仕上げ・糸面取り仕上げ)とする。(ボード下地,コーナーガードの表示のある部分除く)
・(3)RC打放し仕上げ面(内外部とも)の施工図は,型枠・セパレーター・誘発目地・設備機器類等
　の割付を記入し,監督職員の承諾を受けるものとする。
・(4)床スラブは,コテ仕上げの場合は特記なき限りt=15増打ちとする。
(5)コンクリート打放し(化粧打放シ)の施工に関する特記事項は下記とする。
・　A.型枠(t=12)は,両面(小口共)ウレタン4回塗りを使用し,押さえ用単管は角型を
　　使用する事。
・　B.打放し面の出・入隅部の止水対策として,スポンジテープ押さえ等を考慮する事。
　　さらに,入隅部は型枠を45° カットし,型枠小口面が仕上げに現れない配慮をする事。
・　C.壁面のコンクリート打設は,縦目地@10m程度毎にラス金網で仕切りを設ける。
　　又,打継部の位置及び打設量は監督職員との協議の上決定する。
・　D.施工後,充分な意匠上の結果が得られない(ジャンカ・コールドジョイント等)
　　時は,専用工法(吉田工法パーフェクトウェッシュ程度)にて補修するものとする。
・　E.杉板型枠打放し部は、浮造本実杉板型枠 t15 W120 を使用すること。
・(6)コンクリート(直仕上)とは,A種打放し仕上を示す(ただし、地下駐車場を除く)。
　コンクリート打放し面は,既製目地材にて亀裂誘発目地を設け,縦目地は
　およそ@3m以内及び建具きわ,横目地は階高ごととする。
・(7)RC打ち放し仕上げ面のセパレーターは17φ(例：ミニコン/山内産業)程度とする。

内 外 装

・(1)特記無き雨水排水用の竪樋はバンドレスタイプとすること。
⊙(2)竪樋開放落とし口には,樋受石(PC既製品)を設置する。
⊙(3)露出している鉄部は,特記なき限りDP(1級)とする。
・(4)屋上防水部分には,オーバーフロー管SUSφ20を必ず設ける。
・(5)軒天金属パネル及び,金属パネル笠木には全て排水ルートとφ6水抜孔を設ける。
⊙(6)特記無き外部のモルタル塗りには防水モルタルを使用する。
⊙(7)天井下地は特記なき限り,軽量鉄骨製とし,ロックウール工業会準拠の耐震グレードを
　水平入力加速度1Gに考慮した 吊ボルト振止め補強を行う。
⊙(8)廻り縁は特記なき限り,塩ビ製,天井見切型とし,天井見切縁はアルミ製ジョイナーを使用する。
・(9)室内仕上(壁紙及び塗装仕上)下地については,特記なき限り下記による。
・　A.床下地の略号RCはコンクリート直均し仕上を表す。
・　B.壁下地のコンクリート打放しとは,B種打放しを示し,樹脂ﾓﾙﾀﾙt=5薄塗り等にて補修とする。
・　C.硬質ウレタンフォーム吹付部分の面については,GB-R t=12.5 GL工法とする。
　　吹付部分にGL工法を施す場合は,プライマー塗布を施す。
⊙(10)照明ボックスには,防虫網付熱抜き穴を適宜設ける。
⊙(11)造作家具の扉が壁面等と取り合う箇所には,戸当り(衝撃防止ゴム)を設ける。
・(12)特記なき限り,NC貼仕上は溶接工法とする。
⊙(13)仕上の異なるものどうしが取合う壁の部分は,見切り(StFB t3mm 焼付塗装)を設ける。
・(14)防火区画を形成する防火戸(廊下部分のみ)及びシャッターは上階スラブよりRC垂れ壁,
　LGS耐火壁を設けて区画する。(設備配管用に適宜開口補強を行う)
・(15)フリーアクセス内部は,特記なき限りスラブ面へ防塵塗装を施す。
・(16)PS,EPS等の床には,特記なき限り 防塵塗装を施す。
・(17)特記無き竪樋は,屋外はAL製とし、屋内は耐火二層管とする。
・(18)室内グラスウールはt=25 見切縁は塩ビ製アングルL=25×25とする。
・(19)鋼製床組は下地合板t=12 2枚貼とする。
・(20)SUS巾木は特記なき限りt=1.5とする。
⊙(21)壁面下地がRCとLGS等で下地剛性が異なるものが取合う箇所は,仕上見切りとして
　5mm以上の目地を設ける。
・(22)床仕上材の異なる部分の見切りには,特記なき限りSUSフラットバー 15×3HLとする。
・(23)5m以上の壁面には、見切り(FB)を設ける。
・(24)地階区画部に用いるスリット充填材及び免震目地は、耐火性能確認試験を行ったものとする

断　熱

・(1)保護断熱防水を施す屋根を除き,屋根スラブには PF(3種) t=55を打ち込む。
・(2)ピットに接する床スラブの下面 及び 床スラブの下部が外部に面する
　部分はPF(3種)t=55を打ち込む。
⊙(3)外気に接する壁の内側には押し出し成型ポリスチレンフォーム t=25を張る。
　(PS,EPS,DS,EVシャフト共)
⊙(4)直接土に接する床版の下面には t=0.15 ポリエチレンフィルムシート(重ね巾250mm以上)
　敷き込みの上,t=55PF板(3種)を敷き込む。(ただし,耐圧盤,ピット底盤の下面は除く)
・(5)硬質ウレタンフォーム吹付部分にGL工法を施す場合は,プライマー塗布を施す。
・(6)外部に接するスラブのインサート,天井吊ボルト当ての部分はウレタン発泡材を吹き付ける。
　また上部インサート,天井吊ボルトは全て結露防止型とする。
⊙(7)外部に面するサッシ廻りは,現場発泡ウレタン断熱材t20を充填する。
・(8)外部に面する金属パネルは,全てグライト(断熱・防音)t5を施す。

下　地

・(1)カーテンウォールの耐火ボードは,熱抜き孔を適宜設ける。
⊙(2)床組下地,壁紙下地の木材には,防腐処理を施す。
⊙(3)乾式の壁下地は,特記なき限りLGSとする。
⊙(4)床下地は,特記なき限りコンクリートコテ押えとする。
⊙(5)天井下地は特記なき限りLGSとする。(天井懐が1500mm以上の場合,標仕の規定による。)
・(6)フリーアクセスフロアのパネルは,全体の60%以上をコンセント取り出し穴加工済みとする。
　(蓋付き)
・(7)特記なき壁の仕上下地はLGS+GB-Rt=9.5+12.5とする。
・(8)ゾノライト系ケイ酸カルシウム板耐火被覆材の取付下地はLGSとする。
・(9)石膏ボード面等へ取付くタラップの下地補強は、PL-2.3を設する。
・(10)水廻り防火区画壁は耐水石膏ボードt=9.5 1枚増し張りとする。
　ただし、一般間仕切り壁は表層下地材置換とする。

点　検

⊙(1)天井点検口は,特記なき限りアルミ既製品(目地タイプ)(450×450)とし,表面仕上げ材は
　天井と同様とする。裏面には使用目的を記入する。
・(2)化粧床点検口は,特記なき限りSUS製規格品(600×600)とし,表面仕上げ材は床と同様とする。
　蓋下部にはタラップを設ける。
・(3)床点検口は,特記なき限り鋳鉄製防水防臭型マンホール(水槽名鋳出文字記入,施錠装置付)
　とし,蓋下部にはタラップを設ける。
・(4)壁点検口は,特記なき限りアルミ既製品(目地タイプ)(450×450)とし,表面仕上げ材は
　壁と同様とする。裏面には使用目的を記入する。

そ の 他

⊙(1)外装(ACW、ルーバー等)については,予想される風圧力,変形,外気温の変化などによる変形
　及び摩擦音等の発生が構造耐力上,容易に起こらないように検討し,
　監督職員と協議の上指示に従うこと。
・(2)外部に面するガラリは,防鳥ネット付きとし,ダクト受けアングル付きとする。
⊙(3)外装窓廻りの取り合い(サッシュ・ガラス・シール)及び他材料等の取り合い形状などに
　ついては,特記仕様書 第1章「23.技術検討委員会」の記載に従って検討すること。
・(4)EPS及点検口付のPS・DSを構成する壁(四方)はスラブまで立ち上げるものとする。
・(5)天井チャンバー内、床下チャンバー内については、RC部防塵塗装の上、
　吸音材(GWt=25 24kg/m²)を設ける。
⊙(6)室内に使用する建材は、F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
⊙(7)学習室の間仕切り壁は小屋裏まで到達すること。

略記号・防火材料認定番号リスト

	略記号	表示事項	防火材料認定番号
床・壁・天井	RC( )	コンクリート( )内は打放し種別A・B・C	
	M	モルタル	
	CB	コンクリートブロック積み	
	ALC	軽量気泡コンクリートパネル	
	ECP	押出成形セメント板	FP060NE-9035
	LGS	軽量鉄骨	
	St	鉄骨	
	W	木(木製)	
	S-UL	軽量鉄骨下地　薄壁二重工法	
床	SL	セルフレベリング	
	FF	フリーアクセスフロアー	
	NC	ビニル床シート	
	VT	ビニル床タイル(半硬質)	
	VTS	ビニル床タイル(軟質)	
	VT(E)	帯電防止ビニル床タイル	
	HT	ホモジニアス系ビニル床タイル	
	TCP	タイルカーペット	
	WCP	ウィルトンカーペット	
	D(U)	弾性ウレタン塗床材	
	D(E)	エポキシ樹脂塗り床材	
巾木	VB	ビニル巾木	
	WB	木製巾木　OSCL仕上	
	VB(H)	ビニル巾木(長尺)	
	MB	モルタル巾木(金ゴテ)	
壁・天井	J工法	せっこうボード(テーパー付)の縦目処理工法	
	GL工法	せっこうボードのせっこう系直張り用接着剤による	
		直張り工法	
	GB-R	せっこうボード	t=9.5 QM-9828
			t=12.5,15.0 NM-8612,NM-8619

	略記号	表示事項	防火材料認定番号
壁・天井	GB-NC	不燃積層せっこうボード(化粧なし：下地張り用)	NM-0441,NM-0296,NM-8613
	GB-NC(T)	化粧不燃積層せっこうボード(トラバーチン模様)	NM-0441
	GB-D	化粧せっこうボード	NM-8614,QM-9824
	GB-D(W)	化粧せっこうボード(木目)	NM-0127
	GB-S	シージングせっこうボード	t=9.5,12.5 QM-9826
			t=12.5 NM-9639
	GB-F	強化せっこうボード	NM-8615
	GB-P	吸音用あなあきせっこうボード(スクエアトーン・D)	QM-9827
	GB-L	せっこうラスボード	NM-8617
	FG-B	繊維混入せっこう板	NM-2967
	有孔FG-B	繊維混入せっこう板(有孔)	NM-8576,NM-8578,NM-2907
	FK	繊維混入けい酸カルシウム板	NM-2773,NM-8578
	FK-FJ	抗菌メラミン化粧板	NM-2183
	FK-D	化粧繊維混入けい酸カルシウム板	NM-8579
	FK-DK	抗菌性化粧無石綿セメントけい酸カルシウム板	
	FK-DW	天然木練付化粧無石綿セメントけい酸カルシウム板	
	FK-P	有孔無石綿セメントけい酸カルシウム板	
	F(CB)	木毛セメント板	QM-9701
	FC	塩ビシート	
	KC	クロス(裂地)	NM-9750～9841 (金属板を除く)
	VC	ビニルクロス	NM-9888～9954(金属板,不燃せっこうボードを除く)
	GC	ペンキ下地用ガラスクロス	
	DR	ロックウール化粧吸音板(フラットタイプ)	NM-8599
	DR(凹凸)	ロックウール化粧吸音板(凹凸タイプ)	
	DR(軒天)	ロックウール化粧吸音板(軒天井用：フラットタイプ)	
	DR(軒天凹凸)	ロックウール化粧吸音板(軒天井用：凹凸タイプ)	
	PF	ポリスチレンフォーム保温板	
	RW-G	ロックウールガラスクロス張り	NM-8602
	GW-G	グラスウールガラスクロス張り	NM-8606,NM-8610
	GB-R-H	硬質せっこうボード	NM-9645
	GB-GR	ガラス繊維不織布入りせっこう板	NM-9354
		両面ガラス繊維ネット張セメントモルタル板	NM-2083

	略記号	表示事項	防火材料認定番号
塗料	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	
	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	
	EP-T	合成樹脂エマルジョンペイント模様塗料塗り	
	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	NM-8585 不燃材料
	AE	アクリル樹脂エナメル塗り	
	FE	フタル酸樹脂エナメル塗り	
	2-FUE	常温乾燥形ポリウレタンエナメル塗り	
	2-UE	2液形ポリウレタンエナメル塗り	
	2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り	
	CL	クリヤラッカー塗り	
	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	
	OS	オイルステイン塗り	
	AC	アクリル樹脂ワニス塗り(アクリル樹脂クリヤー塗り)	
	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	
	XE	2液型エポキシエナメル塗り	
	PU	ポリウレタン塗り	
	LE	ラッカーエナメル塗り	
	A(BE)	アクリルエナメル塗料(焼付)	
	X(BE)	エポキシ系塗料(焼付)	
	F(BE)	ふっ素樹脂塗料(焼付)	
	DP	耐候性塗料	
防水	A防水	アスファルト防水	
	M防水	モルタル防水	
	S防水	シート防水	
	U防水	ウレタン系塗膜防水	
ガラス	FL	透明板ガラス	
	PT	強化ガラス	
	FR	耐熱強化ガラス(透明)	
	PW	網入ガラス	
	FRP	FRP板	
	A	空気層	

耐火・遮音認定番号リスト

使用材料		認定番号	使用部位
GB-Ft12.5+t12.5(両面貼り)	45分準耐火		壁

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録 第329238号
DAI ARCHITECTURAL INC.
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録 第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録 第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録 第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録 第4451号

Project Title	Cliant	Name of Drawing	Scale	Architect	Date	
教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事	曽於市	一般共通事項	-	Drawn by NAMIKO NISHI Checked by YOHEI TAKANO	2026.9.30	A-201

外部仕上げ表

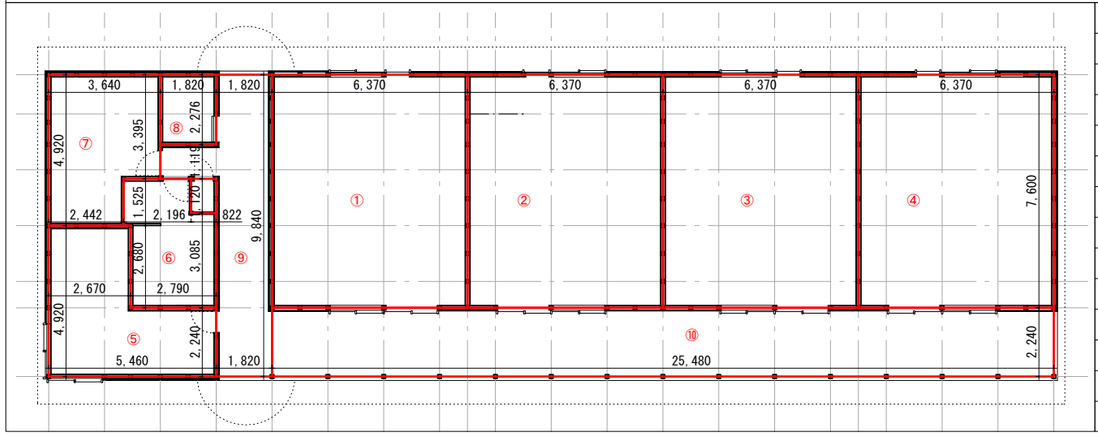
項目	仕上げ・仕様	
屋根	・屋根（木造）	ガルバリウム鋼板、アスファルトルーフィング、構造用合板 t=24、
		押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b t＝105、部分吊子：アルミ押出型材、換気棟：上向きルーバー
外壁	・外壁	窯業系サイディングボード t=14
外構	・竪樋	塩ビ製
	・軒樋	塩ビ製
	・外構仕上げ	砂利（防草シート）

内部仕上げ表

※内部仕上げは全てF☆☆☆☆とする

階	項目	室名	面積（㎡）	天井高（mm）	床		巾木	壁		天井		その他	VOC測定
					仕上げ	下地	仕上げ	仕上げ	下地	仕上げ	下地		
1F	児童エリア	学習室1	48.41	2,500	ビニル床シート t=2	構造用合板 t=12 パーティクルボード t=20 樹脂束 H=103	木製（ツガ材） 出巾木H=30	EP塗装	木下地の上 GB-R t=12.5+9.5	岩綿吸音板 t=9 （NM-8599）	鋼製下地の上、GB-R t=12.5 吊りボルト	火気使用 無	○
		学習室2	48.41	2,500	ビニル床シート t=2	構造用合板 t=12 パーティクルボード t=20 樹脂束 H=103	木製（ツガ材） 出巾木H=30	EP塗装	木下地の上 GB-R t=12.5+9. 5	岩綿吸音板 t=9 （NM-8599）	鋼製下地の上、GB-R t=12.5 吊りボルト	火気使用 無	
		学習室3	48.41	2,500	ビニル床シート t=2	構造用合板 t=12 パーティクルボード t=20 樹脂束 H=103	木製（ツガ材） 出巾木H=30	EP塗装	木下地の上 GB-R t=12.5+9.5	岩綿吸音板 t=9 （NM-8599）	鋼製下地の上、GB-R t=12.5 吊りボルト	火気使用 無	
		学習室4	48.41	2,500	ビニル床シート t=2	構造用合板 t=12 パーティクルボード t=20 樹脂束 H=103	木製（ツガ材） 出巾木H=30	EP塗装	木下地の上 GB-R t=12.5+9.5	岩綿吸音板 t=9 （NM-8599）	鋼製下地の上、GB-R t=12.5 吊りボルト	火気使用 無	
	管理エリア	事務室・医務室	19.38	2,500	ビニル床シート t=2	構造用合板 t=12 パーティクルボード t=20 樹脂束 H=103	木製（ツガ材） 出巾木H=30	EP塗装	木下地の上 GB-R t=12.5+9.5	岩綿吸音板 t=9 （NM-8599）	鋼製下地の上、GB-R t=12.5 吊りボルト	火気使用 無	
	共用部	屋外便所（男子）	12.07	2,500	土間コンクリート直均し	–	–	メラミン不燃化粧板 t=4 H=800 EP塗装	木下地の上 耐水合板 t=12	岩綿吸音板 t=9 （NM-8599）	鋼製下地の上、GB-R t=12.5 吊りボルト	火気使用 無	
		屋外便所（女子）	16.08	2,500	土間コンクリート直均し	–	–	メラミン不燃化粧板 t=4 H=800 EP塗装	木下地の上 耐水合板 t=12	岩綿吸音板 t=9 （NM-8599）	鋼製下地の上、GB-R t=12.5 吊りボルト	火気使用 無	
		HWC	4.14	2,500	土間コンクリート直均し	–	–	メラミン不燃化粧板 t=4 H=800 EP塗装	木下地の上 耐水合板 t=12	岩綿吸音板 t=9 （NM-8599）	鋼製下地の上、GB-R t=12.5 吊りボルト	火気使用 無	
		外部廊下（WC前）	19.94	2,500	土間コンクリート直均し	–	–	–	–	ケイカル板 t=8 EP塗装	鋼製下地の上、GB-R t=12.5 吊りボルト	–	
		外部廊下（学習室前）	57.07	3,090~3,413	土間コンクリート直均し	–	–	–	–	木材保護塗装	–	–	

室別面積表



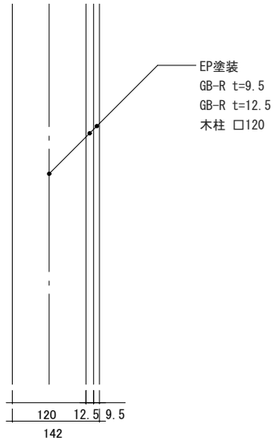
	計算式
①	6.37×7.60 = 48.41
②	6.37×7.60 = 48.41
③	6.37×7.60 = 48.41
④	6.37×7.60 = 48.41
⑤	2.67×4.92 + 2.79×2.24 = 19.38
⑥	2.79×2.68 + 2.196×1.525 + 0.822×(1.525 - 1.12)=4.08
⑦	2.442×1.525 + 3.64×3.395 = 16.08
⑧	1.82×2.276 = 4.14
⑨	1.82×9.84 + 1.82×1.119 = 19.94
⑩	25.48×2.24 = 57.07

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
髙野 洋平 一級建築士 国土交通大臣登録第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士 国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect	Date	
教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事	曽於市	内部仕上げ 外部仕上げ	–	Drawn by KOSEI SATO Checked by YOHEI TAKANO	2026.9.30	A-202

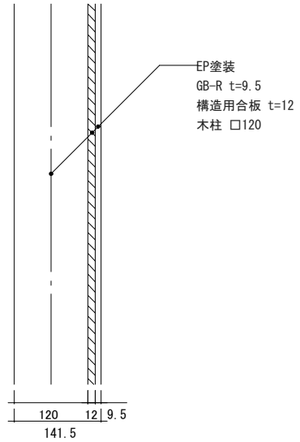
W1-1 EP塗装（一般部） 1/10

使用箇所:一般部



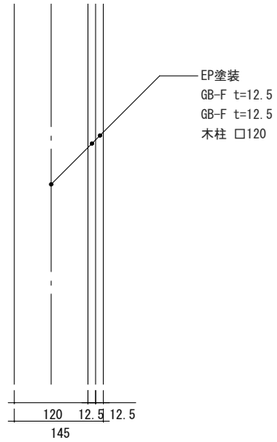
W1-2 EP塗装（耐力壁） 1/10

使用箇所:一般部



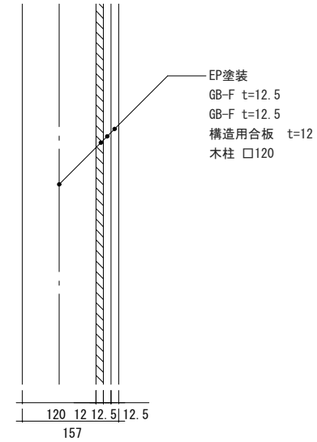
W1-3 EP塗装(45分間準耐火) 1/10

耐火性能:45分間準耐火(告示第1359号) ※両面張りで満たす
使用箇所:114条区画界壁



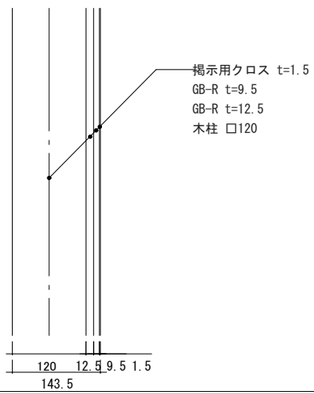
W1-4 EP塗装(耐力壁+45分間準耐火) 1/10

耐火性能:45分間準耐火(告示第1359号) ※両面張りで満たす
使用箇所:114条区画界壁



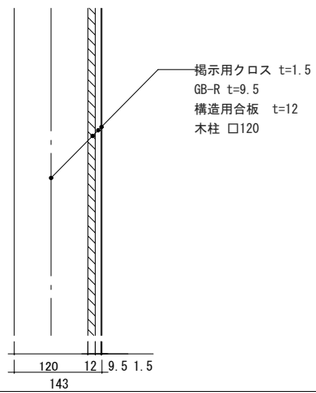
W2-1 掲示壁 1/10

使用箇所:学習室



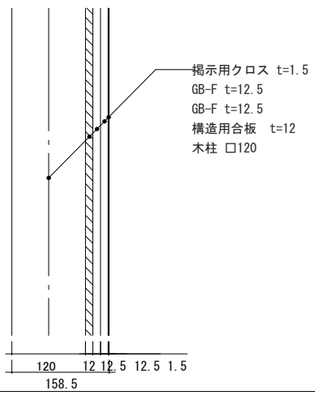
W2-2 掲示壁(耐力壁) 1/10

使用箇所:学習室



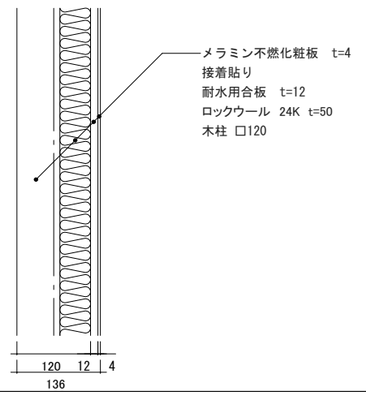
W2-3 掲示壁(耐力壁+45分間準耐火) 1/10

使用箇所:学習室



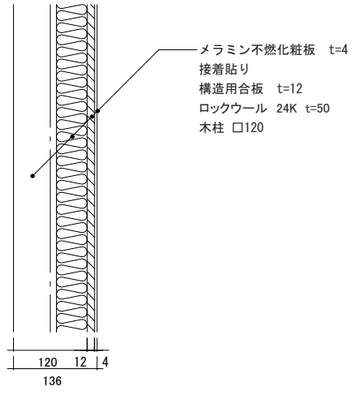
W3-1 メラミン不燃化粧板 1/10

使用箇所:学習室(キッチン前)、便所



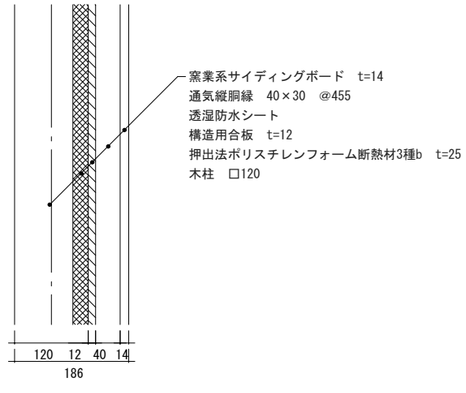
W3-2 メラミン不燃化粧板(耐力壁) 1/10

使用箇所:学習室(キッチン前)、便所



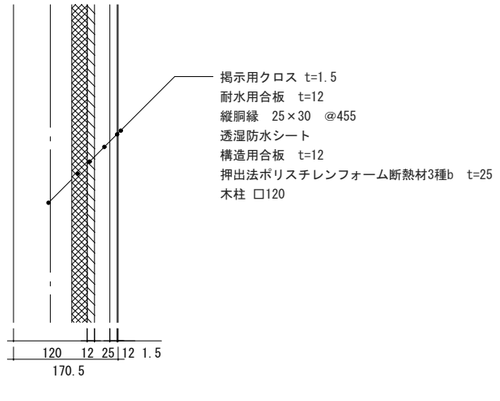
OW1 窯業系サイディング壁 1/10

使用箇所:一般部
W3-1、W3-2の箇所は押出法ポリスチレンフォーム断熱材を除く



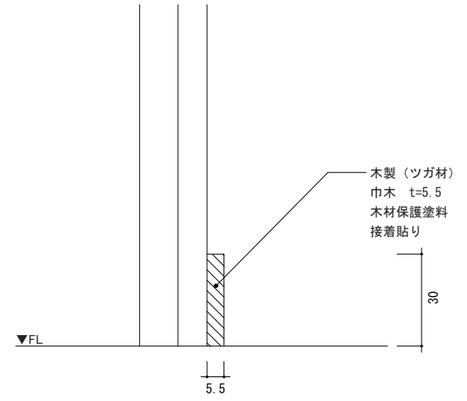
OW2 掲示壁 1/10

使用箇所:外部廊下水場



B1 木巾木 1/2

使用箇所:学習室、事務・医務室

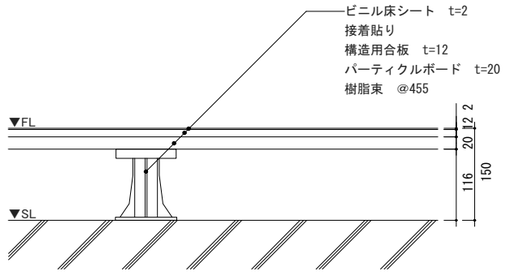


MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI ARCHITECTURAL INC.
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title: 教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事
Client: 曽於市
Name of Drawing: エレメント1
Scale: A1:1/5 A3:1/10
Architect
Drawn by: KOSEI SATO
Checked by: YOHEI TAKANO
Date: 2026.9.30
A-203

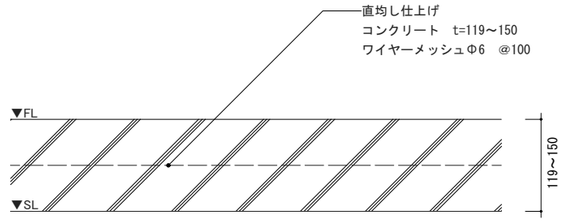
F1 ビニル床シート 1/10

使用箇所:学習室、事務・医務室



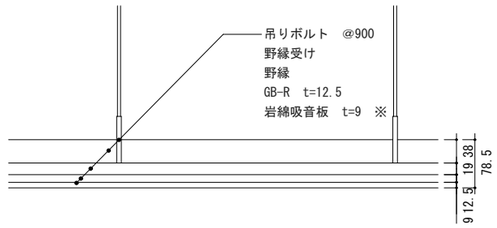
F2 土間コンクリート直均し 1/10

使用箇所:外部廊下、便所



C1 岩綿吸音板 1/10

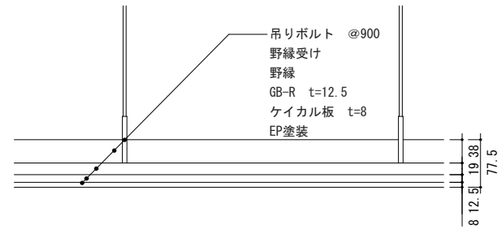
使用箇所:一般部



※ スターダスト柄

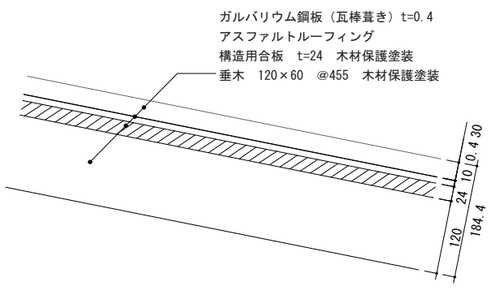
OC1 ケイカル板 1/10

使用箇所:外部廊下



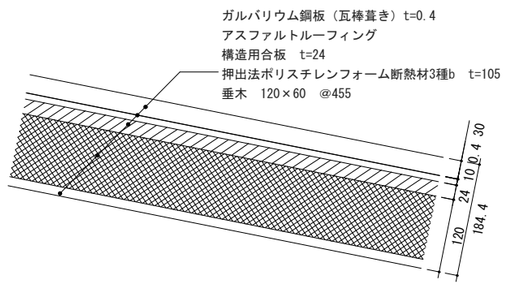
OC2 木躯体あらわし 1/10

使用箇所:外部廊下

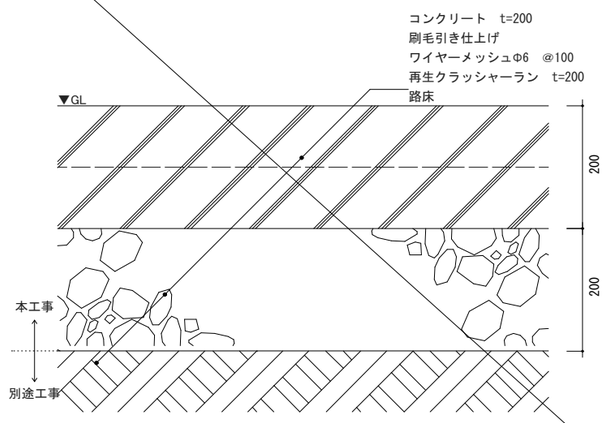


R1 ガルバリウム鋼板 1/10

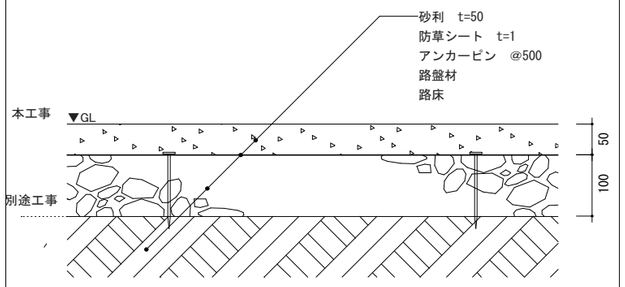
使用箇所:一般部



OF1 コンクリート舗装刷毛引き 1/10



OF2 砂利(防草シート) 1/10



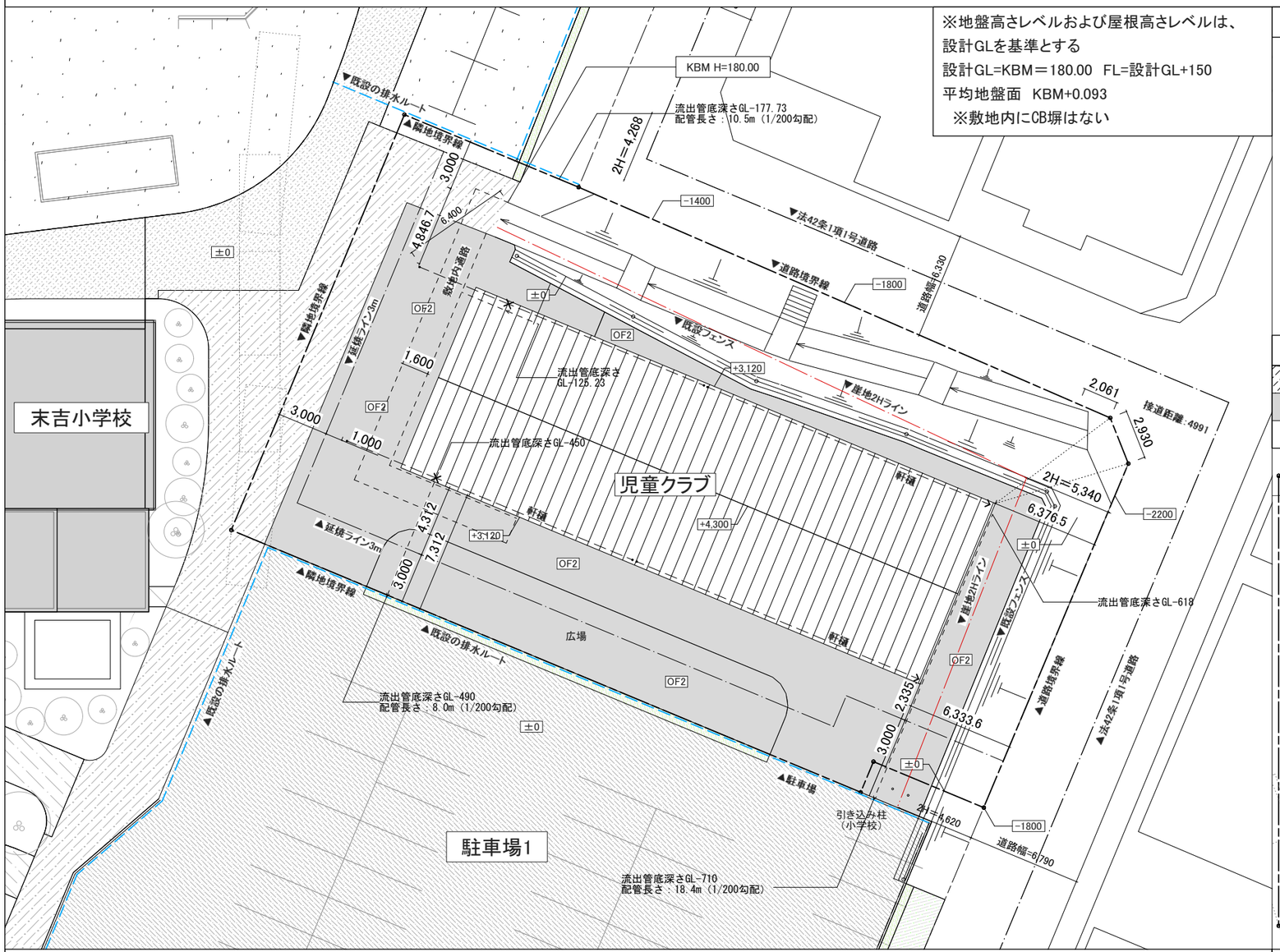
MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
冨岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第228591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事
Client	曽於市
Name of Drawing	エレメント2
Scale	A1:1/5 A3:1/10
Architect	
Drawn by	KOSEI SATO
Checked by	YOHEI TAKANO
Date	2026.9.30

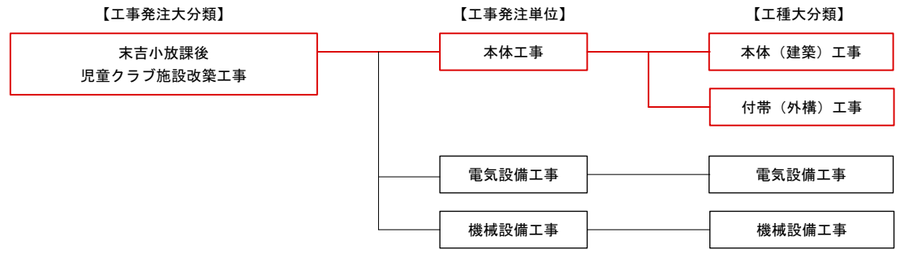
A-204

配置図／雨水排水系統図

S:1/300(A3)

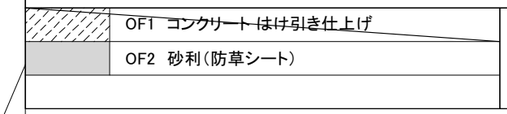


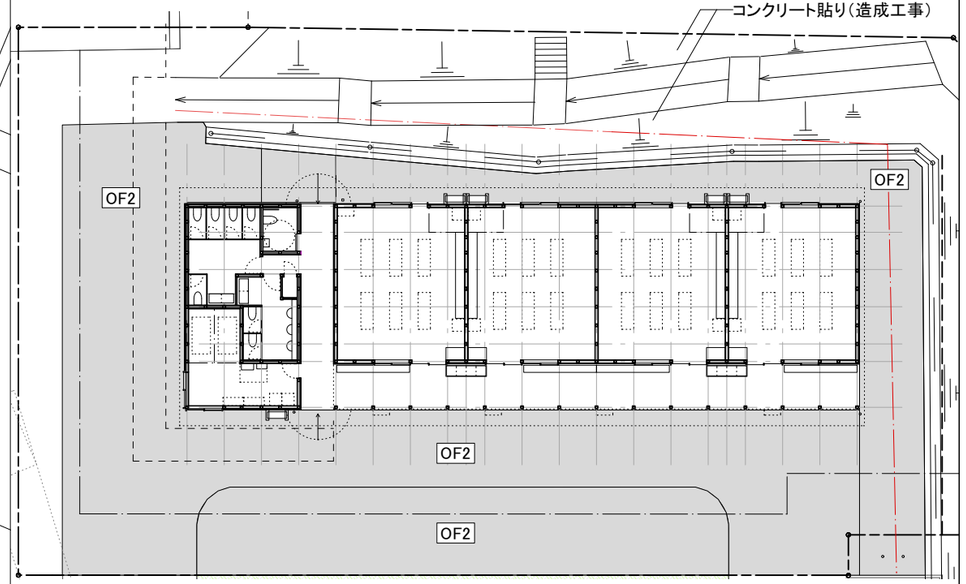
発注工事区分表



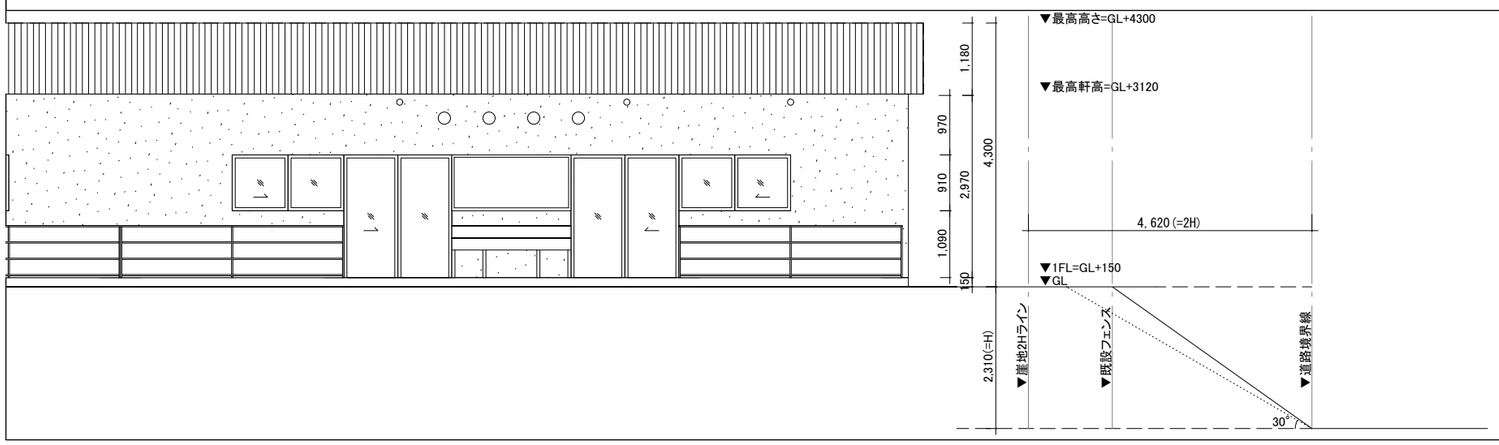
※赤枠内を今回積算範囲とする

外構プロット図　S=1/300



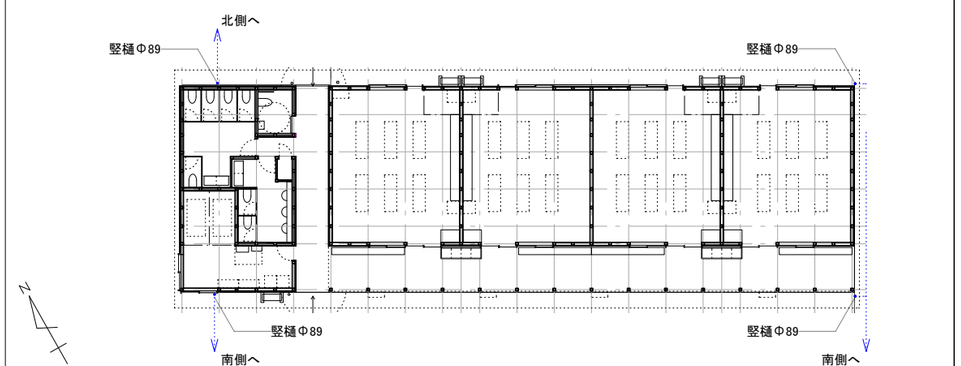


がけ断面図　S=1/100



雨水排水系統　S=1/300

別途発注の既設の排水ルートがあるため、接続するまでが本体工事内

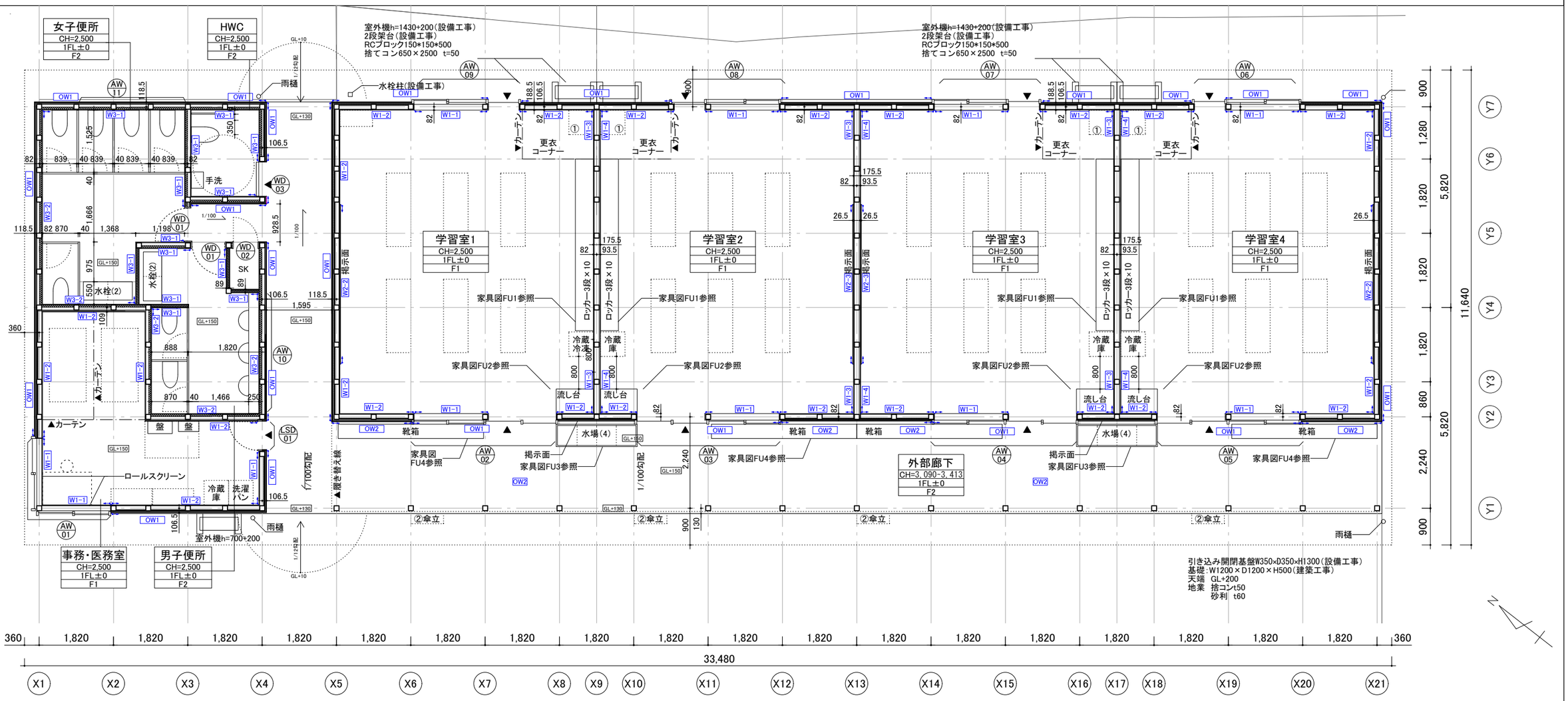


MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
瀬野　洋平 一級建築士 国土交通大臣登録第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松薗展忠夫 一級建築士 国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡　良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅　健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4098号
向井　一得 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect	Date	
教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事	曽於市	配置図	A1:1/150 A3:1/300	Drawn by NAMIKO NISHI Checked by YOHEI TAKANO	_ _ 2026.9.30	A-301

平面詳細図

S:1/100(A3)

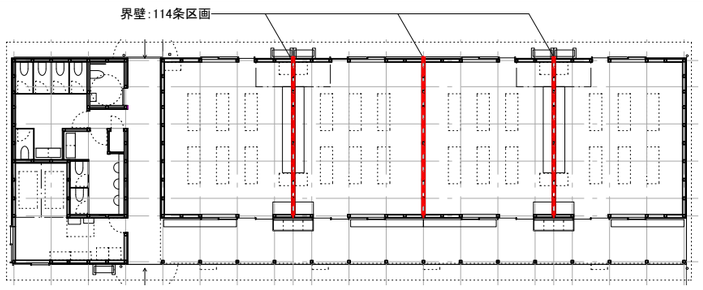


※特記なき限り、木柱:木材保護塗料WP1回塗り

備品リスト ※点線表記

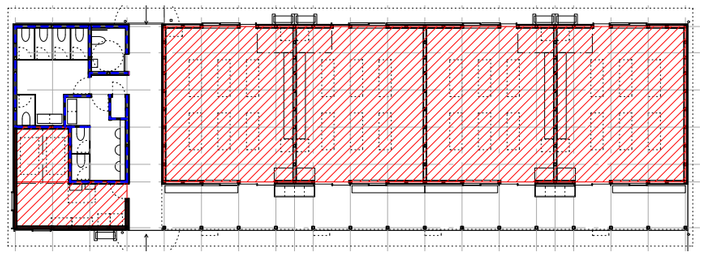
no	項目	配置	寸法	個
①	掃除用具入れ	学習室	W600×D600×H1800	4
②	傘立て	外部廊下	30本用	4

防火区画図 S=1/300

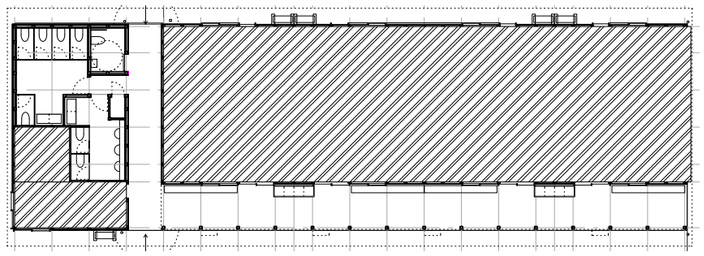


断熱・吸音範囲図 S=1/300

1階(見下げ)



屋根(見上げ)

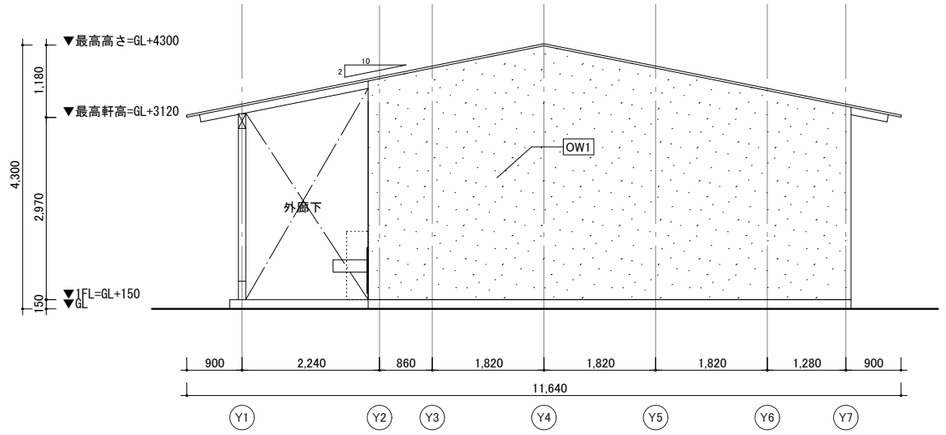


MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
髙野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉振忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
冨岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect	Date	
教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事	曽於市	平面詳細図	A1:1/50 A3:1/100	Drawn by NAMIKO NISHI Checked by YOHEI TAKANO	_ _ 2026.9.30	A-302

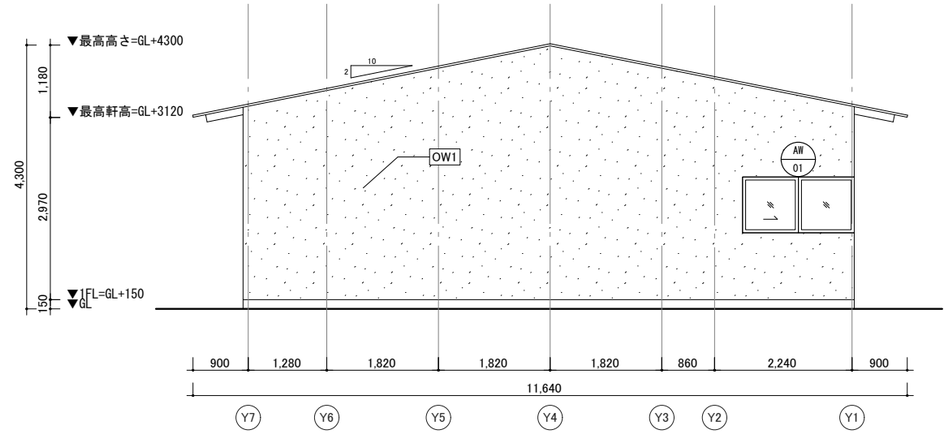
南東立面図

S:1/100(A3)



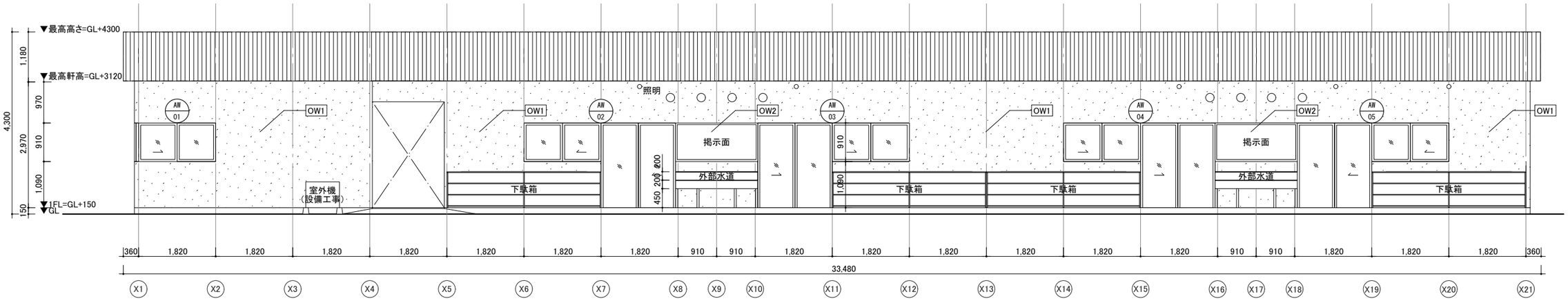
北西立面図

S:1/100(A3)



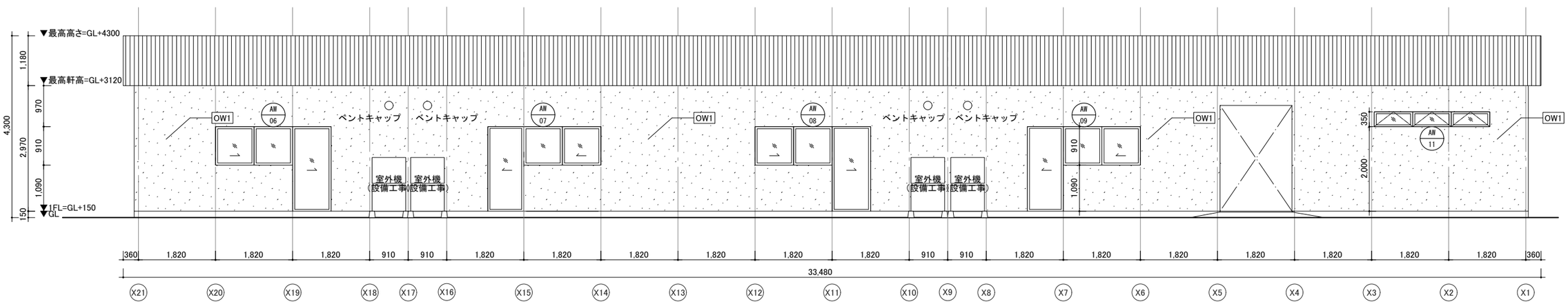
南西立面図

S:1/100(A3)



北東立面図

S:1/100(A3)



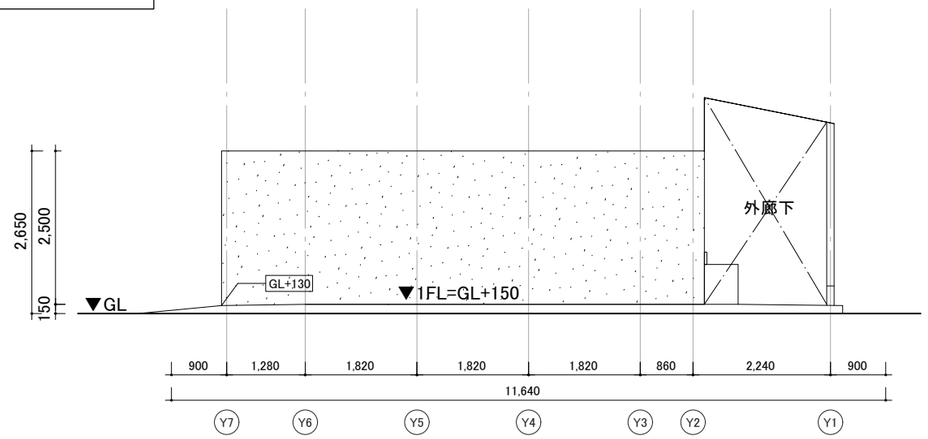
MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
髙野 洋平 一級建築士 国土交通大臣登録 第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士 国土交通大臣登録 第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
冨岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録 第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録 第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録 第4451号

Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect	Date	
教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事	曽於市	立面図	A1:1/50 A3:1/100	Drawn by KOSEI SATO Checked by YOHEI TAKANO	2026.9.30	A-303

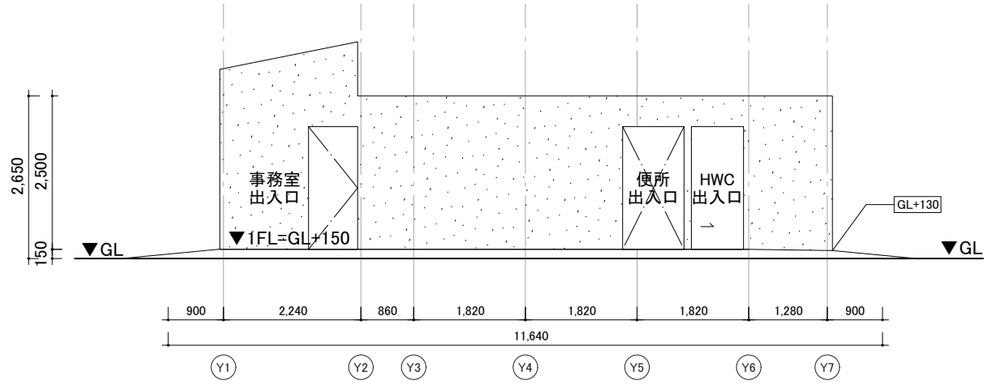
立面図・断面図

S:1/100(A3)

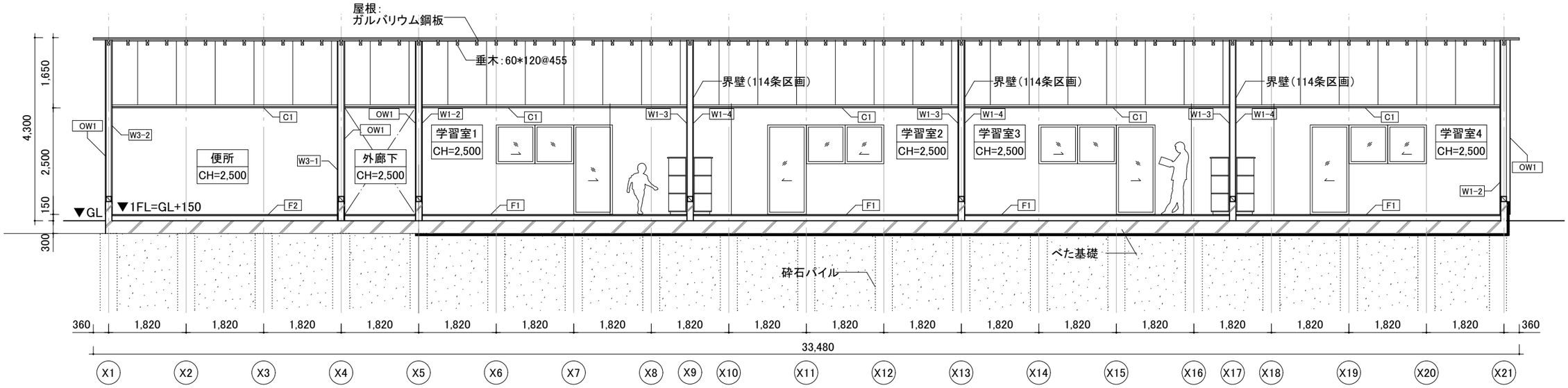
外廊下立面図1 （a立面）

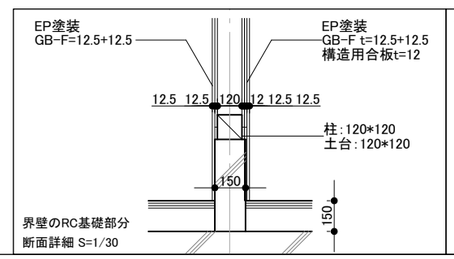


外廊下立面図2(b立面)

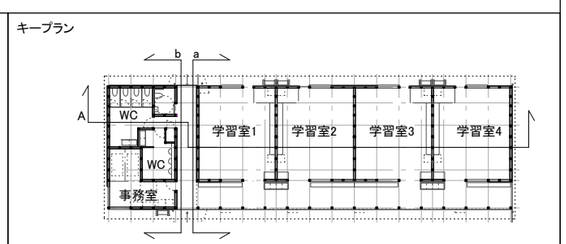


長手断面図(A断面)





キープラン



MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
髙野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title: 教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事

Client: 曽於市

Name of Drawing: 断面図

Scale: A1:1/50 A3:1/100

Architect: NAMIKO NISHI

Checked by: YOHEI TAKANO

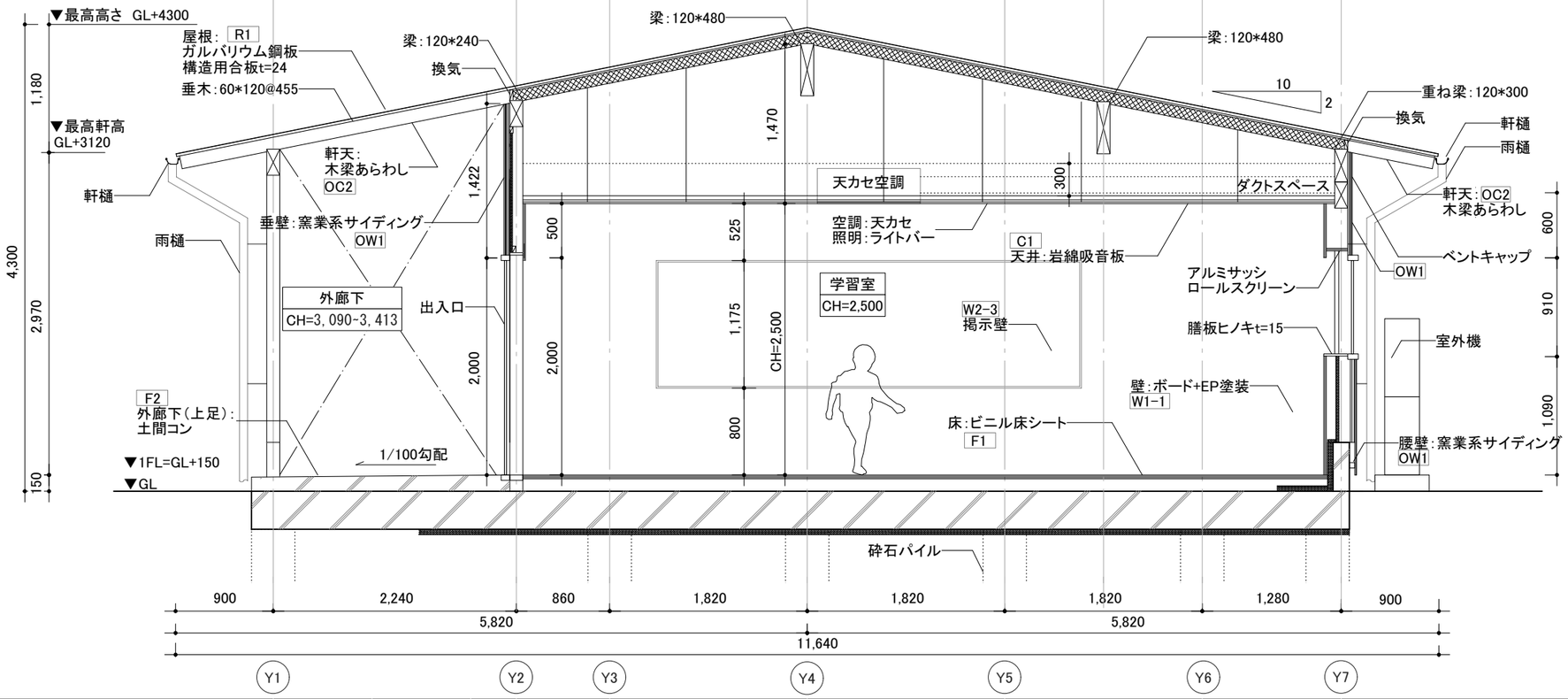
Date: 2026.9.30

A-304

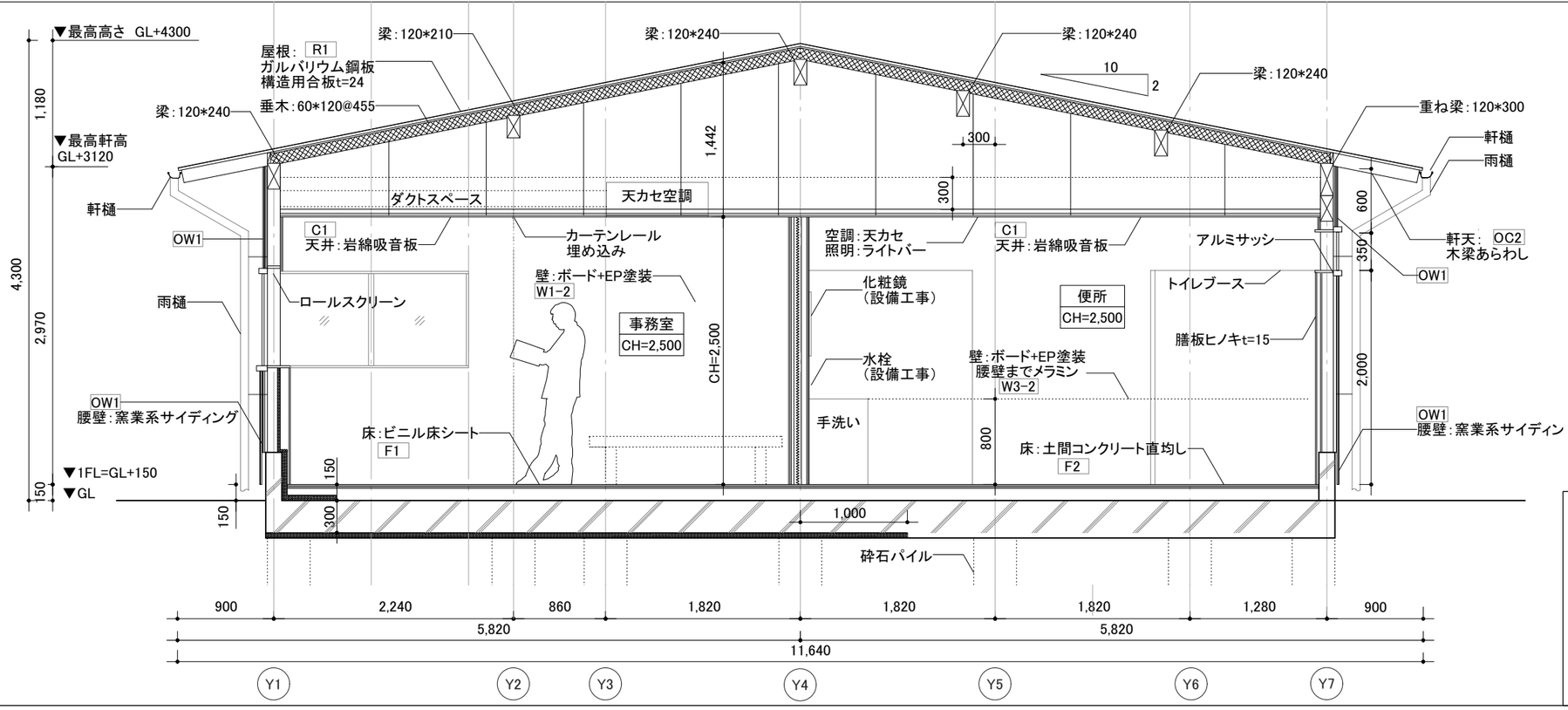
断面詳細図

S:1/50(A3)

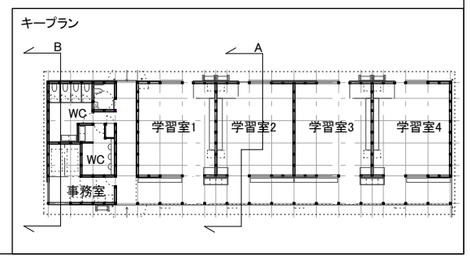
学習室1



事務室～便所

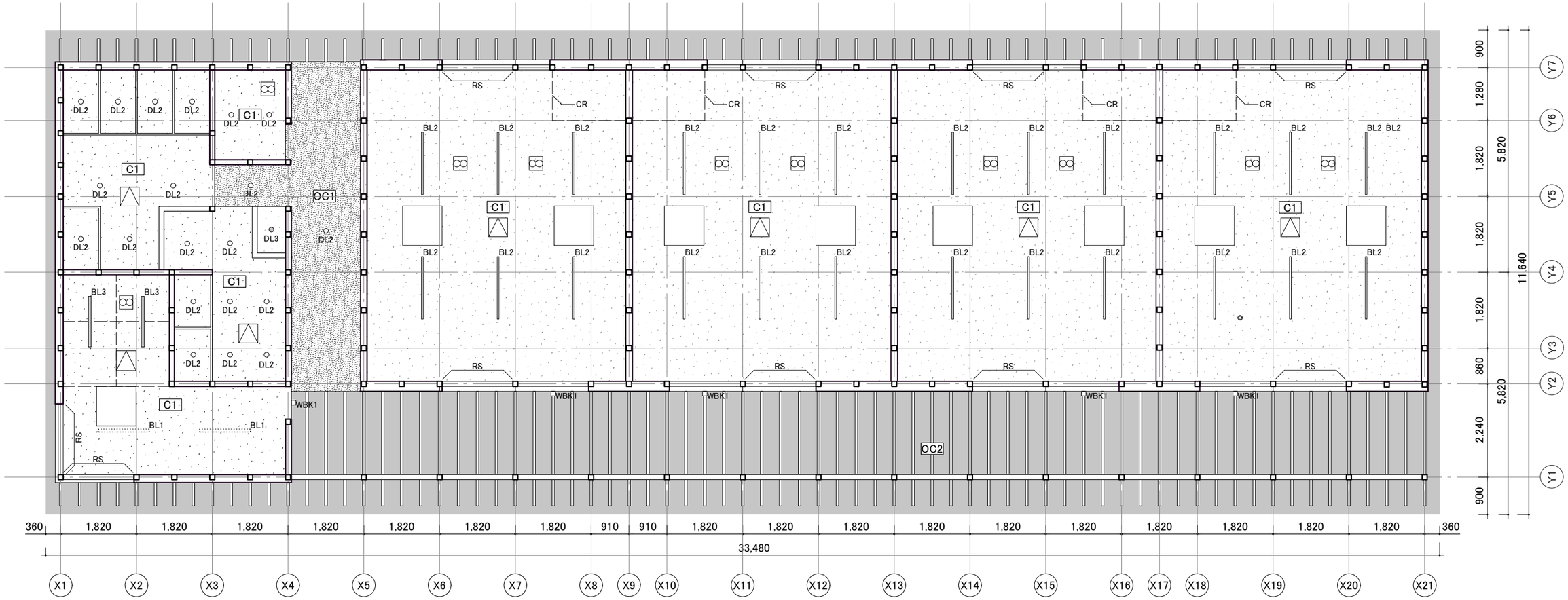


キープラン



MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
髙野 洋平 一級建築士 国土交通大臣登録第329238号
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士 国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect	Date	
教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事	曽於市	断面図	A1:1/25 A3:1/50	Drawn by NAMIKO NISHI	2026.9.30	A-306
				Checked by YOHEI TAKANO		

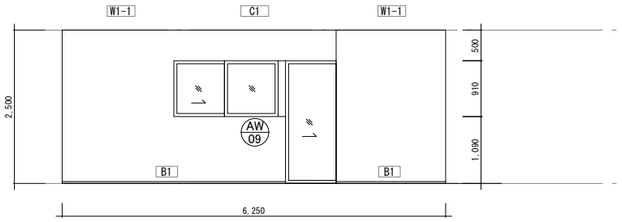


仕上げ凡例				照明凡例						その他凡例		その他凡例(設備工事)			
C1	岩綿吸音板 t=9	OC2	木躯体あらわし	○	DL2 LEDダウンライト	□	WBK1 屋外スポットライト	═	BL2 LEDユニット43.7W	- - - - - -	CRカーテンレール(立川ブラインド)	□	空調機(天カセ) 950×950	OC	換気扇 475×475
OC1	ケイカル板 t=8			◎	DL3 LEDダウンライト人感センサー付	.....	BL1 LEDユニット16.7W	═	BL3 LEDユニット13.4W		RSロールスクリーン	△	天井点検口 454×454		

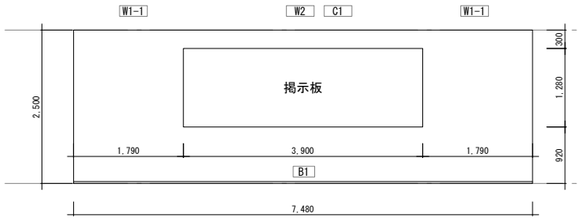
MARU。architecture　有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329233号
DAI　株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP　オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
宮岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	Cliant	Name of Drawing	Scale	Architect	Date	
教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事	曽於市	天井伏図	A1:1/50 A3:1/100	Drawn by KOSEI SATO Checked by YOHEI TAKANO	2026.9.30	A-401

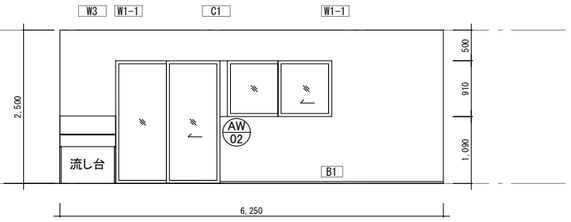
学習室1



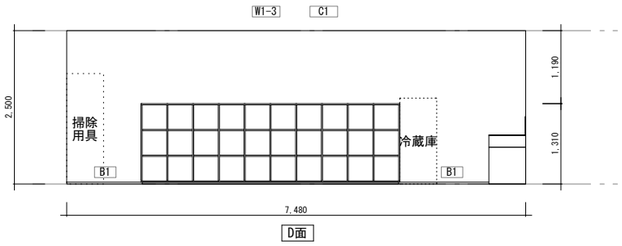
A面



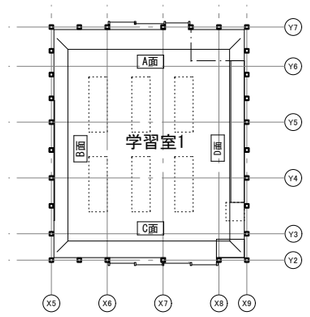
B面



C面

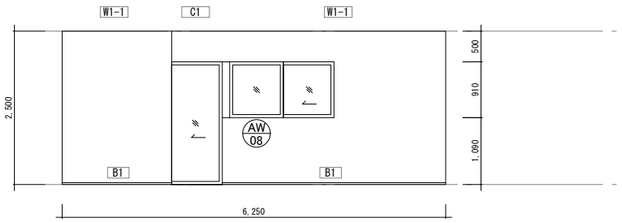


D面

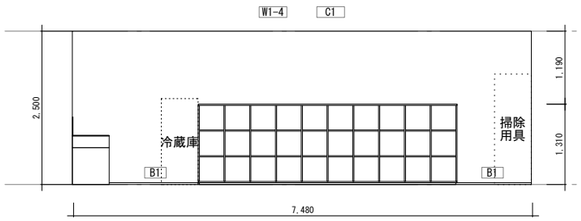


キープラン　S=1：200

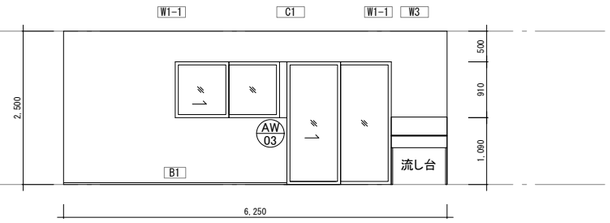
学習室2



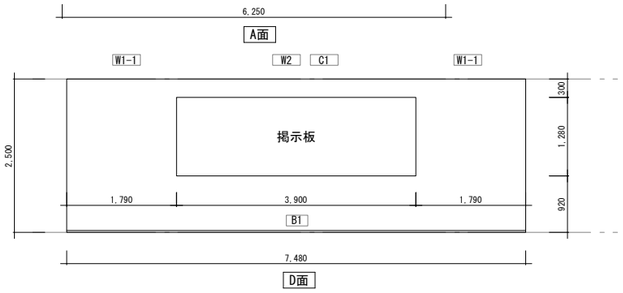
A面



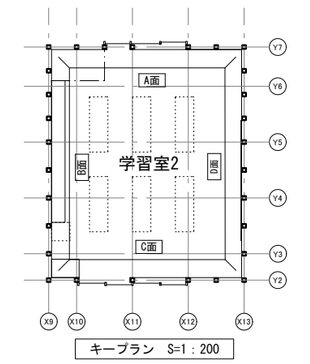
B面



C面

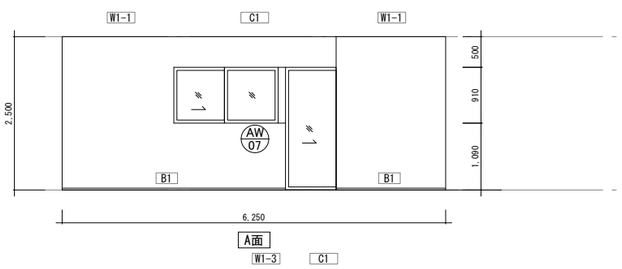


D面

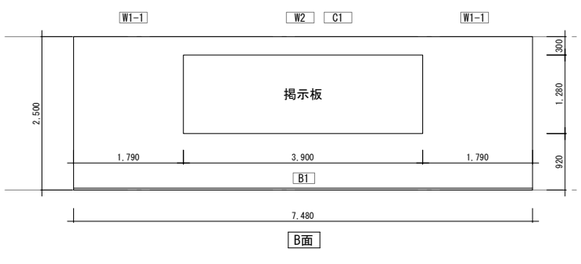


キープラン　S=1：200

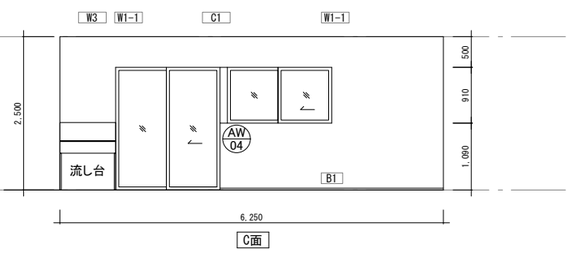
学習室3



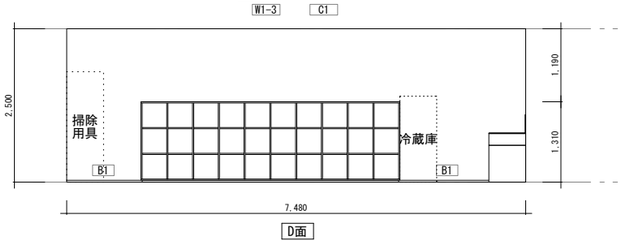
A面



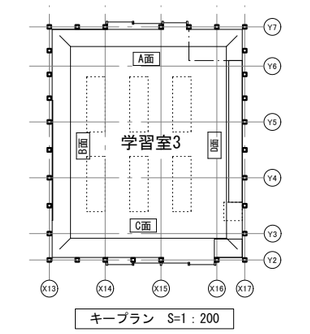
B面



C面



D面



キープラン　S=1：200

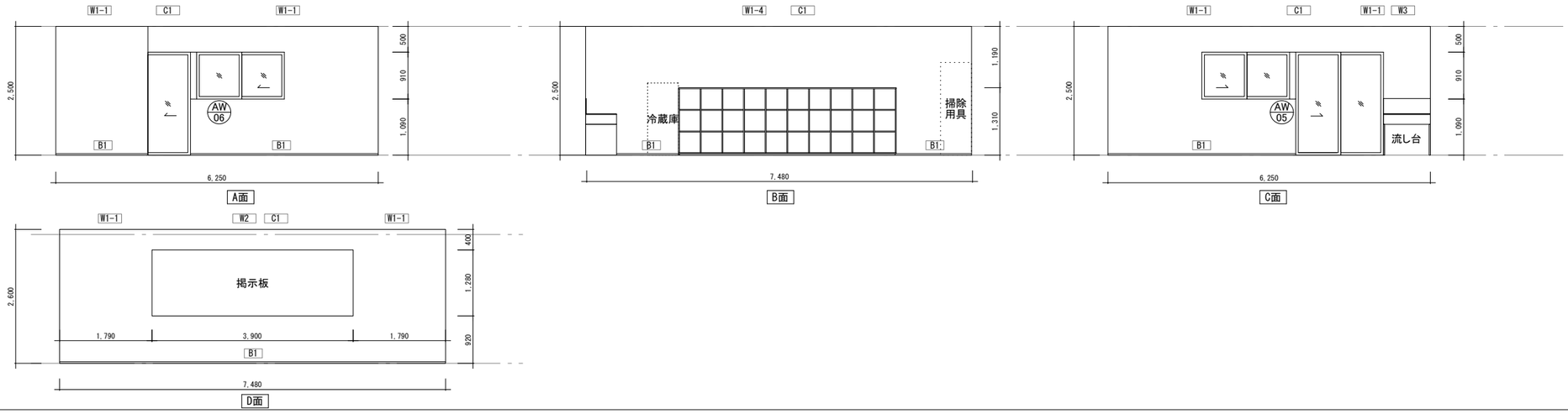
MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ
一級建築士事務所
東京都知事登録第59575号
髙野　洋平
一級建築士国土交通大臣登録
第329238号

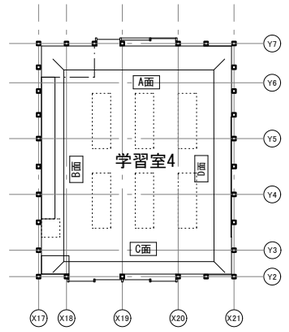
DAI
株式会社Dai建築DESIGN
一級建築士事務所
鹿児島県知事登録第1-6-1号
松薗展忠夫
一級建築士国土交通大臣登録
第141001号

ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド
一級建築士事務所
東京都知事登録第35571号
富岡　良太
一級建築士登録第355621号
構造設計一級建築士登録
第10495号
菅　健太郎
一級建築士登録第318575号
設備設計一級建築士登録
第4096号
向井　一将
一級建築士登録第328591号
設備設計一級建築士登録
第4451号

Project Title	教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事
Client	曽於市
Name of Drawing	展開図1
Scale	A1:1/50 A3:1/100
Architect	
Drawn by	KOSEI SATO
Checked by	YOHEI TAKANO
Date	2026.9.30
	A-402

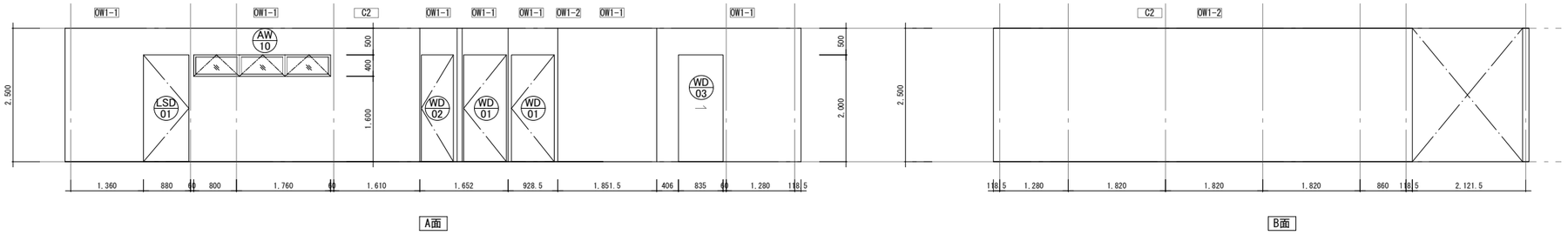
学習室4

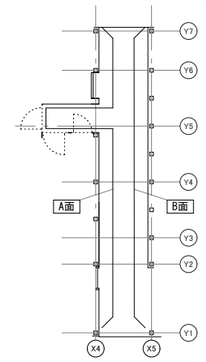




キープラン　S=1：200

屋外廊下

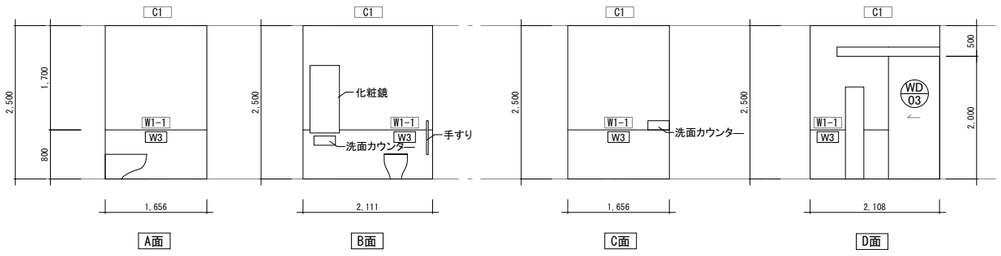


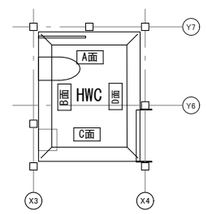


屋外廊下

キープラン　S=1：200

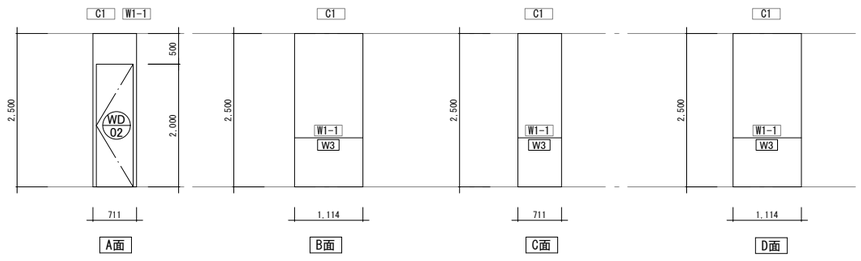
HWC

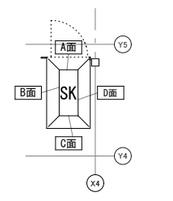




キープラン　S=1：100

SK





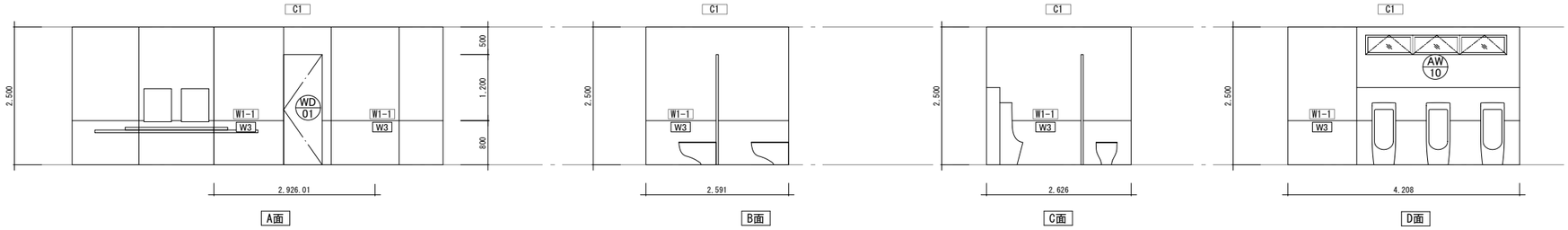
キープラン　S=1：100

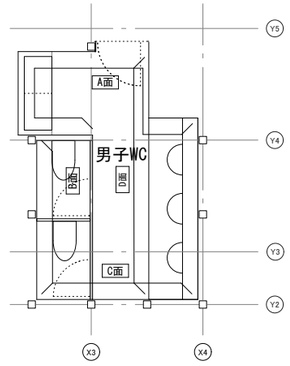
MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ
一級建築士事務所
東京都知事登録第59575号
高野　洋平
一級建築士国土交通大臣登録
第329238号
DAI ARCHITECTURAL INC.
株式会社Dai建築DESIGN
一級建築士事務所
鹿児島県知事登録第1-6-1号
松薗兼忠夫
一級建築士国土交通大臣登録
第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド
一級建築士事務所
東京都知事登録第35571号
富岡　良太
一級建築士登録第355621号
構造設計一級建築士登録
第10495号
菅　健太郎
一級建築士登録第318575号
設備設計一級建築士登録
第4096号
向井　一将
一級建築士登録第328591号
設備設計一級建築士登録
第44518号

Project Title	教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事
Client	曽於市
Name of Drawing	展開図2
Scale	A1:1/50 A3:1/100
Architect	
Drawn by	KOSEI SATO
Checked by	YOHEI TAKANO
Date	2026.9.30

A-403

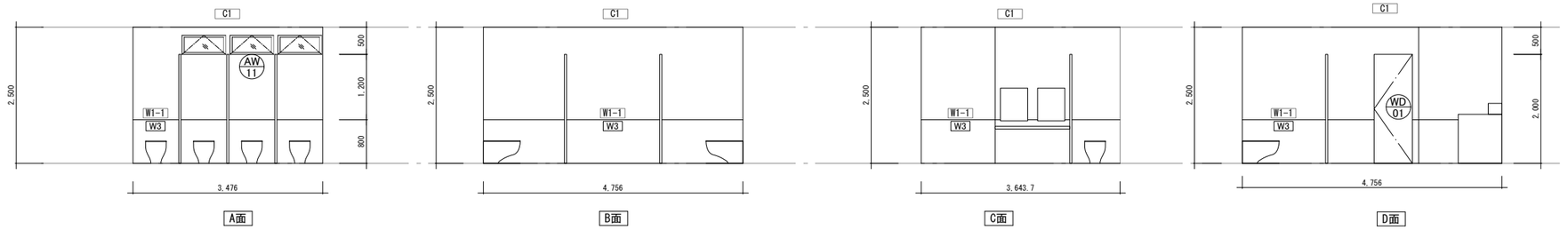
男子WC

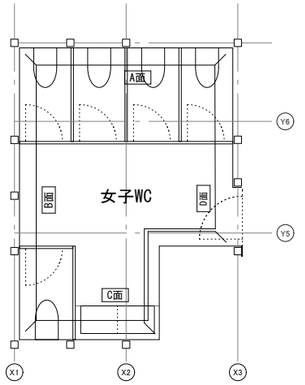




キープラン　S=1：100

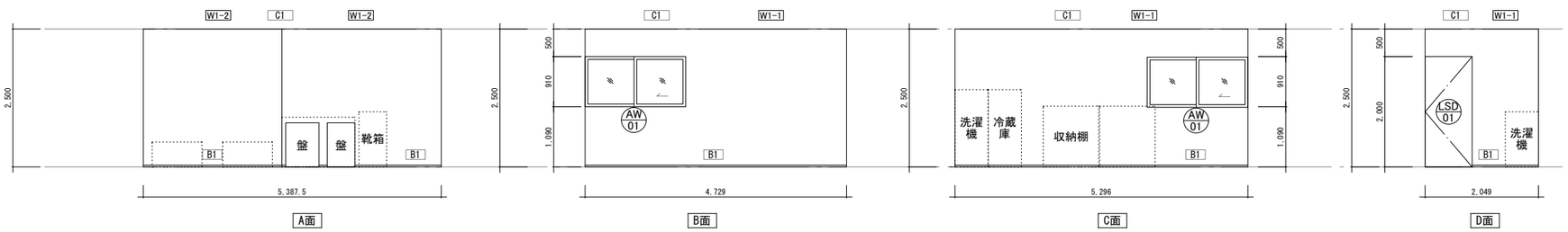
女子WC

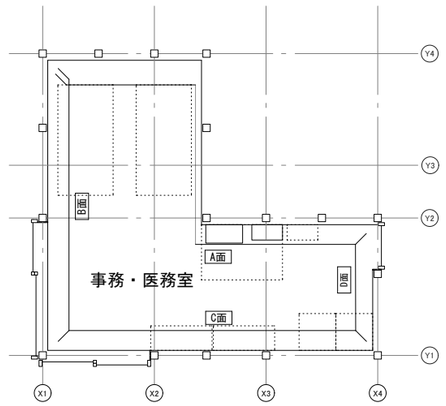




キープラン　S=1：100

事務・医務室





キープラン　S=1：100

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ
一級建築士事務所
東京都知事登録第59575号
高野　洋平
一級建築士国土交通大臣登録
第329238号
株式会社Dai建築DESIGN
一級建築士事務所
鹿児島県知事登録第1-6-1号
松薗瀬忠夫
一級建築士国土交通大臣登録
第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド
一級建築士事務所
東京都知事登録第35571号
富岡　良太
一級建築士登録第355621号
構造設計一級建築士登録
第10495号
菅　健太郎
一級建築士登録第318575号
設備設計一級建築士登録
第4096号
向井　一将
一級建築士登録第328591号
設備設計一級建築士登録
第4451号

Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect	Date	
教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事	曽於市	展開図3	A1:1/50 A3:1/100	Drawn by KOSEI SATO Checked by YOHEI TAKANO	2026.9.30	A-404

共通事項

1. 気密性、水密性、耐風圧性については特記仕様書による。
2. 水掛り部分に使用する鋼製建具の付属金物類は、特記なき限りステンレス製とする。
3. シリンダー錠は、グランドマスターキー方式とする。(ピッキング対応)
   設備系のシリンダー錠は同一キーとする。
4. 外部アルミサッシは、全て水切皿板を設置する。
5. 外部サッシ水切り部に10mm以上の立上りを付ける。
6. 水切りの出は壁面より15mmを標準とし、両ｻｲﾄﾞに水返しを設け、壁面の汚れ防止仕様とする。
7. がらりを除く外部に面する建具は特記なき限り、簡易気密型 以上とする。
8. ｻｯｼの金物類は特記無き限り附属金物一式とし、附属金物類は特記無き限りSUS製とする。
9. ガラス面に設置する衝突防止マークはサイン工事による。
11. 建具類の補強金物については、製作図により決定する。
12. 強化ガラスは全数熱割れ試験を行うこと。
13. 外装窓廻りの取り合い(ｶﾞﾗｽｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ及びｻｯｼｭ等)については、外装分科会を設けて
    専門知識を持つ責任者を定め施工者の責任においてまとめること。

表示略号

AD	アルミ製戸	FL	フロート板ガラス	FH	フロアヒンジ
AW	アルミ　製窓		(スクールテンパとする)	PH	ピボットヒンジ
WW	木製建具	F	型板ガラス	HC	ヒンジクローザ
LSD	鋼製軽量戸	DS	倍強化ガラス	DC(S)	ドアクローザ
TK	垂壁	L	合わせガラス		ストッパー付
WD	木製戸	SWB	止水板	DC(Sなし)	ドアクローザ
		点	点検口		ストッパーなし

平面図表示建具符号　建具略号 / 整理番号

仕上げ

(1)LSDの召合わせ及び縦小口包み板はステンレス鋼板とする。
(2)網戸の網は特記なき限り樹脂製とする。
(3)ステンレス製建具の仕上は特記なき限りHL仕上とする。

扉

(1)常時開放型煙感連動防火戸は、隠蔽型オートヒンジとする。
(2)壁当たりとなる開き戸は、壁面からの逃げ寸法を140mm程度とし、ドアクローザ
   の有無に係わらず戸当たりを設ける。
(3)扉の握玉、把手類は床面から1000mmとし、押板類は1100mmとする。
   把手類は点検口、常時閉鎖式防火戸を除き、両面とする。
(4)ドアクローザは特記なき限り扉埋め込み型のコンシールドとする。
(5)コンシールド以外のドアクローザは特記なき限りパラレル型とし、室内側に
   取り付けるものとする。
(6)ピボットヒンジは特記なき限り持ち出し吊型とする。
(7)オートヒンジ、フロアヒンジは特記なき限りストッパー付(防火戸を除く)とする。
(8)常時開放防火戸及び防火防煙シャッター等は特記なき限り煙感知連動式とする。
(9)特記なき限り全ての開戸にはドアストッパー(戸当り)を設ける。
(10)ﾊﾝｶﾞｰﾄﾞｱは自閉式とし、全開時にはストップする機構とする(防火戸を除く)。
(11)扉は特記なき限り、両面フラッシュとする。(PS、EPS、DS、点検扉を除く)
(12)各階屋内消火栓のある部屋から廊下に至る特定防火設備扉には、
   消防ホース通過孔扉W180H180を設ける。
(13)壁収納型防火扉は煙感知器連動自動閉鎖装置一式を見込むこと。
   また、リミットスイッチ・電磁レリーズ等の作動装置まで建築工事とし、
   配管、配線工事は電気工事とする。
(14)特定防火設備、防火設備の認定において、AT等が必要となる場合は設ける。

窓

(1)特記無き片引き窓には安全対策として外障子ストッパーを見込むこと。
(2)縦軸回転窓、横軸回転窓、竪すべり出し窓には、特記無き限り一時ストップ付
   のアームストッパーを設ける。
(3)引き違いサッシュに取付けるクレセントは全てビル用大型とする。
   また、片開き窓については大型引寄せハンドルを使用する。
(4)外部片引き窓にはステンレス製網戸を取り付ける。

枠

(1)枠曲げ見本を作成すること。
(2)金物サンプルボードもしくは金物写真入サンプル表を、主要建具ごとに作成
   すること。(各サンプルも取り寄せる事。)
(3)その他のサンプル表においては、監督職員と協議の上、適宜作成すること。

建具金物

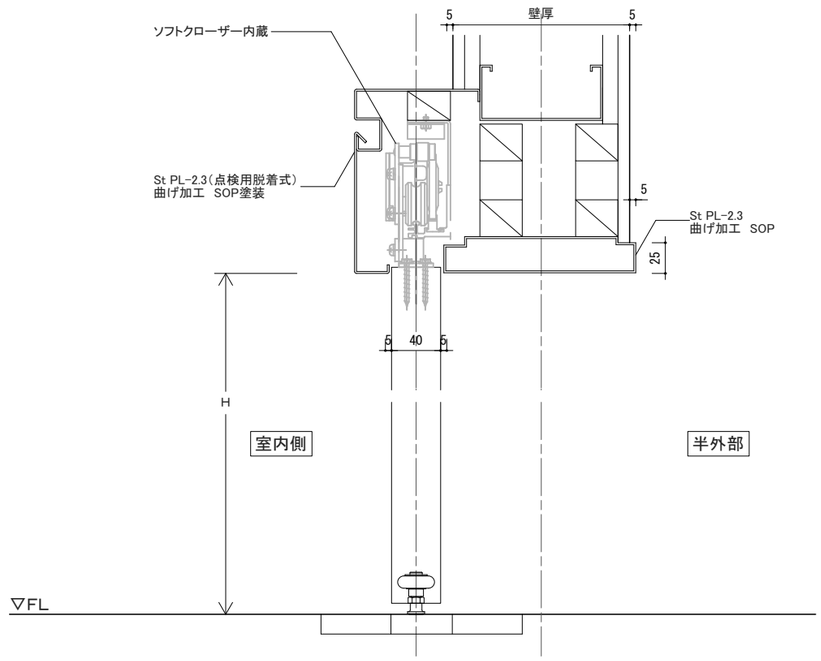
(1)把手類は下記同等品とすること。

レバーハンドル(LSD)
引手(LSD)

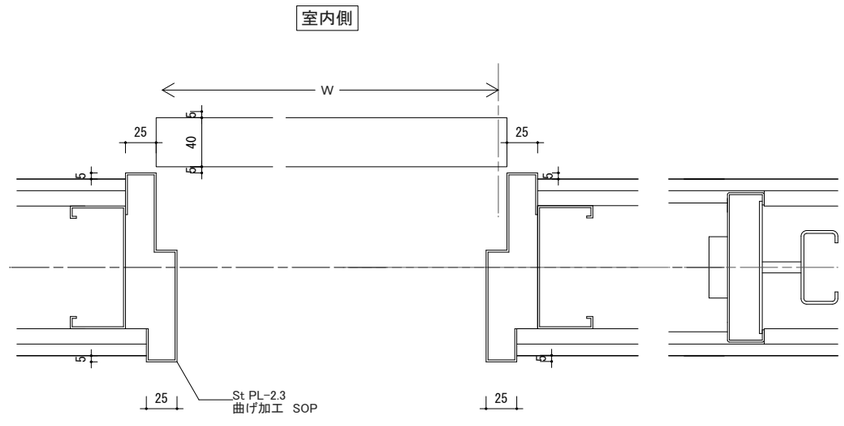
建具枠凡例

※共通事項につき、新設/既設の区分なく、全て黒線で記載　※特記なき建具は本図面に倣うこと

S1　LSD　引き戸

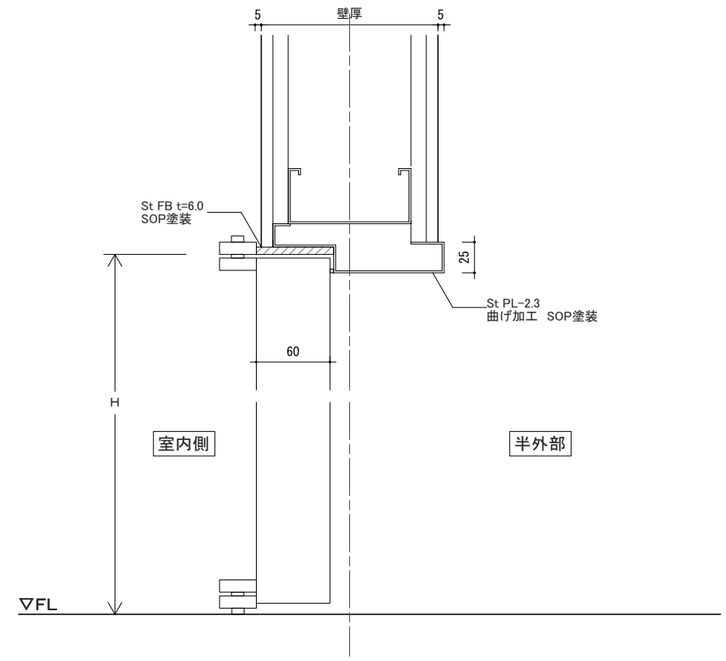


縦断面

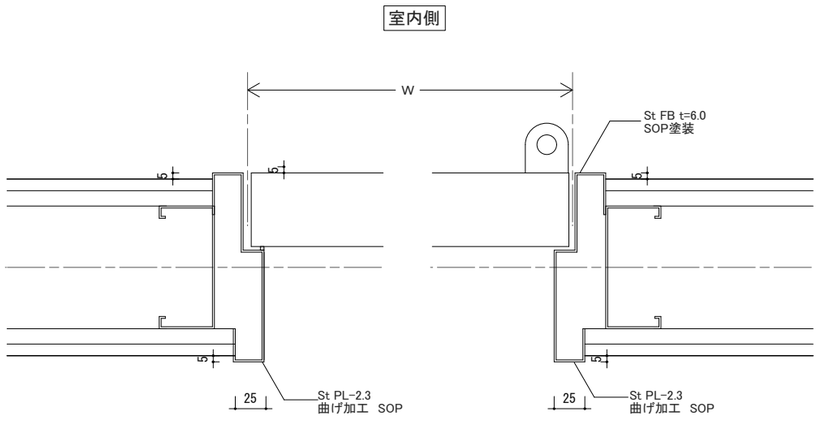


横断面

S2　LSD　開き扉



縦断面



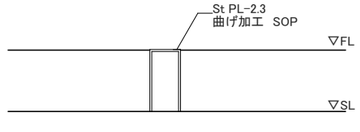
横断面

くつずり凡例一覧

※共通事項につき、新設/既設の区分なく、全て黒線で記載　※特記なき建具は本図面に倣うこと

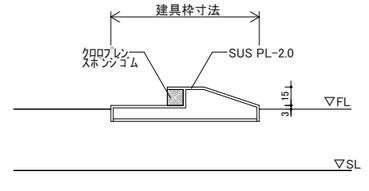
1　曲枠見切り

引き戸(HWCなど)



2　開き戸下枠

開き戸(WCなど)

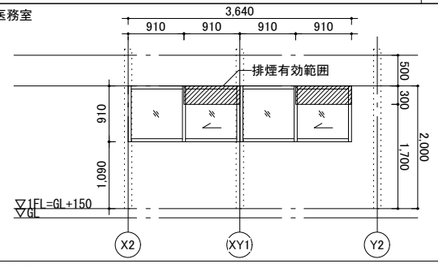
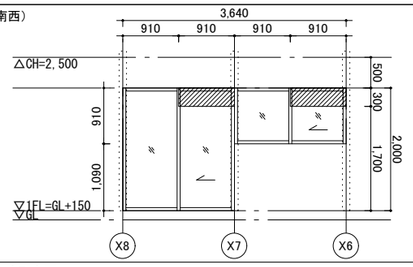
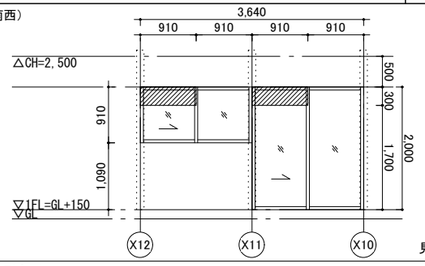
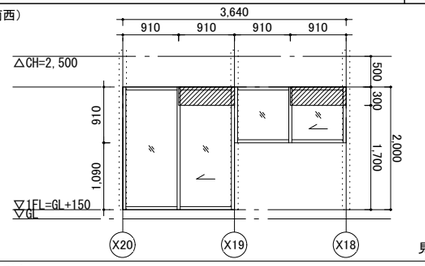
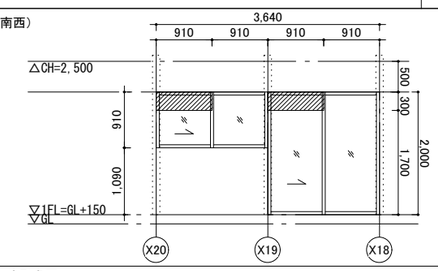
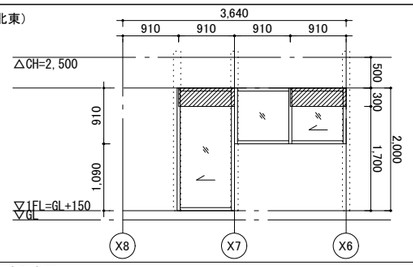
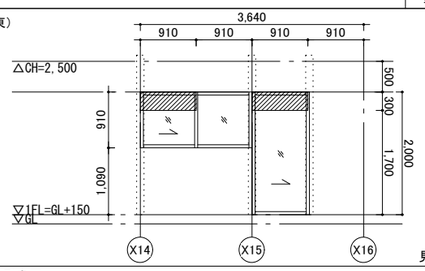
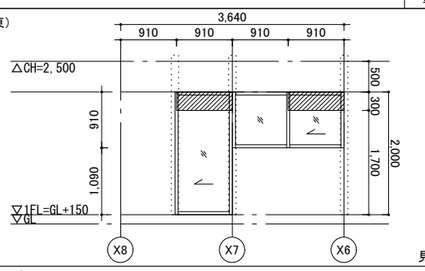
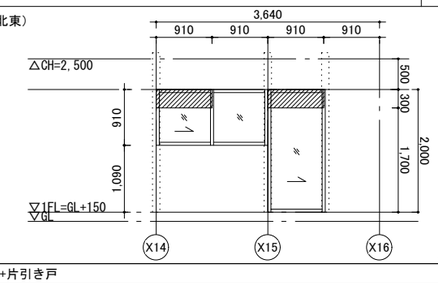
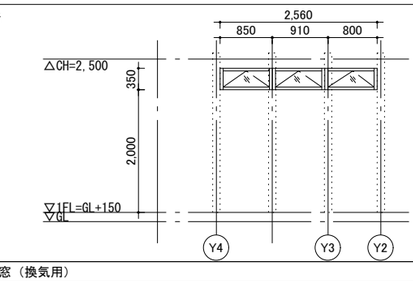
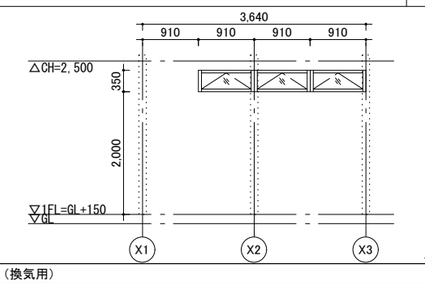
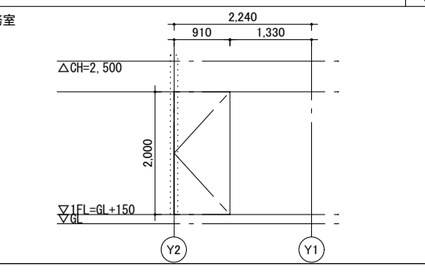
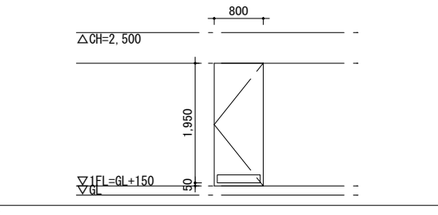
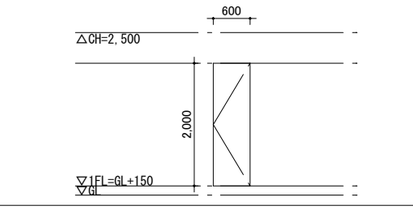
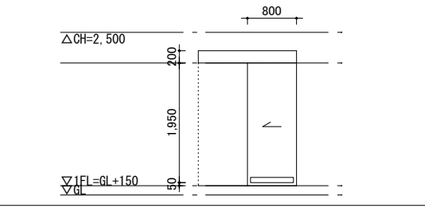


MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
髙野　洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡　良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅　健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井　一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事
Client	曽於市
Name of Drawing	建具共通事項
Scale	A1:1/2.5 A3:1/5
Architect	
Drawn by	NAMIKO NISHI
Checked by	YOHEI TAKANO
Date	2026.9.30
	A-501

建具表

S:1/100(A3)

記号	AW01	数量	1	AW02	数量	1	AW03	数量	1	AW04	数量	1
姿図	事務・医務室 			学習室(南西) 			学習室（南西） 			学習室（南西） 		
名称	片引き窓+FIX窓			片引き窓+片引き戸			片引き窓+片引き戸			片引き窓+片引き戸		
材質	アルミ押出型材			アルミ押出型材			アルミ押出型材			アルミ押出型材		
金物	標準金物一式、クレセント錠			標準金物一式、クレセント錠			標準金物一式、クレセント錠			標準金物一式、クレセント錠		
硝子	Low-E6 + A12 + FL6			Low-E6 + A12 + FL6			Low-E6 + A12 + FL6			Low-E6 + A12 + FL6		
性能	-			-			-			-		
備考	三協アルミ住宅用サッシ、網戸			三協アルミ住宅用サッシ、網戸			三協アルミ住宅用サッシ、網戸			三協アルミ住宅用サッシ、網戸		
記号	AW05	数量	1	AW06	数量	1	AW07	数量	1	AW08	数量	1
姿図	学習室(南西) 			学習室(北東) 			学習室(北東) 			学習室(北東) 		
名称	片引き窓+片引き戸			片引き窓+片引き戸			片引き窓+片引き戸			片引き窓+片引き戸		
材質	アルミ押出型材			アルミ押出型材			アルミ押出型材			アルミ押出型材		
金物	標準金物一式、クレセント錠			標準金物一式、クレセント錠			標準金物一式、クレセント錠			標準金物一式、クレセント錠		
硝子	Low-E6 + A12 + FL6			Low-E6 + A12 + FL6			Low-E6 + A12 + FL6			Low-E6 + A12 + FL6		
性能	-			-			-			-		
備考	三協アルミ住宅用サッシ、網戸			三協アルミ住宅用サッシ、網戸			三協アルミ住宅用サッシ、網戸			三協アルミ住宅用サッシ、網戸		
記号	AW09	数量	1	AW10	数量	1	AW11	数量	1	LSD01	数量	1
姿図	学習室(北東) 			男子便所 			女子便所 			事務・医務室 		
名称	片引き窓+片引き戸			突き出し窓（換気用）			突き出し窓（換気用）			片開き戸		
枠-沓摺	-			-			-			S1-1		
材質	アルミ押出型材			アルミ押出型材			アルミ押出型材			スチール両面フラッシュ、SOP塗装		
金物	標準金物一式、クレセント錠			標準金物一式、クレセント錠、オペレータ装置一式			標準金物一式、クレセント錠、オペレータ装置一式			標準金物一式、ドアハンドル、ドアクローザー、戸当たり		
硝子	Low-E6 + A12 + FL6			FL6			FL6			-		
性能	-			-			-			-		
備考	三協アルミ住宅用サッシ、網戸			-			-			-		
記号	WD01	数量	2	WD02	数量	1	WD03	数量	1			
姿図	便所 			SK 			HWC 					
名称	片開き戸			片開き戸			片引き戸					
枠-沓摺	S1-2			S1-2			S1-1					
材質	シナ両面フラッシュ、WP塗装			シナ両面フラッシュ、WP塗装			シナ両面フラッシュ、WP塗装					
金物	標準金物一式、ドアハンドル、ドアクローザー、戸当たり			標準金物一式、ドアハンドル、ドアクローザー、戸当たり			標準金物一式、ドアハンドル、引き戸クローザー、シリンダー錠					
硝子	-			-			-					
性能	-			-			-					
備考	-			-			-					

MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI ARCHITECTURAL INC.
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松薗基忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
冨岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect	Date	
教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事	曽於市	建具表	A1:1/50 A3:1/100	Drawn by KOSEI SATO Checked by YOHEI TAKANO	2026.9.30	A-502

開口面積計算表(令第116条の2第1項2号)

第一種中高層住宅地域　対象:居室(学習室)　有効採光率≧1/5　居室(学習室以外)≧1/10　用途地域補正係数α=6、β=1.4

No.	室名	床面積（㎡）	必要面積(㎡)	建具符号	有効面積(W×A　W:開口面積　A:採光補正係数)									補正係数(d/h×α-β)						判定
					有効幅w(m)	有効高さh(m)	開口面積W(㎡)	箇所	開口合計面積W(㎡)	補正係数	A×0.7(縁側幅≧90cm)	採光補正係数	有効面積(㎡)	用途地域補正係数α	道路	水平距離d(m)	垂直距離h(m)	採光関係比率d/h	採光関係比率×α-β	
1	学習室1	48.41	9.682	AW02	0.91	0.91	0.83	2	1.66	37.88	0.7	3	3.48	6	無	10.31	1.58	6.55	37.88	OK
				AW02	0.91	2	1.82	2	3.64	27.78	0.7	3	7.64	6	無	10.31	2.12	4.86	27.78	
				AW09	0.91	0.91	0.83	2	1.66	30.79	1	3	4.97	6	有	8.45	1.58	5.37	30.79	
				AW09	0.91	2	1.82	1	1.82	22.52	1	3	5.46	6	有	8.45	2.12	3.99	22.52	
				合計有効面積									21.55							
2	学習室2	48.41	9.682	AW03	0.91	0.91	0.83	2	1.66	37.88	0.7	3	3.48	6	無	10.31	1.58	6.55	37.88	OK
				AW03	0.91	2	1.82	2	3.64	27.78	0.7	3	7.64	6	無	10.31	2.12	4.86	27.78	
				AW08	0.91	0.91	0.83	2	1.66	30.79	1	3	4.97	6	有	8.45	1.58	5.37	30.79	
				AW08	0.91	2	1.82	1	1.82	22.52	1	3	5.46	6	有	8.45	2.12	3.99	22.52	
				合計有効面積									21.55							
3	学習室3	48.41	9.682	AW04	0.91	0.91	0.83	2	1.66	37.88	0.7	3	3.48	6	無	10.31	1.58	6.55	37.88	OK
				AW04	0.91	2	1.82	2	3.64	27.78	0.7	3	7.64	6	無	10.31	2.12	4.86	27.78	
				AW07	0.91	0.91	0.83	2	1.66	30.79	1	3	4.97	6	有	8.45	1.58	5.37	30.79	
				AW07	0.91	2	1.82	1	1.82	22.52	1	3	5.46	6	有	8.45	2.12	3.99	22.52	
				合計有効面積									21.55							
4	学習室4	48.41	9.682	AW05	0.91	0.91	0.83	2	1.66	37.88	0.7	3	3.48	6	無	10.31	1.58	6.55	37.88	OK
				AW05	0.91	2	1.82	2	3.64	27.78	0.7	3	7.64	6	無	10.31	2.12	4.86	27.78	
				AW06	0.91	0.91	0.83	2	1.66	30.79	1	3	4.97	6	有	8.45	1.58	5.37	30.79	
				AW06	0.91	2	1.82	1	1.82	22.52	1	3	5.46	6	有	8.45	2.12	3.99	22.52	
				合計有効面積									21.55							
5	事務・医務室	19.38	3.876	AW01	0.91	0.91	0.83	2	1.66	11.25	1	3	4.97	6	無	4.47	2.12	2.11	11.25	OK
				AW01	0.91	0.91	0.83	2	1.66	21.47	1	3	4.97	6	無	8.08	2.12	3.81	21.47	
				合計有効面積									9.94							

換気開口面積計算表(法28条第2項)　居室≧1/20

No.	室名	床面積（㎡）	必要面積（㎡）	建具符号	有効幅w(m)	有効高さh(m)	開口面積W(㎡)	箇所	開口合計面積W(㎡)	判定
1	学習室1	48.41	2.4205	AW02	0.91	0.91	0.8281	1	0.8281	OK
				AW02	0.91	2	1.82	1	1.82	
				AW09	0.91	0.91	0.8281	1	0.8281	
				AW09	0.91	2	1.82	1	1.82	
				合計有効面積					5.2962	
2	学習室2	48.41	2.4205	AW03	0.91	0.91	0.8281	1	0.8281	OK
				AW03	0.91	2	1.82	1	1.82	
				AW08	0.91	0.91	0.8281	1	0.8281	
				AW08	0.91	2	1.82	1	1.82	
				合計有効面積					5.2962	
3	学習室3	48.41	2.4205	AW04	0.91	0.91	0.8281	1	0.8281	OK
				AW04	0.91	2	1.82	1	1.82	
				AW07	0.91	0.91	0.8281	1	0.8281	
				AW07	0.91	2	1.82	1	1.82	
				合計有効面積					5.2962	
4	学習室4	48.41	2.4205	AW05	0.91	0.91	0.8281	1	0.8281	OK
				AW05	0.91	2	1.82	1	1.82	
				AW06	0.91	0.91	0.8281	1	0.8281	
				AW06	0.91	2	1.82	1	1.82	
				合計有効面積					5.2962	
5	事務・医務室	19.38	0.969	AW01	0.91	0.91	0.8281	2	1.6562	OK
				合計有効面積					1.6562	

排煙開口面積計算表(令第126条2～3)　居室≧1/50

No.	室名	床面積（㎡）	必要面積（㎡）	建具符号	有効幅w(m)	有効高さh(m)	開口面積W(㎡)	箇所	開口合計面積W(㎡)	判定
1	学習室1	48.41	0.9682	AW02	0.91	0.3	0.273	2	0.546	OK
				AW09	0.91	0.3	0.273	2	0.546	
				合計有効面積					1.092	
2	学習室2	48.41	0.9682	AW03	0.91	0.3	0.273	2	0.546	OK
				AW08	0.91	0.3	0.273	2	0.546	
				合計有効面積					1.092	
3	学習室3	48.41	0.9682	AW04	0.91	0.3	0.273	2	0.546	OK
				AW07	0.91	0.3	0.273	2	0.546	
				合計有効面積					1.092	
4	学習室4	48.41	0.9682	AW05	0.91	0.3	0.273	2	0.546	OK
				AW06	0.91	0.3	0.273	2	0.546	
				合計有効面積					1.092	
5	事務・医務室	19.38	0.3876	AW01	0.91	0.3	0.273	2	0.546	OK
				合計有効面積					0.546	

MARU。architecture　有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号　一級建築士 吉野 洋平 第329238号
DAI ARCHITECTURAL INC.　株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号　一級建築士 松里瀬忠夫 第141001号
ARUP　オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号　富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号　菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4086号　向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

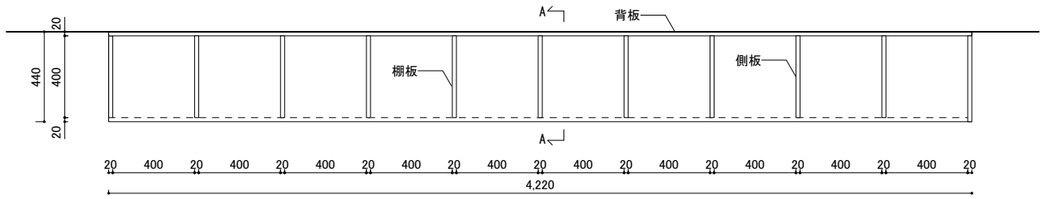
Project Title: 教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事
Client: 曽於市
Name of Drawing: 開口面積計算表
Scale:
Architect
Drawn by: KOSEI SATO
Checked by: YOHEI TAKANO
Date: 2026.9.30
A-503

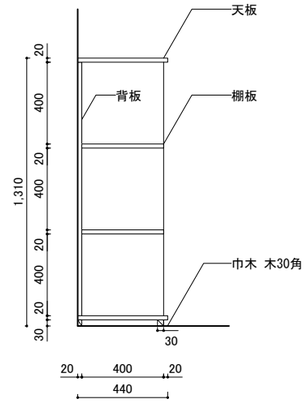
家具詳細図

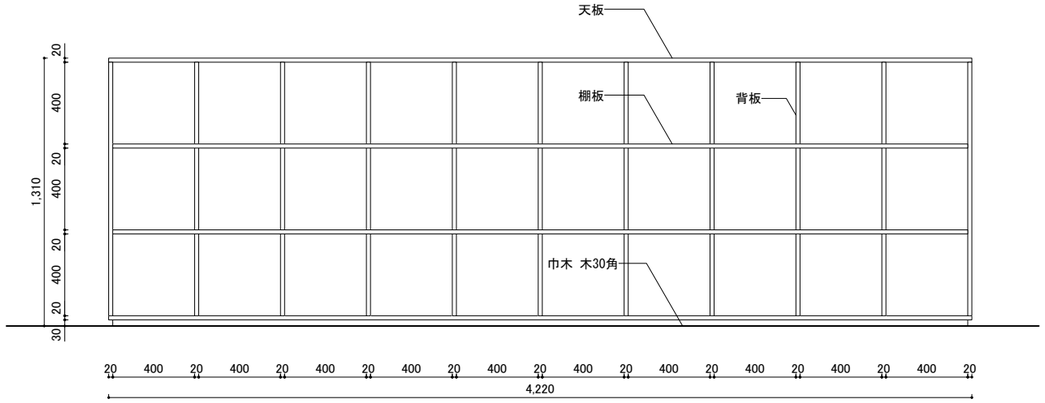
S:1/30(A3)

FU1 ロッカー　4

仕様	
	天板:シナ合板 t20 クリア塗装
	側板:シナ合板 t20 クリア塗装
	棚板:シナ合板 t20 クリア塗装
	背板:シナ合板 t20 クリア塗装
	巾木:木下地 クリア塗装



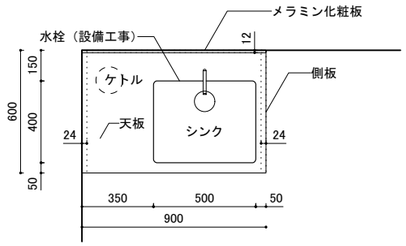


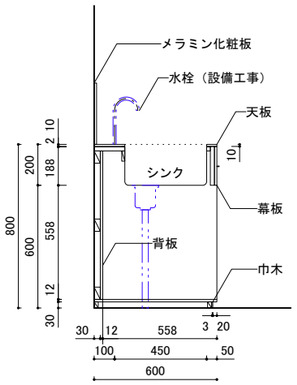


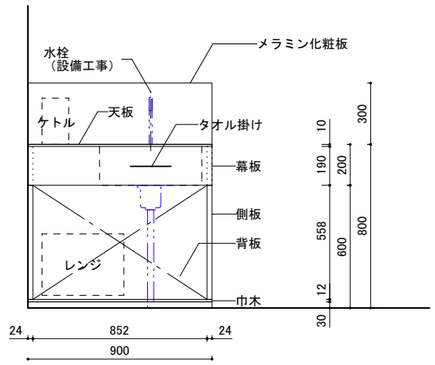
FU2 流し台　4

仕様	
	天板:SUS製
	幕板:シナ合板 t20 クリア塗装
	棚板:シナ合板 t20 クリア塗装
	背板:メラミン化粧板 t12
	巾木:ビニル巾木

※トラップまで建築工事とする
※公団型とする



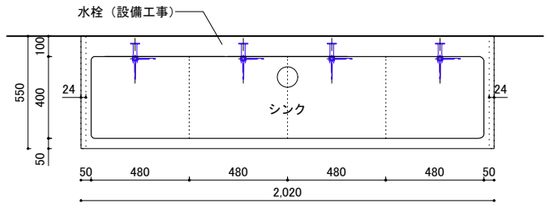


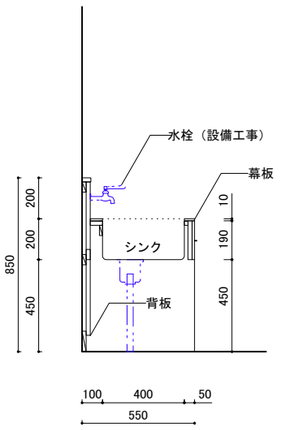


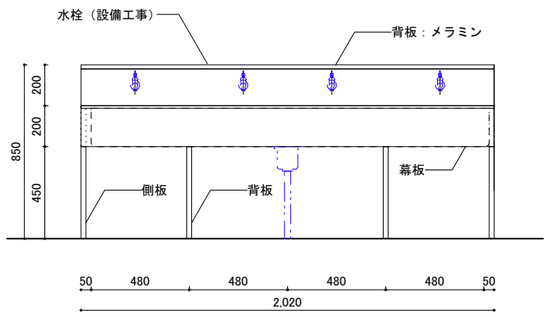
FU3 外部水道　2

仕様	
	天板:SUS製
	側板:シナ合板 t20 クリア塗装
	幕板:合板下地 メラミン化粧板練付 小口同材 t20
	背板：メラミン化粧板 t12

※トラップまで建築工事とする

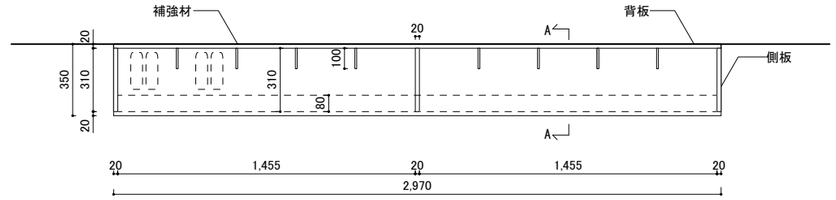


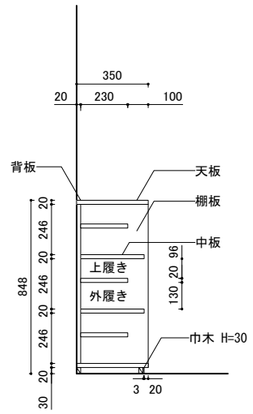


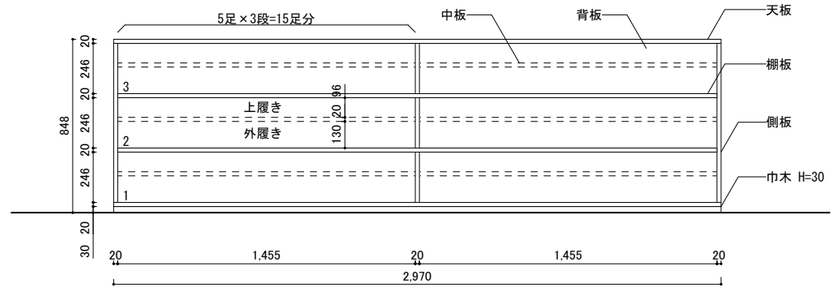


FU4 下駄箱　4

仕様	
	天板:シナ合板 t20 クリア塗装
	側板:シナ合板 t20 クリア塗装
	棚板:シナ合板 t20 クリア塗装
	背板:シナ合板 t20 クリア塗装
	巾木:ビニル巾木







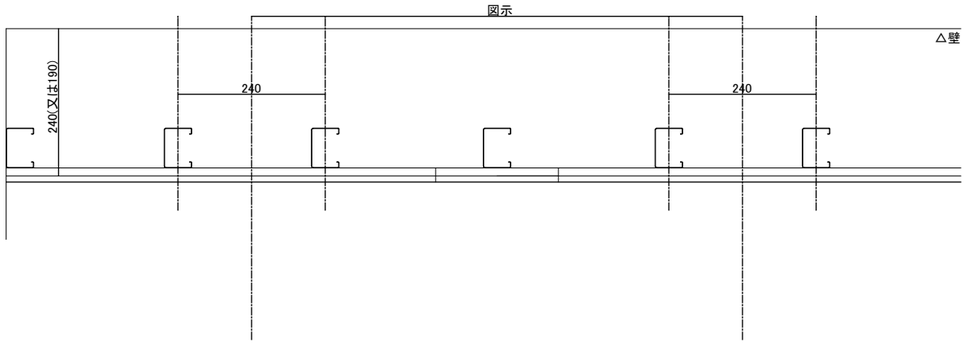
MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

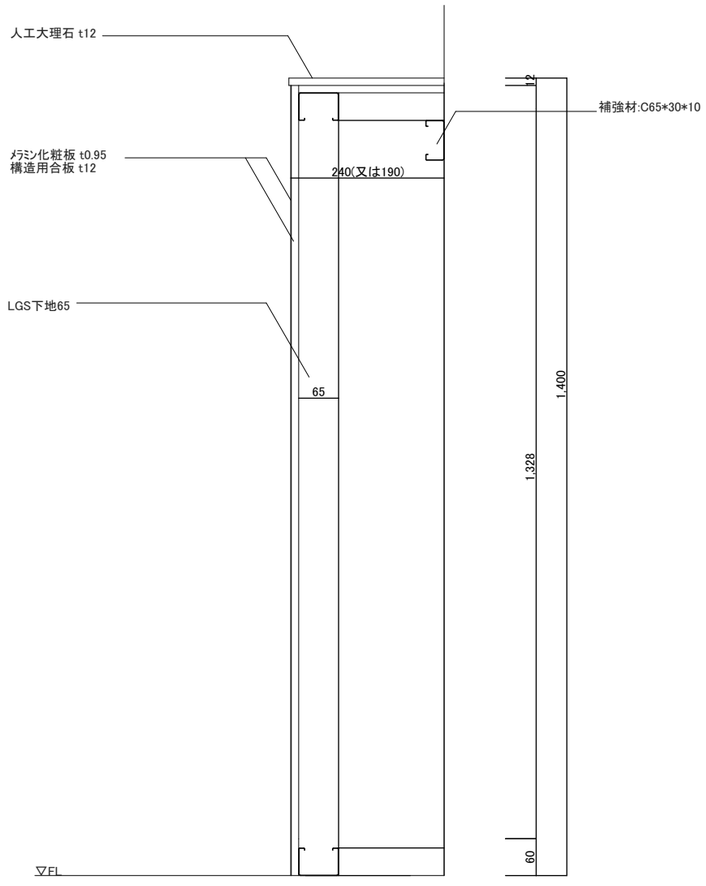
Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect	Date	
教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事	曽於市	家具図	A1: 1/15 A3: 1/30	Drawn by NAMIKO NISHI Checked by YOHEI TAKANO	2026.9.30	A-601

内部詳細図

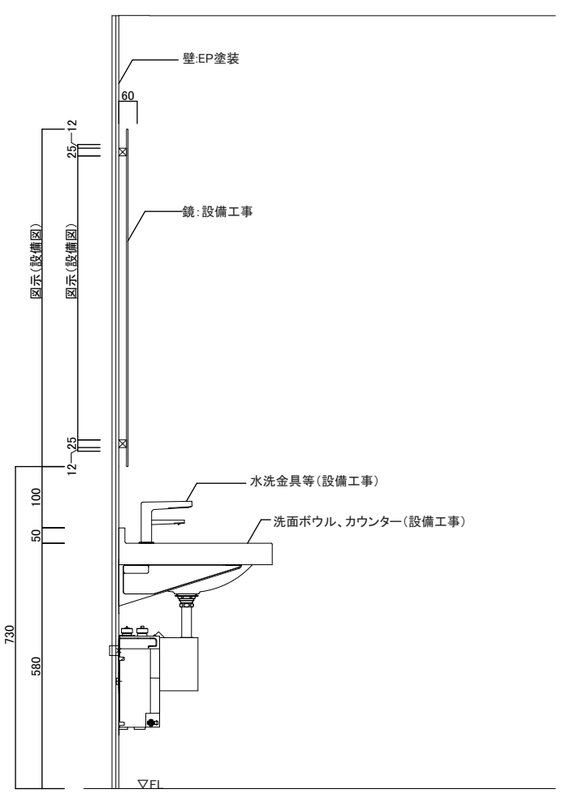
S:1/10,2(A3)

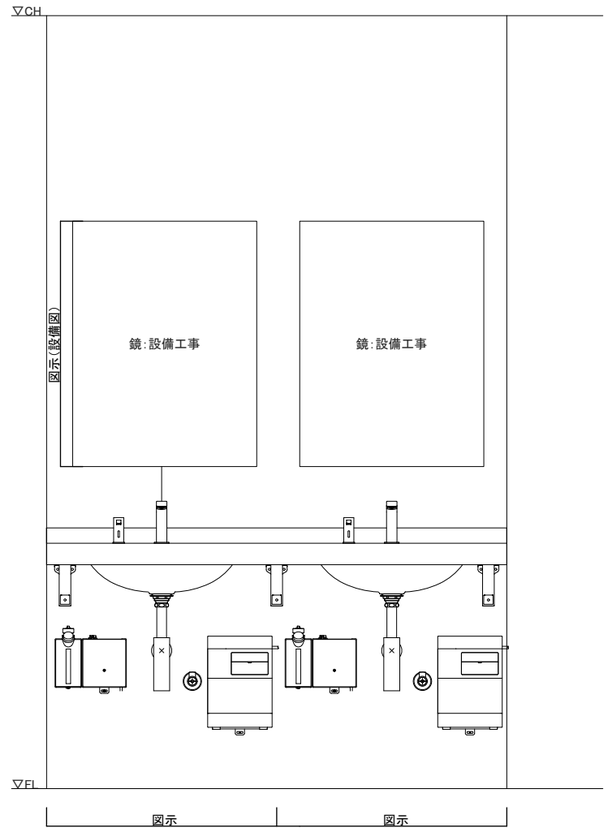
便所　小便器ライニング詳細図





便所　洗面カウンター・化粧鏡・化粧棚・姿見 詳細図

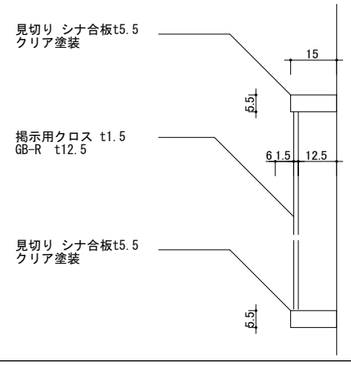




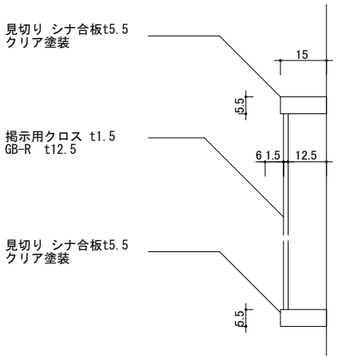
掲示板詳細

S:1/2(A3)

内部掲示板見切り



外部掲示板見切り

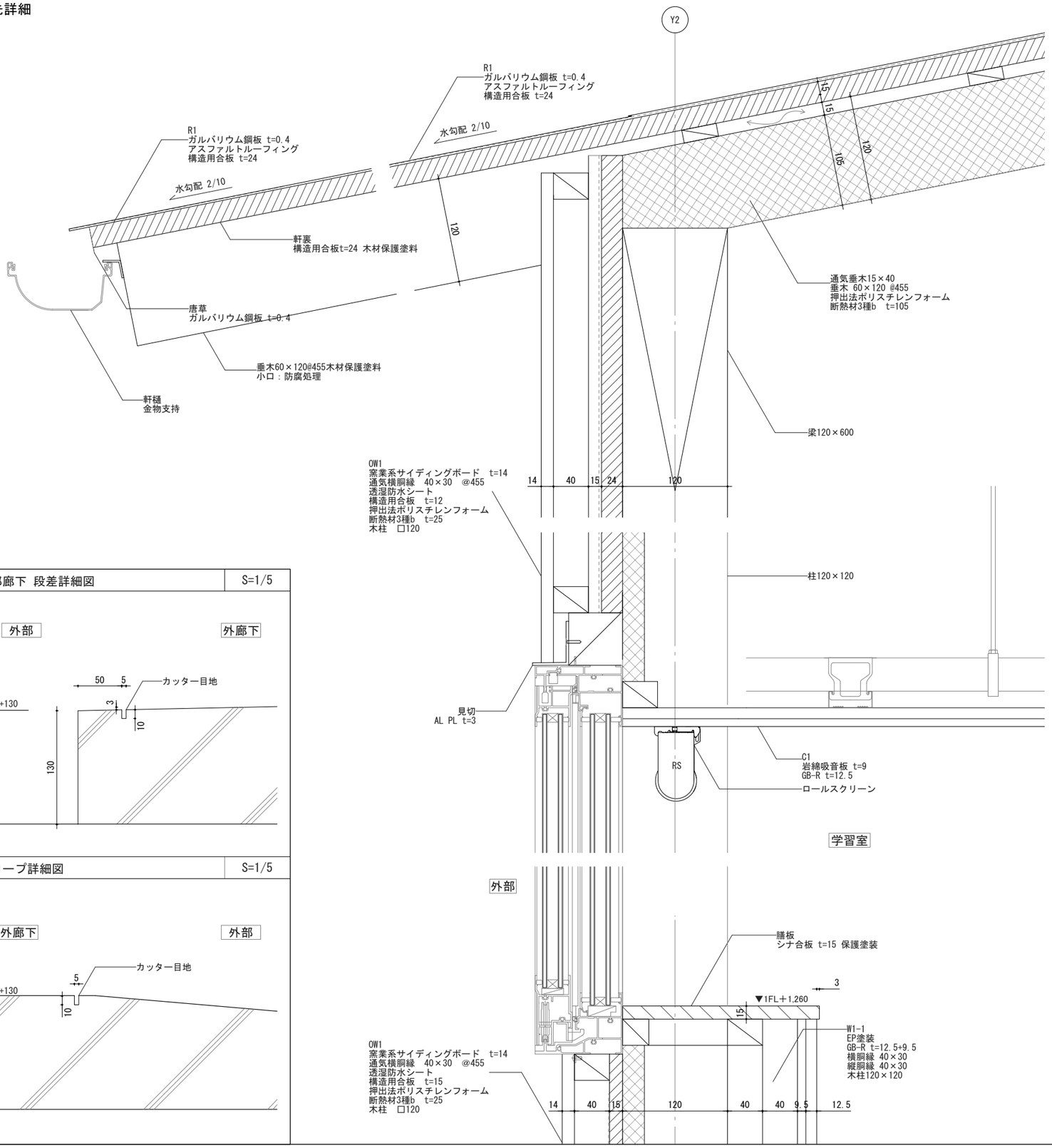


MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	Client	Name of Drawing	Scale	Architect	Date	
教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事	曽於市	内部詳細図	A1:1/1、5 A3:1/2、10	Drawn by NAMIKO NISHI Checked by YOHEI TAKANO	2026.9.30	A-602

外部詳細図 S:1/5(A3)

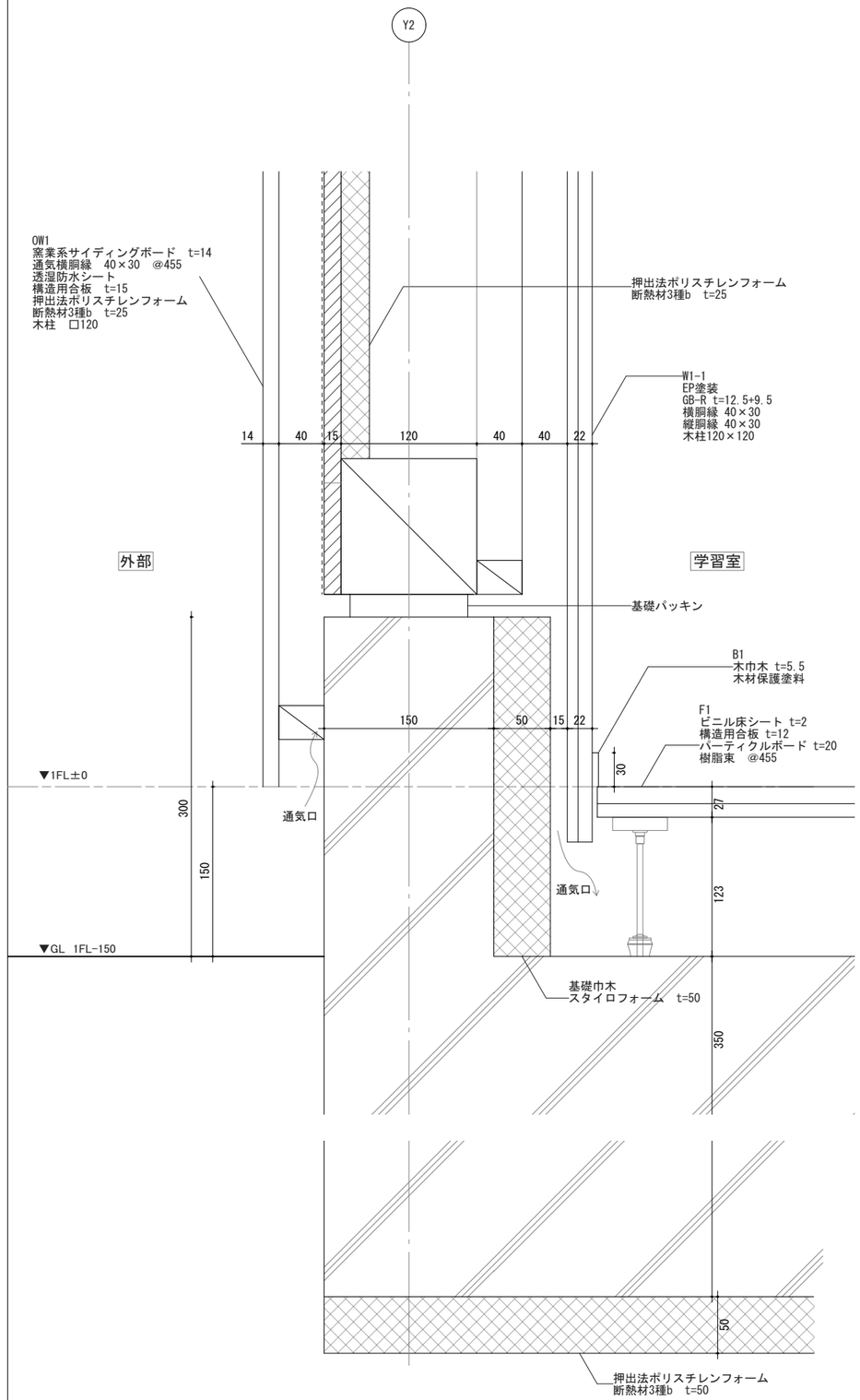
軒先詳細



外部廊下 段差詳細図 S=1/5

スロープ詳細図 S=1/5

足元詳細図

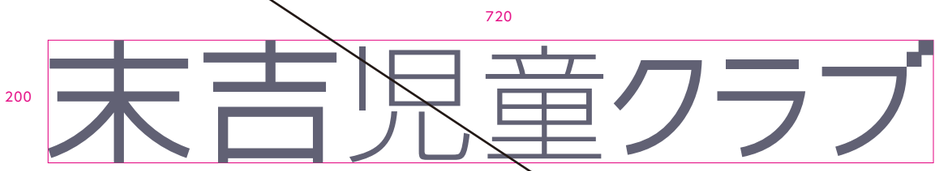


MARU。architecture
有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号
高野 洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI
株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号
松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP
オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号
富岡 良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号
菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号
向井 一得 一級建築士登録第228591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title	教8-18末吉小 放課後児童クラブ施設改築本体工事
Client	曽於市
Name of Drawing	外部詳細図
Scale	A1:1/1,2.5 A3:1/2.5
Architect	
Drawn by	NAMIKO NISHI
Checked by	YOHEI TAKANO
Date	2026.9.30
	A-603

G-1 児童クラブ名称サイン …… ×2

仕様：文字部 SUSPL t=3　塗装仕上げ　5mm 浮かし　　塗装色 :DIC:〇〇(別途指示)



1/10

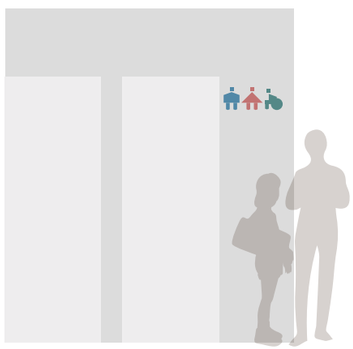
G-2 屋外トイレサイン …… × 1

パターン仕様 : 文字部　シルクスクリーン

仕様：シート品番は別途指示　　仕様：シート品番は別途指示
仕様：シート品番は別途指示



1/20



1/50

G-3 室名サイン

仕様 : 文字部　シート　（3MスコッチカルXLシリーズ）

学習室1	事務室
学習室2	女子トイレ
学習室3	男子トイレ
学習室4	多目的トイレ
	SK

特記事項

[総記]

・意匠図内の全ての表示内容は仮のものとする。

[表示書体]
・和文書体、欧文書体ともに A-OTF　新ゴ とする。
・意匠図中の書体は全てアウトライン済み、表現に変更がある場合上記の書体を活用するものとする。

[表示要素（カラー、レイアウト他)]
・カラーは、全て DIC カラーガイドで指示される。塗装または、シート、インクジェット出力等で再現する場合必ず近似色を使用する。
(注：設置される環境や空間感によっては、この限りではない。)
・レイアウトやサイズについては、指示通りとするが、視認性を強く求められる場合や他の条件で環境を阻する場合は設置位置やサイズを調整することは可能である。その場合は監理者と協議するものとする。

[基本要求品質]
・サイン工事に用いる素材は、所定のもとのとする。
・サイン工事は、意匠図の指示に従い所定の形状及び寸法を有し、所定の位置に強固に取り付ける。
・常に安全性を確保した製作、取り付けを行うこと。

[性能]
・サイン工事の性能は、耐風圧性能、耐震性能等、倒壊、脱落、破損などがないものとする。

[見本等]
・仕上材、色見本等は、工事に先立ち見本を提示して監督職員の承認を受ける。
・図面に基づき必要な製作図、施工図を作成して監督職員の承認を受ける。
・使用する材料及び、仕上げ色彩など実物見本やモックアップ等を製作して監督職員の承認を受ける。

[関連法規、官公庁への手続き]
・工事の施工、サインの使用開始など官公庁への手続きが必要となる場合は、請負者が速やかに行う。

[材料及び工法]
・材料は全て有害物質を含まない、キズや錆のない新品を使用する。
・材料の種類、品質、形状、寸法、色調、仕上げなどは意匠図による。
・鋼材、鋼板は JIS 規格品とし、構造部材は構造用材料を使用する。
・外部に用いる粘着シートは、十分な耐候性（5 年間の退色、ひび割れ、剥がれの生じない）を有するものとする。
・屋外に設置するサインは、下地本体ともにステンレス製とし、十分な強度をもつ部材を見込む。

[表示方法]
・書体及びピクトグラムは図面による。
・文字サイズ、文字間等は図面による。
・文字や図等の拡大については、正確に縦横比率を変えることなく拡大する。
・塗料やカラー表現が伴う場合は、見本を提示して監督者の確認を得てから製作する。
・インクジェット出力の場合、出力メディアの確認と PP 加工を実施する。

[その他]
・サイン設置に際して、設置箇所に紙面出力による文字サイズ、カラー等の視認性の確認を行う。

MARU。architecture　有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都知事登録第59575号　高野　洋平 一級建築士国土交通大臣登録第329238号
DAI　株式会社Dai建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-6-1号　松葉瀬忠夫 一級建築士国土交通大臣登録第141001号
ARUP　オーブ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士事務所 東京都知事登録第35571号　冨岡　良太 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号　菅　健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4096号　向井　一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号

Project Title　教8-18　末吉小 放課後児童クラブ改築本体工事
Client　曽於市
Name of Drawing　サイン図1
Scale
Architect
Drawn by
Checked by
Date　- - - - - -
A-701